

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友 10

2016
OCTOBER
VOL.64 NO.10



写真で振り返る
日本のオリンピックとロータリー
パキスタンでポリオと闘う

Rotary



未来のあたりまえをつくる。

DNP

重要文化財「洛中洛外図屏風」／林原美術館

DNP独自の高精細複製「伝匠美®」は、
高精細デジタル技術と、伝統工芸の技を融合させることで、
精緻な再現性と耐久性を両立させた、文化財複製です。



歴史を未来に つなぐ技術。

形のあるもの、無いものに関わらず、
先人の叡智と想いが宿る文化遺産を後世へ伝えること。

私たちは、これまで培ってきた印刷技術と情報技術を生かし、
かけがえのない文化遺産の保存と継承に貢献しています。



金箔上に直接印刷することで金雲の質感・立体感を忠実に再現しています。



「伝匠美®」はDNP京都太秦文化遺産ギャラリーにてご覧いただけます。

大日本印刷株式会社

最後の闘い

親愛なるロータリアンの皆さん、1979年、当時、国際ロータリー（R I）会長だったジェームス L. ボーマー Jr. 氏がフィリピンに赴き、子どもたちにポリオ予防接種を行いました。これは、ロータリーのポリオとの闘いの最初の活動です。会長が赤ちゃんの口にワクチンをたらすと、彼の注意を引こうと、彼のズボンを引っ張っている子どもの手に気づきました。ボーマー会長が見下ろすと、赤ちゃんのお兄さんが、会長を見上げて真剣な表情で言いました。「ありがとう。ロータリー、本当にありがとう」

ロータリーがポリオ撲滅に取り組み始める以前は、毎年 35 万人がポリオによるまひを発症し、そのほとんどが子どもでした。このフィリピンの子どもは、ポリオがどんな病気であるか、そしてロータリーが自分の小さな弟のために何をしてくれたかをはっきりと理解していました。ポリオプラスに着手してから 31 年がたった今、フィリピンの子どもたち、そして世界中のほぼすべての国の子どもたちは、ポリオという病気やその恐ろしさを知ることなく成長しています。過去には毎日 1,000 件のポリオが新たに発症していたのが、現在では平均すると 1 週間に 1 件未満となりました。しかし、ポリオへの恐怖心が弱まると同時に、この病気への注意も弱まっています。今こそこれまで以上にポリオへの意識を高め、ポリオ撲滅を最も重要な公的アジェンダに置き、政府の取り組みの優先事項とすることが非常に大切です。ポリオ撲滅の取り組みがまだ終わっていないこと、そしてロータリーがポリオ撲滅のために今もなお取り組んでいることを、世界に知ってもらう必要があります。

ロータリーは 10 月 24 日の「世界ポリオデー」を記念して、ポリオへの意識を高め、ポリオ撲滅に必要な基金を募ります。皆さんには所属クラブ、地域社会、オンラインでのイベント開催によるご協力をお願いいたします。アイデアや資料は、endpolio.org/ja/worldpolioday からダウンロードいただけます（日本語）。また、同リンクから皆さまのイベント登録をすることができます。私を含む数万人のロータリアンとともに、アトランタのアメリカ疾病対策センター（CDC）本部で午後 6 時（アメリカ東部標準時／日本時間の 25 日午前 8 時）にライブで配信される世界の最新動向をご覧ください。CDC 所長のトム・フリーデン氏、その他の専門家、素晴らしい講演者とともに私も参加し、ポリオ撲滅に関する科学、パートナーシップ、人間ドラマなどの内部事情をお伝えします。

当日はロータリアンにとって大変素晴らしい時間となるでしょう。私たちは、ポリオプラスの終わりとポリオのない世界の始まりに向けて、最後の闘いにより一層力を注いでいます。これは、「人類に奉仕するロータリー」によってポリオ撲滅を達成する、まさに人生に一度のチャンスです。



John F. Germ
2016-17年度 国際ロータリー会長



ジョン F. ジャーム R I 会長の講演とニュースは www.rotary.org/office-president から。

10月は経済と地域社会の発展月間 米山月間です

- 3 RI 会長メッセージ
最後の闘い 
RI 会長 ジョン F. ジャーム
-
- 14 End Polio Now
14 パキスタンでポリオと闘う
ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター 第2ゾーン
坂本 俊雄
- 17 ポリオ撲滅へ向けて
稚内南RC / 帯広北RC
-
- 18 ロータリー財団100周年を祝う
グローバル補助金
- 18 ベトナムにおける内視鏡手術
——特に耳鼻咽喉科・頭頸部外科の発展と教育
2015-16年度 大阪中之島RC VTT委員長
栗山 博道
- 20 きれいな飲み水を届ける
——タイに浄水器を設置
2015-16年度 第2830地区 水対策委員長 須藤 朗
-
- 22 第45回ロータリー研究会ご出席のお願い
第45回ロータリー研究会招集者 RI 理事 斎藤 直美
実行委員長 福田 清成
-
- 28 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN10月号から
-
- 6 ■ロータリーとは
40 ■パズルdeロータリー
41 ■エバンストン便り
41 ■管理委員長の思い 
42 ■「パズルdeロータリー」(7月号)の答えと解説
43 ■お知らせ
新IAC・地区別クラブ数/会員数一覧表・
『友』11月号主要記事予定
- 44 ■日本ロータリー分布図
44 ■奥付

- 7 特集
**写真で振り返る
日本のオリンピックとロータリー**
1964年 東京オリンピック
1972年 札幌オリンピック
1998年 長野オリンピック
-
- 23 よねやまだより
巣立った奨学生たちは、いま
- 24 ソウルで紡がれた米山の絆
～ソウル国際大会～
- 26 ロータリー米山記念奨学会資料
-
- 30 公共イメージ大作戦……その結果
ロータリー公共イメージコーディネーター 第2ゾーン
高野孫左衛門
金沢香林坊RC 通訳付きタクシー実施実験
金沢香林坊RC 社会奉仕委員会委員長 東 直樹
佐賀南RC シチメンソウの育成
佐賀南RC 駒井 英基
-
- 32 輝け ぼくたち わたしたちの未来
いわき勿来ロータリークラブの日
-
- 34 心は共に
熊本地震
福井西RC / 大東RC 中野 隆二
東日本大震災
東京青山RC 池田 昭宏 / 神埼RC 陣ノ内久昭 /
川俣RC 斎藤 義清 / 西宮恵美寿RC /
金沢百万石RC 炭谷 亮一 /
松山大学RAC / 成田RC 佐瀬 和年 /
鹿沼東RC 社会奉仕委員長 山崎 順
-
- 39 よこそRotary
わが家がイチバン！

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友 
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



P32～33 福島の子もたちへ、いわき勿来ロータリークラブから思い出の一日をプレゼント

ロータリーの友
委員会

委員長 清水 良夫 (横浜)
副委員長 片山 主水 (名古屋東南)
R I 理事 斎藤 直美 (豊田)
R I 理事/シフト 石黒 慶一 (鶴岡西)

特別顧問 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)

顧問 井原 實 (さいたま新都心)
田中 賢三 (茅ヶ崎)
東 良輝 (宇都西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)

地区
代表委員

2500 福地 博行 (北見)
2510 松原 良次 (札幌南)
2520 熊谷 雅也 (大船渡西)
2530 白岩 良子 (三春)
2540 佐野 公彦 (秋田北)
2550 真尾 進一 (足利わたらせ)
2560 杉本 俊夫 (長岡東)
2570 古屋 一生 (熊谷西)
2770 伊藤 悟 (大宮シティ)
2790 金井 淨 (城田コスモポリタン)
2800 林 政俊 (山形)
2820 関根 一彦 (古河中央)

2830 米内 安芸 (八戸南)
2840 板垣 忍 (前橋)
2580 林 茂男 (東京ベイ)
2590 小黒 久男 (川崎西)
2600 西堀 恒司 (松本)
2610 川合 声一 (南砺)
2620 西貝 誠一 (清水中央)
2630 清水 幸平 (高山中央)
2750 井上 直行 (東京町田サルビア)
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)
2780 井島 誠行 (小田原中)
2640 寺崎 勝彦 (堺)

2650 浅野 一裕 (日本ロータリークラブ2650)
2660 一瓢 秀次 (大阪北)
2670 三浦 聖人 (観音寺)
2680 佐茂 省治 (尼崎中)
2690 岡田 端 (境港)
2700 坂井 圭子 (甘木)
2710 澁谷 紀子 (広島中央)
2720 赤川 治之 (大分中央)
2730 祝迫 哲哉 (網走)
2740 阿部 芳男 (長崎北)
編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,247、会員総数1,235,100人（2016年3月31日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,265、会員数88,572人（2016年7月末現在）となっています。

2016 - 17 RI テーマ



ROTARY SERVING HUMANITY

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集

写真で振り返る

日本のオリンピックとロータリー

ブラジル・リオデジャネイロで開催されたオリンピック競技大会（8月）、パラリンピック競技大会（9月）。日本選手の大活躍に、興奮冷めやらない方も多いのではないのでしょうか。そして、五輪旗は2020年・第32回大会の開催地、東京に引き継がれました。

これまで日本国内で開催されたオリンピック（パラリンピック）に、日本のロータリアンたちも関わってきています。その一端を、『友』の記事を中心に、ご紹介します。

※出典の明記がないものは、すべて『ロータリーの友』バックナンバーからの引用です。

※クラブ名、地区番号などの表記は当時のままとしました。

写真：毎日新聞社／アフロ

東京オリンピック (1964年10月10～24日)

アジアで初開催となる第18回オリンピック競技大会。開会式のあった10月10日は後に「体育の日」となりました。当時のロータリアンにとっては、3年前(1961年5月28日～6月1日)に東京で開かれた国際ローター一年次大会に続く、大きな国際的行事だったようです。

1964 TOKYO



『友』1964年10月号では東京オリンピックを大特集。東京オリンピック組織委員会会長・安川第五郎氏(東京RC)のほか、駒沢体育館の設計を手がけた芦原義信会員(東京銀座RC)、選手村の食事提供を担当した犬丸徹三会員(東京RC)など、委員会に名を連ねるロータリアンが寄稿しています。



台座に徽章 国立競技場の聖火台

1961年5月28日～6月1日、東京ロータリークラブをホストクラブに、国際ローター一年次大会が東京で開催されました。3年前から大会協力金として、全国のロータリアンから年一人1,000円を集めていましたが足りなかったため、都内のクラブに追加寄付を呼びかけ、約4,000万円を集めました。結果として約300万円の余剰金生まれ、この余剰金で記念事業を遺すことになり、国際ローター東京大会記念事業委員会が設置されました。

東京では、東京オリンピックを2年後に控えた1962年から、1958年に第3回アジア競技大会の際に建設された国立競技場(国立霞ヶ丘陸上競技場)の拡張工事が始められていました。そこで記念事業委員会では「聖火台設備工事代」として304万円の寄付を決定、1963年4月10日付で国立競技場に寄付しました。聖火台の台と手すり、爐の取り付けに使われたとの記録があります。台座の大理石にはロータリーの徽章が彫られました。

翌1964年、国立競技場からの「聖火台の位置をさらに高くしたい」との要望を受け、在京24クラブで費用250万円を負担、同年6月、「炉火台移設工事費」として競技場に寄付。9月に竣工し、引き渡し式が行われました。

1963年8月、聖火台の点火試験が行われました(1963年9月号)



※在京24クラブ:東京、東京北、東京南、東京東、東京西、東京西北、東京武蔵野、東京銀座、東京日本橋、東京羽田、東京池袋、八王子、東京品川、東京江北、立川、東京王子、東京江東、東京府中、町田、東京世田谷、小金井、東京城西、青梅、調布RC。
参考資料:『東京ロータリークラブ50年のあゆみ』、東京RC週報『手に手つないで』、『友』、当時の記念事業委員会の手紙、国立競技場発行の領収書(東京RC所蔵)など。

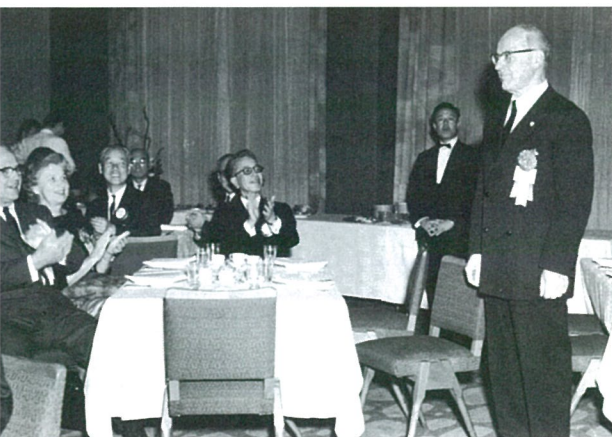
立川RC（第358区 東京都）は、米軍立川基地司令官夫妻とインド、イタリア選手団長を、聖火の出迎えに案内（上）。また、立川に宿泊のイタリア自転車チームに記念品を贈り、出身地クラブへバナーを託しました（下）。（1965年2月号）



京都RC（第365区 京都府）ではオリンピック観光客のため、YMCAガイドコースに学ぶ学生ら約50人に奉仕通訳を依頼。学生は腕章（左上）をつけ、京都市内をパトロールしたり、道案内やガイド、ショッピングの手助けをしました。

（1965年1月号）

東京RC（第358区 東京都）の創立44周年記念家族会が10月20日、帝国ホテルで開催され、IOC（国際オリンピック委員会）のアベリー・ブランデー会長（右）をはじめ、多くの五輪関係者が出席しました。（1964年12月号）



（右上）大会期間中、海外からのロータリアンを迎えるために、都内のクラブが協力して港区赤坂、日本ナショナル金銭登録機（現・日本NCR）2階に「ROOM OF FRIENDSHIP（友愛の家）」を開設。（1964年10月号）（右下）「友愛の家」には競泳で4つの金メダルを獲得したドナルドA. ショランダー選手（アメリカ）の両親でレーク・オスウエゴRCの会員、ウェンデル・ショランダー夫妻（左から2人目と右端）も訪れました。（1964年12月号）

By ELLIOTT McCLEARY

1

Mount Fuji, traditional villages, the reflecting puddles. Bright blue sea may be viewed from the new train between Tokyo and Osaka.

and may be viewed from the new train between Tokyo and Osaka.



東京オリンピック開催を前に、『The Rotarian』でも日本を紹介する記事が何度も掲載されました。1964年3月号では、開催直前の10月1日に開通した「世界最高速列車・新東海道幹線超特急」（東海道新幹線）を詳報。



越谷ＲＣ（第 358 区 埼玉県）は「オリンピックを機会に町をきれいにしよう」と 9 月 14 日、越谷市内 10 か所にくずかごを寄贈しました。（1964 年 12 月号）



熱海ＲＣ・熱海南ＲＣ（第 359 区 静岡県）は、東京オリンピックを前に、9 月 13 日、他団体と協力して町をきれいにする運動を展開しました。（1964 年 11 月号）

サービス・ニュース

Koushiro Nagasima, member of Taiwa RC and the director of the local public hospital is encouraging sports within Ping-pong. He has been a gift for the physically handicapped in patients of the hospital. The two players who participated in the Ping-pong final held in Taiwa November 8-12 last year, won the championship of ping-pong. Meeted with this, five RC's of Taiwa, Choshiu, Honshu, Utsunomiya, and Joken congratulated the two by identify giving a party.

そのうちの2人が東京
パラリンピック（1964年
11月8～12日）の卓球
男子ダブルスで見事、優勝。
平RC、小名浜RC、勿来
RC、内郷RC、常磐RC
の5クラブが渡部藤男選
手（左）、猪狩靖典選手の
祝勝会を開きました。

(1965年3月号)



米沢ＲＣ(第352区 山形県)は7月30日、オリンピック陸上短距離に出場する伊澤まき子さん(高畑高校3年生)を例会に招き、激励しました。(1964年12月号)

札幌オリンピック (1972年2月3～13日)

1972 SAPPORO

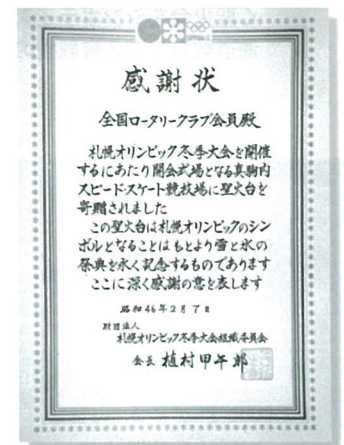
東京オリンピックから8年後、アジア初となる第11回オリンピック冬季競技大会が札幌で開催されました。全国のロータリアンの寄付により、柳宗理氏デザインの聖火台を真駒内屋外競技場に寄贈しました。オリンピックのテーマ曲の一つで大ヒットした「虹と雪のバラード」は、札幌西ロータリークラブ・河邨文一郎会員の作詞でした。

全国ロータリアンの寄付による聖火台

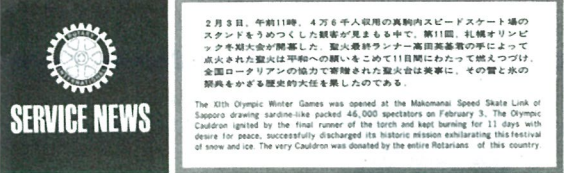
日本のロータリーによる聖火台建設は、第350・351区（北海道全域）のロータリー聖火台建設委員会が全国約5万人のロータリアンに協力を呼びかけ実現。3年間で約2,400万円を集めました。1970年2月の札幌ロータリークラブ(RC)の例会では、聖火台をデザインした柳宗理氏が「純白の雪をバックに金箔が独特のしずい色を放つようにしたい」と報告しました。

『The Rotarian』1972年4月号でも大きくレポート。聖火台の解説とともに、大ヒット曲となった「虹と雪のバラード」が札幌西RC会員の作詞であることを強調し、「全世界のロータリアンにとってこの2つは大きな誇りである」と解説しています。「札幌オリンピック開会式の模様は衛星中継で全世界にテレビ放映された。聖火最終ランナーが聖火台に火を灯したとき3米もある巨大な焰がパッと吹きあげた。この瞬間テレビ・アナウンサーは、この聖火台が日本のロータリアンの寄付によるものであることを、全世界の視聴者に告げたのである」

1971年2月7日の「プレオリンピック開会式」で、皇太子殿下(当時)など臨席の下、聖火台の献納式を実施。写真は札幌オリンピック組織委員会から贈られた聖火台寄贈への感謝状。(1971年6月号)



札幌(第351区 北海道)では2月5日、札幌グランドホテルで「札幌冬季オリンピック記念インターシティミーティング」を開催。東ヶ崎潔元RI会長をはじめ関係者、国内外からのロータリアンなど多数が参加しました。(1972年4月号)



(上)2月3日開会式、最終ランナー・高田英基氏の手により点火(1972年4月号)
(左)『The Rotarian』1972年4月号

※約2,400万円：募金総額は資料により約2,100万～2,500万円と開きあり。制作費用は約2,100万円。
参考資料：『友』『ロータリー日本60年史』『札幌RC50年記念誌』『札幌東RC15周年記念誌』ほか。



札幌・札幌南・札幌東・札幌西・札幌南・札幌手稲・札幌北・千歳・恵庭RC(第351区 北海道)は協力して千歳空港(左)と札幌グランドホテル(右)に内外から訪れるロータリアンのためのロータリーサービスセンターを設け、便宜を図って大好評でした(1972年4月号)。運営には全国ロータリアンからの聖火台協力費の余剰金が充てられました。



オリンピック記念バナーも

(左) 聖火台を象徴化した、第 350・351 区 (北海道) による札幌オリンピック記念バナー。デザインは札幌西 RC の栗谷川健一会員。2,000 本が札幌を訪れた国内外のロータリアンに贈られ、喜ばれました。(1972 年 1・5 月号)
(右) 札幌真駒内 RC (第 2510 地区) のクラブ創立 5 周年、ロータリー創立 75 周年を記念して作られたバナー。同じく聖火台をシンボライズしたもので、札幌西 RC 会員で北海道教育大学名誉教授の故・畠山三代喜氏のデザイン。



1972 年 5 月号では札幌オリンピックのテーマ曲「虹と雪のバラード」を紹介。NHK の依頼で、札幌西 RC の河邨文一郎会長 (当時) が作詞しました。「選手村でも 4 が国語に翻訳されて愛唱され、NBC からは全米に放送され、国際親善に大きく寄与した」。

長野オリンピック (1998 年 2 月 7 ~ 22 日)

1998 NAGANO

20 世紀最後の第 18 回オリンピック冬季競技大会。競技会場が長野県各地に分散され、第 2600 地区 (長野県) 長野オリンピック協力委員会では、野沢温泉、志賀高原、東信軽井沢、長野、白馬の 5 か所に実行委員会を組織し、世界からの観客を迎え入れました。ジャンプ競技飛距離判定員など、役員として大会運営に直接関わったロータリアンも多かったようです。参考資料: 国際ロータリー第 2600 地区長野オリンピック協力委員会編『長野オリンピック協力事業報告書』(1998 年)

感動のジャンプ競技会場 正面にミニ聖火台を寄贈 (白馬地区)

原田雅彦選手、船木和喜選手らが金メダルを獲得し感動を呼んだ白馬ジャンプ競技場。第 2600 地区ではそのラージヒル、ノーマルヒルのジャンプ台の正面に「ミニ聖火台」を寄贈、開幕前年の 1997 年 11 月に除幕式を行いました。情報彫刻家・菊竹清文氏による基本デザインは開・閉会式会場のメイン聖火台と同じもので、高さ 2.15 m、架台 2 m。また、聖火台の周辺に、地区内 58 クラブの名前を付けたオオヤマザクラ 58 本を植樹しました。



全国 34 地区の賛同を得て、3 年度計画で募金活動を行い、長野オリンピック冬季競技大会組織委員会に 1 億円、長野パラリンピック冬季競技大会組織委員会に約 2,380 万円を協力金として寄付しました。写真は 1997 年 10 月の地区大会。吉村午良長野県知事 (右) から原秀好ガバナーに感謝状が贈られました。(1997 年 12 月号)

(左) ミニ聖火台の除幕式 (下) 地区寄贈の銘文 (1998 年 4 月号)





【長野地区】長野駅近くに「ロータリーオリンピックサービスセンター」を設置し、2月1～23日まで休みなく開所。長野市内6 RCから延べ100人の当直が、会員家族だけでなく一般客の要望にも応えました。ロータリー関係者約120人（うち日本人会員86人）、一般の人約1,000人が来所する大盛況。用意した公式ピンバッジ600個は10日間でなくなりました。
 (左) カナダからのロータリー財団奨学生たち (右上) センタースタッフたち。
 地区内58 RCのバナーを背景に (右下) アーケード内に掲げられた徽章



【志賀高原地区】アルペンスキーなどの会場となった志賀高原。志賀高原 RC は、地域柄、会員のほとんどが競技役員などを務め運営面で活躍したほか、会場内に「友愛の広場」を設営。ロータリアン、オーストリア選手団などと交流しました。写真はドイツのアルペンチームと。



【野沢温泉地区】バイアスロン競技が行われた野沢温泉村。野沢温泉 RC は中野 RC、みゆきの飯山 RC とともに、会場などの案内所を開設。モルドバ（旧ソ連）の役員一行の外湯入浴体験の世話も。
 (上) 選手団を迎える会員たち (下) 選手たちと和やかに交歓



【東信軽井沢地区】カーリング競技の開催地・軽井沢町。主要3ホテルにサービスカウンターを設置（写真）。長野オリンピック国際ユースキャンプ会場に、公式マスコット「スノーレッツ」のモニュメントも寄贈しました。

インターアクターも国際貢献

長野県の県花「りんどう」。須坂園芸高校インターアクトクラブを中心に、第2600地区内のインターアクトクラブは、ガラス容器内で無菌状態で咲かせたりんどう約1,000個を発泡スチロールの「スノーマン」の容器に入れ、和文・英文の説明チラシを添えて選手村の各部屋に贈呈。I O C のファン・アントニオ・サマランチ会長ほか、国際オリンピック委員にも渡し、ハイテク農業県・長野をPRしました。



このページの写真提供：1998 - 99 年度第 2600 地区
 長野オリンピック協力委員会

End Polio Now

パキスタンでポリオと闘う

ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター（第2ゾーン） 坂本 俊雄（東京八王子南RC）

北アメリカと南アメリカ地域のポリオ撲滅が宣言されたのは1994年です。続いて西太平洋地域が2000年に、ヨーロッパ地域は2002年、南西アジア地域は2014年に撲滅宣言が出されています。ナイジェリアが2015年7月にポリオ常在国のリストから外されましたが、残念ながら2016年8月6日に3例発生してしまいました。

パキスタンとアフガニスタンの発症数は2015年12月末でパキスタン54例（2014年度306例）、アフガニスタン20例（2014年度28例）ですから、激減しているのは確かです。しかし、2016年7月27日現在、パキスタンではすでに14例、アフガニスタンでは8例の発生が報告されています。パキスタン北部の平均気温は4～10月でも30度を超えていますし、特に6月は38度ですから、ポリオ患者の増加が懸念されます。

ポリオの現状を把握するため、2015年10月、小沢一彦国際ロータリー（RI）インターナショナルポリオプラットフォーム委員と、江崎柳節2012－15年度ロータリー財団地域コーディネーターとともに、パキスタンにポリオの調査に出かけました。

国境地帯に残るポリオ

パキスタンでのポリオの発症はアフガニスタンと国境を接するFATA（Federally Administered Tribal Pakistan）



Areas）という連邦直轄部族地域と、隣り合ったカイバル・パクトウンクワ州（KP州・北西辺境）に多いのです。FATAの人口はパキスタンの約2%ですが、パキスタンのポリオ発症の60%、KP州の人口は約12%ですがポリオ発症の約20%となり、このアフガニスタンと接するFATAとKP州だけで80%を占めていることになります。

FATAはパキスタンでは特殊な辺境の地で、パキスタンの法律は適用されず伝統的な部族法が適用されています。すなわち民族・部族独特の法律、慣習法というべきものが現在も生かされているのです。したがって、部族が自治権を持ち部族長の強い権限があるためワクチン接種が難しかったのです。またワクチンを接種すると妊娠しなくなる、奇形の子が生まれると信じられている地でもありました。

この2つの地域は、ソビエト連邦（当時）が、1979年にアフガニスタンに侵攻すると、多くの難民がパキスタンへ避難、パキスタン軍が侵攻すると、FATAのパキスタン人がアフガニスタンに避難するという国境地帯で、宗教も教義も同じ民族が多いのです。また、国境といっても検問所があるわけではなく、昔から遊牧民は自由に往来していたのですから、ワクチン投与を受けていない子どもが多くいます。この地のポリオ感染者がパキスタンのほかの州に移住すると、各州でまたポリオが発生するという悪循環です。

このFATAやKP州では2012年からポリオワクチン接種を中止していたのですが、2015年7月から再開され、逃げ出した難民も避難先でポリオワクチンを受けています。

ロータリーのパキスタンへのポリオ撲滅支援金

RIの資料では、ロータリーは今日までパキスタンのポリオ撲滅に1億2,580万ドル（2016年3月現在）を投入しましたが、2016－19年はさらに5億9,300万ドルが必要とされています。また2014年、日本政府はUNICEFを通して5億6,200万円をパキスタンに無償提供しました。これを使ってUNICEFは、経



(Polio Worker) が 80 人も殺されています。先進国と違って医療施設で接種を受ける乳幼児は少なく、訓練を受けて生ワクチンの経口接種をするのがポリオワーカーです。さらに彼らはポリオキャンペーンと戸別訪問を行っています。接種済み子どもには指に紫色の印を、ドアには日付を記入している姿は『ロータリーの友』にも何回も掲載されています。

今年の 1 月 13 日にはパキスタン西部のパロチスタン州都のクエッタで、ワクチン接種施設の近くで自爆テロがあり犠牲者が出ています。また、ポリオワクチン接種関係者を警備していた警察官らが攻撃を受け、15 人が命を落としています。

口生ワクチン 1,500 万回分、1 人に 3 回服用させますから 500 万人分というわけです。パキスタンの新生児は年間ほぼ 400 万人生まれますから、1 年間に接種する量を若干上回る分量です。いかにポリオ撲滅が難しいのか、理解されたと思います。

さらに不活化ワクチン 130 万回分 (約 25 万人分) を調達し、FATA 地域とカラチでのポリオ感染のリスクの高い地域の子どもたちに優先的に接種しています。さらに停電時でもワクチンを低温で保管できる自家発電機と温度管理システムを FATA と KP 州とパロチスタン州にも設置しました。イスラマバードで同じようなワクチン保管タンクを見ましたので、同じようなことにもロータリーの支援金も使われていると思います。また在パキスタン日本大使館の発表では、日本政府が 1996 年から 2014 年末までパキスタンのポリオ撲滅に 1 億 4,900 万ドルを支援したそうです。

パキスタンにポリオが残った背景

2007 年にはパキスタンのポリオは年間 32 人まで減っていましたが、その後、国内の政治状況、国際情勢の影響を受け、この時期にイスラムの神学校の学生に政府が干渉したため、状況が変わりポリオ患者が増加しました。

2015 年 9 月末までの過去 20 か月にポリオワーカー

部族地区 FATA でのパキスタンの ロータリークラブとポリオワーカーの取り組み

2016 年 3 月初旬のパキスタンからのニュースによると、ペシャワール・ロータリークラブ (RC、第 3272 地区) は部族地区 FATA で 6 人の医師と 6 人の医療スタッフとともに辺境の村人の健康診断を行い、同時に 5 歳以下の子ども 295 人にポリオワクチンの接種を実施しています。

このペシャワール RC は、KP 州の 35 の婦人団体の人たちに看護師学校で携帯電話の使い方を教える傍ら、地域のポリオコントロール室で、ポリオプラス委員会とともに RI が作成したポリオワクチンの効果をビデオで流しています。人気歌手がポリオに感染した少女のことを語り、経口生ワクチンを 2 滴、内服させるビデオを、KP 州で 2011 年から一斉接種日に見せています。いくつかのロータリークラブがポリオワクチンをこの地に提供しています。さらに、地域のリーダーや学生たちがポリオ発生地でセミナーを開催しています。

FATA 地域を通るアフガンハイウェイでは、バスや車を止めて 23 人のポリオワーカーが、月に 2,700 人の



子どもに経口ポリオワクチンを接種しています。さらに2015年からFATA地域とKP州では、5歳以下の子ども25万人、10歳以下の子ども45万人に、戸別訪問などで生ワクチンを1人の子どもに3回内服させています。

まだ緒についたばかりですが、アメリカ製の“I Got You”と呼んでいる20ドルの容器にポリオワクチンを入れ、辺境の地にドローンで運ぶことが可能になっています。

スラム街での接種

貧しく職のない家族が都市に集まってスラムを形成します。子どもたちは小学校へ入学するのですが、弟と妹の世話や親の理解がないために長期欠席、不登校生が多く発生、半数の子どもが小学5年生で退学しています。男子の約6%は病気や障がいなどで学校に通ったことはありませんし、識字率は16歳で60%です。女子の65%は入学さえしていないのが実情です。

ポリオ撲滅には「キャンペーン用の小型車」に黄色のジャケットを着たポリオワーカー2人がチームとなって戸別訪問を行っています。私たちも銃を携えた自警団員に守られ町はずれの一つのスラム街へ入りました。

ごみが投げ捨てられた流れのない川とも水たまりとも区別がつかない土地に住み、粗末で電気もない家屋が軒を連ねています。昼でも薄暗い一部屋に数人の家族が住んでいるのです。私たちが到着すると人一人通っていない狭い道に、あっという間に子どもたちであふれました。



人なつこく、かわいらしいのですが、たまに出てくる母親たちは顔をベールで覆い痩せ過ぎています。

都市のスラム街ではポリオワーカーが年に数回訪れますが、必ずしも親がいる時とは限らず、ワクチンが接種できる子どもは約75%であると言われています。

終わりに

パキстанは、インダス川流域の文明の発祥地で約5000年前にはモヘンジョダロやハラッパという古代の文明都市が繁栄していたことは、よく知られています。古代からの部族や民族の子孫も引き続き定住しており、インダス川流域に80%が住み、宗教は95%がイスラム教徒ですが、いくつかの宗派があり、それぞれ対立しています。ヒンズー教徒が2%、そのほかキリスト教徒やゾロアスター教徒、シク教徒もいます。また現在も独立を求めている州もあり、主義主張が異なり統一がなかなか難しい国家です。しかもパキスタン人のギリシャやトルコへの難民も報告されています。

国土は日本の約2倍、人口は1億9,000万人近くで、新生児は日本の4倍の年間400万人が生まれ、乳児死亡率は対1,000人当たり47人と、日本の10倍、妊娠婦死亡率は日本の28倍という国でもあります。

(第2750地区 パストガバナー)



エコキャップ運動を推進して

稚内南ロータリークラブ

稚内南ロータリークラブでは稚内市と稚内市内学校関係の協力を得て、奉仕活動として2008年から発展途上国の子どもたちにポリオワクチンを届けるための「エコキャップ運動」を展開し、市内全域に広げました。開始時、当クラブ会員だった三輪建設（株）の故・矢部和久社長が陣頭指揮を執り、活動と選別などのまとめ役を担っていました。

矢部氏が逝去されたため、活動の存続が危ぶまれましたが、後にクラブに入会した（株）稚内衛生公社社長の

高橋淳一会員が遺志を引き継ぎ、継続しています。

高橋会員の会社は、市内のごみ・資源物などの委託収集を行う第3セクターの企業で、環境整備のため、地元の発展のためと数々のボランティア活動を行っています。市のイベントとして歴史がある「稚内みなと南極まつり」に社員総勢約80人で参加し、ペットボトルを使って稚内の象徴物である「最北の碑」や「北防ドーム」をかたどった山車を作り披露しています。

昨年、あるNPO法人がキャップの売却益をポリオワクチン支援に充てていなかったことが発覚。その影響を受けて衰退気味の「エコキャップ運動」に、もう一度、強い関心を持ってもらえるよう、8月6～7日の「第56回 稚内みなと南極まつり」では、同公社と当クラブの会員が協同で3,600個のペットボトルキャップを使い、稚内市の観光イメージキャラクターである「出汁之介」のアートパネル2枚を制作。それを山車にして祭りを盛り上げました。

その後、「出汁之介」は市に寄贈され、資源物回収ボックスとともに公共施設を巡回。市民と未来を担う子どもたちに「エコキャップ運動」「ごみの分別運動」への関心を高めてもらい、ポリオ撲滅に加え、環境運動の推進に一役買いました。現在は稚内空港のロビーに展示され、観光客をはじめ空港を利用する人たちの目を楽しませ、地域をPRしてくれています。クラブでは今後も地元企業とともに、「オール稚内」の精神で活動していきます。

（第2500地区 北海道）



ホコ天でポリオ募金

帯広北ロータリークラブ

8月7日、ロータリーの活動を地域の人に知ってもらおうと、帯広市のホコ天（歩行者天国）にブースを出展。当日は親睦家族委員会主催で射的、輪投げなど、子ども向けの縁日を開き、ポリオの募金活動を行いました。

晴天に恵まれ大勢の家族連れに楽しんでもらい、ポリオ撲滅とロータリーの活動を少しは発信できたように思います。

（第2500地区 北海道）



ロータリー財団 100 周年を祝う



グローバル補助金

ベトナムにおける内視鏡手術——特に耳鼻咽喉科・頭頸部外科の発展と教育

2015 - 16 年度 大阪中之島 RC VTT 委員長 栗山 博道



ベトナムのダナン病院における V T T (Vocational Training Team、職業訓練チーム) プロジェクトは、1月11日、鼻内内視鏡手術機器の贈呈式を行い、同28日に最終グループが帰国しました。今後5年間は現地への視察、必要に応じて再研修を含め年に1～2回、ベトナムへの訪問を考えています。

1997年から済生会中津病院形成外科部長(当時)を務めていた平本道昭氏は、医療機器の不足をはじめ、環境の極めて劣悪な状況下のダナン病院での形成外科医の育成に励んでおられました。それを受け1999年から当クラブの国際奉仕活動として、平本氏の活動を支援する形で、数々の医療機器を購入し、ダナン病院に贈呈してきました。

昨年1月、ダナン病院を表敬訪問したところ、耳鼻咽喉科領域での内視鏡手術が、まだまだ進んでいないと聞きました。帰国後、地区財団委員から国内にロータリークラブがなくても、ベトナムはグローバル補助金が見えるようになったと聞き、1年後(2016年)のプロジェクト実施を念頭に準備を進めました。

まず、プロジェクトを立ち上げるために、クラブ内に V T T 委員会を設置し、その後、山下敏夫関西医科大学理事長、当時は耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座主任教授だった同大学学長の友田幸一氏に相談するとともに、同大学准教授(当時)の朝子幹也氏にも相談し、人選を進めていただきました。

V T T チームのリーダーは大阪中之島ロータリークラブの高島凱夫パストガバナー、以下、私と戸田佳孝会員がクラブから参加したほか、前述の平本道昭氏、朝子幹也氏(関西医科大学)、馬場奨氏(同)、濱田聡子氏(同)、高田洋平氏(同)の医師8人です。メンバーが常々親交があることで、チームも磐石なものになりました。また、関西医科大学の大きな協力は、プロジェクトの骨格の重要な部分であると思います。

4月からプロジェクトの申請書を書き始めましたが、申請に時間がかかり、地区での承認が10月末になりました。ロータリー財団の認可が下りたのが12月10日、V T T チーム結団式の2日前でした。予算総額9万2,800ドル、内訳は、鼻内内視鏡手術機器7



万3,102ドル、宿泊費1万1,088ドル、航空券4,314ドル、予備費4,296ドルでした。

現地での鼻内内視鏡手術は、^{ふくびくうえん}副鼻腔炎を主に26例を行いました。関西医大医師の指導のもと、ダナン病院の医師2人が鼻内内視鏡手術を最初から最後まで行うことができ、また近隣の耳鼻咽喉科医にも同手術の研修を受けてもらうことができました。プロジェクトは成功したと自負しています。プロジェクトには V T T メンバー以外にも17人のロータリアンが参加し、チームを精神的、経済的に支援してくれました。

プロジェクトを通して、医療関係の V T T を成功させるためには、以下の要素を十分に整備することが肝要であると考えます。

- ①職業訓練には、数週間が必要
- ②医師派遣施設(大学、関連機関)の全面的な協力
- ③受け入れ施設の協力・親密度
- ④派遣医師の協力(奉仕の認識)とチームワーク
- ⑤チームとクラブとの良好な関係
- ⑥医師免許証の関係から、受け入れ国の厚生省、外務省とのコンタクト(在日大使館など)。

今回ダナン病院の医師との親交が深められたことも、有意義であったと実感しています。簡単ではありますが、大阪中之島ロータリークラブ(RC)、共同提唱クラブ

の大阪西南RC、茨木RC、第3520地区の3クラブ、第3350地区の1クラブで行いました V T T プロジェクトを報告させていただきました。

最後になりましたが、地区財団委員会、地区国際奉仕委員会の温かい指導、支援に大変感謝しております。

(第2660地区 大阪府)



グローバル補助金

きれいな飲み水を届ける ——タイに浄水器を設置

2015 - 16 年度 第 2830 地区 水対策委員長
須藤 朗 (野辺地 R C)

第 2830 地区では、グローバル補助金を活用し、タイ・第 3330 地区と協同で、タイで浄水器の設置事業を実施しています。最初に、タイに浄水器を贈ったのは 2012 - 13 年度で、以来、毎年実施し、今回が 4 回目のプロジェクトとなります。

設置したのは、首都バンコクから 700km 以上離れた南部、マレー半島の間道にあり、かつて仏教の中心地として栄えたアユタヤ朝時代に活躍した日本人の山田長政（1590 頃～ 1630）が最期を遂げた地でもあるナコーン・シー・タマラート。5 校に浄水器を設置することができました。

今回のプロジェクトは、第 2830 地区の地区財団活動資金（D D F）から 1 万 5,000 ドル、第 3330 地区の D D F から 5,000 ドル、国際財団活動資金（W F）から 2 万ドルの上乗せをいただいた、4 万ドルのプロジェクトです。

3 月 16 ～ 21 日、私たちは、これらの浄水器の設置状況の確認と第 3330 地区の地区大会に参加するために同地を訪問しました。参加者は鈴木唯司ガバナー（当時、以下同）、長嶺康廣ガバナーエレクト、工藤武重直前ガ



バナー、同夫人・孝子さん、同令嬢・貴恵さん（元青少年交換学生で、今回は通訳として参加）、土橋伸行地区会計、そして私の合計 7 人でした。

訪問する先々で、子どもたちや先生、地域の人たちの大歓迎を受け、浄水器設置所の開所式のような感じでセレモニーが行われ、校長や教頭先生から「経済的にいつも簡単には水を買うことのできない家庭の子どもがほとんどです。この浄水器ができたことにより安全で信頼のできる水を無料で手に入れられるようになり、大変喜んでいます。本当にありがとうございました」という感謝の言葉が述べられました。

続いて地元のロータリークラブの会長から「浄水器のきれいな水のおかげで安心して水を飲むことができるようになり、良かったと思っています」。また、地元の関係者は「今まで近くの川の水を使っていました。その水はきれいではありませんので、このプロジェクトにお礼を言いたいです」と続けました。



このプロジェクトの責任者である第3330地区のウィチャイ・マニーワラキヤキエットバスターからは「この地域のロータリークラブや地域住民、そして日本から長い旅路をここまで来てくれた方々、皆さんの協同プロジェクトで行うことができました。安心して飲める水がなくて、健康上、大変心配していましたので、このプロジェクトを行うことに決めたのです。どうぞ、大切に 부탁드립니다」との言葉がありました。

鈴木ガバナーからは「今日は、浄水器の引き渡し式に皆さんとともに出席でき、うれしく思っています。このプロジェクトは、第3330地区と協同のものであり、ウィチャイさんをはじめとして第3330地区のロータリアンにはお世話になり、感謝申し上げます。ロータリーは、水の問題に関心があり、力を注いでいます。これからもこのプロジェクトを続けていきたいと思っています」とあいさつ。そして、子どもたちにお土産として、青森から持参しただるまの消しゴムを、だるまについて説明しつつ手渡しました。

その後、浄水器設置場所に案内されました。これらの浄水器が設置されている建物は、地域や学校の予算から支出されているという説明を受けました。



ロータリー財団の6つの重点分野の一つである「水と衛生」のプロジェクトについては、世界中で数多くのロータリアンが取り組んでおり、あらためて知識を深める行動を起こし、今一度、「水と衛生」の問題について皆で考えたいと思います。

その取り組みの中で、世界の相互理解、親善、平和を前進させるロータリーの目的にかなうものになると考えることができます。そして、援助した地域の人々に喜ばれ、また、鈴木ガバナーからお土産の消しゴムをもらい、目を輝かせていた子どもたちにも長く語り継がれるような成果を生むことを夢見て、このプロジェクトを継続していきたいと思いました。（青森県）





第 45 回ロータリー研究会ご出席のお願い

第 45 回ロータリー研究会招集者 国際ロータリー理事 齋藤 直美
実行委員長 福田 清成

今年のロータリー研究会は、主に、ゾーン単位で開催され、シニアロータリアンが国際ロータリー（R I）の現況や方針、ゾーン内の共通の課題などについて学び、交流する行事です。今年度は久しぶりに東京を離れ、11月28日（月）から12月1日（木）まで名古屋で開催いたします。名古屋は日本列島の真ん中に位置しており、北からも南からも地理的に便利な街です。

4月に規定審議会が開かれ、その決定事項を見ますと、ロータリーが大きな転換期を迎えようとしていることがうかがえます。規定審議会の報告のためのセッションを設け、ロータリーが今後どのように進むのか、その方向性を探りたいと考えています。

また、2020年、東京ロータリークラブ（R C）が、創立されてから100年になります。東京R Cの歴史は、日本のロータリーの歴史そのものであり、そのまとめを行う作業がすでに始まっていますが、その中間報告のセッションも設けました。ロータリー財団100周年を祝うよう、ジョン F. ジャーム R I 会長から要請されています。このお祝いは、ロータリー財団セミナーとメジャードナー午餐会で企画いたしました。

決して忘れてならない、東日本大震災時におけるロータリーの活動を、時間の許す限り報告いたします。折に触れ、この報告は継続していただきたいと考えています。

全国34地区からの活動報告は、ロータリーの公共イメージという切り口で、各ゾーンから1事例ずつ取り上げさせていただくことになりました。

お申し込みは各地区ガバナー事務所へお願いします。全国からの大勢の方のご参加をお待ち申し上げます。

特別記念講演会

ノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学工学部教授、天野浩氏に講演をお願いしました。「自由な空気の実験室」として有名な教授のお話に、ご期待ください。タイトルは「世界を照らすLED」です。

配偶者プログラム

～名古屋城本丸御殿と徳川園・美術館を訪ねて

徳川園では、季節ごとにさまざまな顔を見せる、緑豊かな庭園を眺めながら、昼食をお楽しみください。帰路、復元された名古屋城本丸御殿に立ち寄ります。

スケジュール

- 11月28日（月） ロータリー財団地域セミナー
- 11月29日（火） メジャードナー午餐会、GETS
ほか
- 11月30日（水） ロータリー研究会1日目
配偶者プログラム
- 12月 1日（木） ロータリー研究会2日目

会場

ウェスティンナゴヤキャッスル
〒451-8551 名古屋市西区樋の口町3-19

登録料

- ①現・元・次期ガバナー・
ガバナー補佐・元・次期ガバナー補佐および
元分区代理 30,000円
- ②①の配偶者 20,000円
- ③招待されたシニアリーダー 15,000円
- ④歓迎晩餐会（11月29日） 16,000円
- ⑤希望晩餐会（11月30日） 10,000円



巣立った奨学生たちは、いま

(公財)ロータリー米山記念奨学会では、これまでに世界 124 の国と地域から来た 1 万 9,000 人を超える外国人留学生を支援してきました。奨学期間終了後、多くの米山学友たちが、それぞれの母国や日本で活躍しています。ここでは、その一例をご紹介します。



台湾最大の図書出版賞を受賞

チョウ トウクン
張 東君 さん
(台湾 / 1992 - 94 / 京都洛南 RC)
(財)台北動物保育教育基金会コーディネーター / 作家

台湾の N G O で野生動物の調査・保護、市民への啓発活動に従事する傍ら、作家として活躍。子ども向けの作品を数多く手がけており、著書『屎來糞多學院』が今年、台湾最大の図書出版賞「金鼎賞」の「児童および少年図書賞」を受賞しました。



日本との学術交流を促進

オム・ロムニー さん
(カンボジア / 2000 - 02 / 北見東 RC)
カンボジア工科大学学長

2005 年からカンボジア随一の国立工科大学・カンボジア工科大学の学長に就任。優秀な人材を育成するとともに、日本の有数の大学と協定を結んで学生・学術交流を促進し、その功績により 2015 年 12 月、日本の外務大臣表彰を受けました。



メディア特派員として情報発信

リ カイ
李 海 さん
(中国 / 2010 - 12 / 名古屋栄 RC)
香港衛星テレビ東京支局長

香港衛星テレビ特派員として、香港・台湾、中国に日本のニュースを紹介。また、日本の報道番組や討論番組に出演したり、新聞・雑誌や中国向けポータルサイト「客観日本」(〔独法〕科学技術振興機構)などに寄稿し、情報を発信しています。



日本の人気小説を翻訳

チュオン・トゥイ・ラン さん
(ベトナム / 2006 - 07 / 大宮北東 RC)
ニャナム出版社編集者 / 翻訳家

ホーチミンの出版社で編集の仕事をしてながら、『窓ぎわのトットちゃん』(黒柳徹子著)や『女のいない男たち』(村上春樹著)、『容疑者 X の献身』『秘密』(ともに東野圭吾著)など、日本で人気の高い作品をベトナム語に翻訳して紹介しています。



在日外国人の生活をサポート

ユン ソンファ
尹 成化 さん
(韓国 / 1995 - 97 / 広島東 RC)
市民活動グループええじゃん (Asian) 副代表

広島県廿日市市を拠点とする市民団体・ええじゃん (Asian) 副代表として、在日外国人の相談を受けて日本での生活をサポートし、地域の多文化共生を推進しています。同団体は昨年、法務省「人権擁護功労賞」の「ユニバーサル社会賞」を受賞。



母国や日本の被災地のために活動

ジギャン・クマル・タパ さん
(ネパール / 2008 - 09 / 横浜たま RC)
(公財)かながわ国際交流財団勤務 / ネパール政府公式通訳者

国際交流財団職員とネパール政府公式通訳者という二足のわらじで多忙な日々を送る中、東北や熊本の震災の被災地で炊き出しを行ったり、昨年 4 月のネパール地震で被災した子どもたちの、給食栄養改善プロジェクトなどに取り組んでいます。

※米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見は、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで。

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281 Eメール : mail@rotary-yoneyama.or.jp



ソウルで 紡がれた 米山の絆

～ソウル国際大会～

5月28日～6月1日に開催されたソウル国際大会で、米山記念奨学会は2004年の大阪、2012年のバンコクに続いてブースを出展するとともに、初めての「分科会」を開催しました。また、米山学友に積極的に参加を呼びかけたところ、地元の韓国はもとより、日本、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ニュージーランドなど、世界各地から多くの米山学友が参加してくれました。学友が国を超えて結びつきを強め、世界のロータリアンと交流する機会となった、国際大会での活動をご報告します。

合同懇親会で盛大な幕開け

「コンペイ！」

ソウル江南エリアのノボテルホテル。その一番広い宴会場に、韓国語で「乾杯（コンペイ）」の声が響きました。ソウル国際大会開会式前日の5月28日夜、韓国米山学友会と関西米山学友会（第2660地区）、それに台湾、中国、タイ、モンゴルの各国米山学友会が発起人となって、「米山学友合同懇親会 in Seoul」が開かれました。参加者は、米山学友・奨学生165人と日本からのロータリアンや家族など総勢333人。ゲストの出身地は16の国・地域に及び、盛大で国際色豊かな会となりました。

米山学友と奨学生には“YONEYAMA ALUMNI（米山学友）”とプリントされた特注のベストが配られ、一体感を演出。また、韓国学友会の女性メンバーは、華やかな民族衣装でゲストを出迎え、ソウルならではの雰囲気盛り上げてくれました。学友同士、学友とロータリアンが、再会と新しい出会いを喜び合う姿が至るところで

見られ、終始、笑い声と熱気があふれていました。

ひととき大きな盛り上がりを見せたのが、各国学友会による演芸披露の時間です。韓国学友会は、この日のためにつくったミュージックビデオに合わせてダンスを披露。モンゴル、タイ、台湾の各学友会は、それぞれ息のあった歌で、楽しませてくれました。上海学友会は、蘇州で武術館を主宰する楊敢峰^{ヨウカンホウ}さんが、流麗な太極拳の演舞で会場を魅了。関西学友会は会場全体を巻き込んで、ノリの良いダンスを繰り広げ、会場の熱気は最高潮に。最後に恒例の「手に手つないで」で大きな友情の輪をつくり、合同懇親会にはぎやかに幕を閉じました。

ブースの目玉は熱いメッセージ

明けて29日は開会式。「友愛の家」に設けられた米山記念奨学会ブースは、通路に人があふれかえるほどのにぎわいを見せました。訪れたロータリアンや学友はブースのメッセージボードに、記念の写真とともに、米山に対する熱い思いや温かな賛辞を添えてくれました。

海外のロータリアンには、よねやま親善大使や学友有志が、英語、韓国語、中国語などさまざまな言語で応対し、熱心に事業の説明をしてくれました。よねやま親善大使の金福漢^{キムボクハン}さんによる「平和折り紙教室」も、特に若いゲストに好評を博しました。

2回に分けて行われた開会式の合間に、国際ロータリー主催の「学友レセプション」が開催されました。すべてのロータリーの学友が招待されたこのレセプションに、もちろん米山学友も大勢が参加。前日の合同懇親会で配られたおそろいのベストを着て存在感を示し、さまざまな国のロータリア



多くの人が訪れた「友愛の家」の米山記念奨学会ブース



懇親会では、各国学友会が演芸披露

ン、米山以外の学友とも交流を深めました。

分科会で 60 年の成果をアピール

今回の国際大会では米山記念奨学会として初めて分科会を開き、60年にわたり世界に平和の種をまき続けている、この奨学事業の成果を発表することができました。開会式翌日の30日午後、分科会会場には、約200人の参加者が集まりました。そのほとんどが米山学友・奨学生と日本のロータリアンでしたが、興味をもって参加してくれた海外のロータリアンの姿もありました。

冒頭、米山記念奨学会の小沢一彦理事長があいさつ。初公開となった3分間の事業紹介映像の後、学友の林華明さん（台湾）、ジャンチブ・ガルバドラッハさん（モンゴル）、姫軍さん（中国）から「ロータリーモメント」のスピーチがあり、続いて台湾、中国、タイ、モンゴル、韓国の各学友会の会長が登壇して、活動を報告しました。

会議はすべて日本語で行われましたが、海外のロータリアンのために、英語と韓国語の同時通訳を提供。その韓国語の同時通訳を務めたのは、プロの通訳者として活躍する学友の黄セミさんでした。分科会の最後に登壇し、世話クラブ、カウンセラーからの心の支援への感謝を述べた黄さんは、「これからも韓国と日本の懸け橋の役割を果たしていきたい」と、力強く締めくくりました。

今大会をきっかけに活動の広がりを

多くの米山学友・奨学生が参加した、このソウル国際大会での米山関連のイベントの成功は、すべて学友・奨学生と、彼らを支えてくださる日本のロータリアンのおかげです。学友とロータリアンにとっても、奨学期間が終わって何年、何十年たとうと、世界中から集まって「米山」という絆を確かめ合うことができる、得がたい機会



楊敬峰さんの太極拳



米山初の分科会開催



締めくくりは「手に手つないで」

になりました。ソウルで培った友情と新しいネットワークを今回だけで終わらせるのではなく、今後も継続していきたいと学友たちは考え、動き出しています。彼らのこれからの活動の広がりに、ぜひご期待ください。

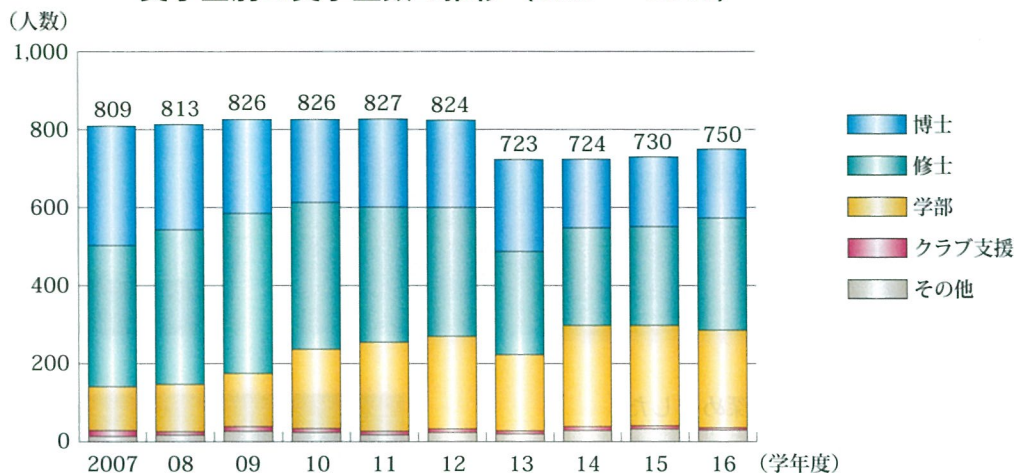
ロータリー米山記念奨学会事務局

※ソウル国際大会の米山版ダイジェストを、16分の動画にまとめ、ホームページで配信しています。ぜひご覧ください。 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

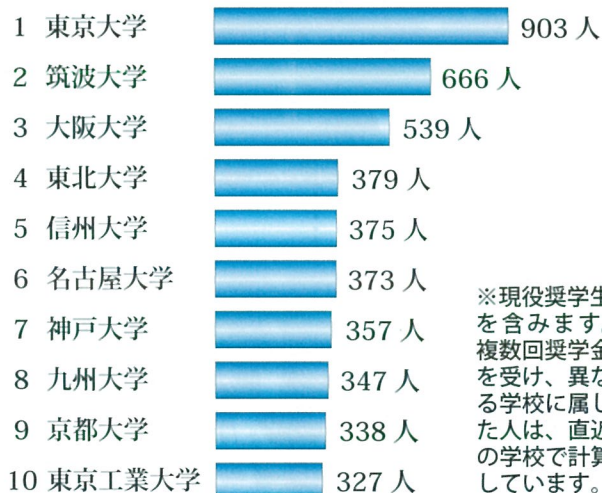


ロータリー米山記念奨学会資料

奨学金別の奨学生数の推移 (2007 - 2016)

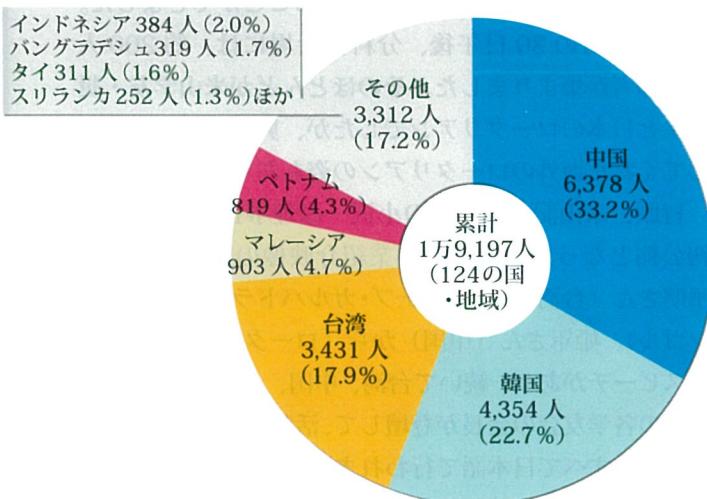


大学別出身者数



※現役奨学生を含みます。複数回奨学金を受け、異なる学校に属した人は、直近の学校で計算しています。

国・地域別累計奨学生割合



理事および監事 (2016 年 9 月現在)

理事長	小沢 一彦 (2780)				
副理事長	若林 紀男 (2660)	杉谷 卓紀 (2720)			
常務理事	武田 和夫 (2800)	塙 東男 (2820)	山崎 淳一 (2830)	水野 功 (2750)	
理事	柴田 和明 (2500)	塚原 房樹 (2510)	皆川 清 (2520)	大橋 廣治 (2530)	村上 勘一 (2540)
	飯村 慎一 (2550)	植木 康之 (2560)	加藤 玄静 (2570)	大塚 信郎 (2770)	増田 豁 (2790)
	高木貞一郎 (2840)	吉田 建二 (2580)	斉藤 二郎 (2590)	堀川 浩 (2600)	中川可能作 (2610)
	勝山國太郎 (2620)	村橋 元 (2630)	近藤 雄亮 (2760)	辻 秀和 (2640)	栗田 幸雄 (2650)
	須之内淳二 (2670)	中村 尚義 (2680)	橋本 讓 (2690)	安増 惇夫 (2700)	天野 肇 (2710)
	秦 喜八郎 (2730)	栗林 英雄 (2740)			
監事	真下 和男 (2570)	森島 庸吉 (2790)	浅川 皓司 (2580)		
名誉理事長	末永 直行 (2700)	板橋 敏雄 (2550)			
事務局長	岩邊 俊久 (2580)				

地区別寄付額・功労者数・奨学生数

地区	寄付額			功労者数（人）		特別寄付金 寄付者割合 （個人）	奨学生数（人）	
	2015－16 年度（円）	個人平均（円）	累計（千円）	2015－16 年度	対前年度 増減		2016 学年度	累計
2500	15,301,530	6,720	608,531	74	1	19.1%	10	155
2510	26,942,514	10,386	1,084,410	141	17	37.8%	15	463
2520	18,837,284	8,172	799,833	60	－ 17	15.8%	12	599
2530	31,451,382	13,143	926,662	124	－ 20	41.9%	17	288
2540	9,039,911	8,114	337,415	26	－ 2	21.4%	7	166
2550	33,074,617	19,162	1,305,454	185	－ 17	75.5%	22	658
2560	38,343,736	18,206	1,191,241	185	－ 17	65.0%	21	417
2570	19,594,620	11,861	1,150,024	106	3	35.4%	16	511
2770	69,539,741	26,870	2,293,188	422	37	71.6%	31	746
2790	50,681,818	18,237	1,707,551	206	－ 19	37.4%	26	674
2800	18,082,500	10,959	551,732	67	26	20.1%	9	206
2820	49,468,000	24,758	1,692,315	285	32	76.6%	27	911
2830	11,709,000	10,172	349,487	47	11	42.8%	8	142
2840	38,575,971	18,653	1,159,467	169	－ 36	76.0%	22	359
2580	53,931,250	17,840	2,402,556	231	－ 26	20.0%	41	1,655
2590	62,698,480	29,519	2,372,818	378	－ 19	80.7%	40	976
2600	28,152,424	14,048	1,361,979	135	－ 16	21.3%	18	410
2610	40,810,950	15,417	1,250,106	124	－ 75	25.3%	18	440
2620	44,907,041	15,089	1,535,614	151	－ 1	61.6%	20	447
2630	30,368,641	9,736	1,731,076	123	22	35.5%	13	436
2750	108,342,649	23,996	3,236,797	321	9	37.0%	40	1,460
2760	214,095,369	44,399	3,032,814	265	－ 13	31.3%	40	901
2780	53,942,650	23,022	1,970,786	282	45	72.6%	24	641
2640	27,157,000	13,757	2,328,906	94	－ 11	41.1%	14	694
2650	108,299,966	23,275	4,395,218	627	26	86.5%	45	1,240
2660	84,395,456	23,313	3,510,922	472	－ 18	71.5%	42	1,097
2670	40,442,455	13,530	1,336,274	160	35	27.3%	17	442
2680	40,593,600	14,193	1,641,276	166	－ 16	43.2%	23	700
2690	46,605,362	14,980	1,549,698	157	－ 28	34.7%	22	505
2700	39,222,247	12,306	1,315,664	122	－ 6	9.3%	20	695
2710	44,002,711	13,150	1,609,145	171	－ 24	34.5%	22	650
2720	24,427,019	10,190	880,905	46	－ 19	36.3%	18	398
2730	26,146,368	10,990	677,791	92	1	29.2%	14	281
2740	28,181,793	12,648	974,880	125	3	18.9%	16	431
その他	10,000	0	26,038					
合計	1,577,376,055 (注 1)	17,779	52,721,198	6,339 (注 2)	－ 132	43.2% (注 3)	750	20,794 (注 4)

※太字は、各項目の上位 5 位の地区です。

(注 1) 地区以外からの寄付金は除外しています。地区以外からの寄付金は累計 2,603 万 8,286 円です。

(注 2) 2015 年 7 月～2016 年 6 月までに特別寄付をして、米山功労者として表彰された人数です。

(注 3) 2015 年 7 月～2016 年 6 月までに特別寄付をしていただいた個人の割合です。

(注 4) 奨学期間中の地区移動や、過去の再応募制度およびクラブ支援奨学金（旧 C Y）により複数回奨学生となった人は、それぞれでカウントしているため、実際の奨学生累計数（1 万 9,197 人）を上回っています。

World Roundup

世界のロータリーニュース



北マリアナ諸島

サイパン・ロータリークラブ（RC）と東京八王子南RCの会員が多数参列し、バンザイクリフでの追悼式が行われました。1944年、アメリカ軍侵攻の際、この場所で数千人もの日本人兵士や島民が身を投げて亡くなりました。4月、東京八王子南RCの会員で宮司の梶原正統氏と僧侶の藤原忠房氏が第二次世界大戦戦没者のための追悼式を行いました。同クラブ会員の中村郷秀氏は、「強い風が吹き、海は美しい青色でした。この海に身を投じた人々を思うと、涙を抑えられませんでした」と話しています。サイパンRCの前会長、カーティス・ダンコエ氏はこう語ります。「サイパンの戦争の歴史はこの美しい島に傷を残しました。こうしてこの場所を訪れることで、再び平和が見いだせるよう願うほかありません」

2015年にサイパンおよびアジア地域に甚大な被害をもたらした台風13号（ソウデロア）の復旧作業に対して、東京八王子南RCのロータリアンは、約36万円を寄付していましたが、今回の訪問時には、さらに復興費用として2,000ドルをサイパンのロータリアンに寄付しました。

－ブラッド・ウェーバー



レバノン

ベイルートのセントジョセフ大学とベイルート・ロータリークラブ（RC）が提携してきたUSJベイルート・ローターアクトクラブの会員は5月、レバノンフードバンクと協力して貧困家庭70世帯以上に食料を提供し、15世帯以上に調理器具、テレビ、衛星放送受信アンテナなどの物資を届けました。4,000ドル（約41万円）の資金は、1月に開催された、400人の参加者たちを魅了したフランスをテーマにしたパーティーの売り上げによって調達されました。「このローターアクトクラブには、専攻が異なる15人の会員がいます。彼らは、青少年同士で協力して地域社会に奉仕し、責任ある市民としての行動を推進するローターアクトの使命を達成しようと熱心に取り組んでいます」とベイルートRCの前会長、モハマド・アルフサイニー氏は話しています。



スリランカ

昨年10月、ロータリアンとその友人や親類は、「End Polio Now」のステッカーをつけたトラックや車に乗って、スリランカの6地域を、約50マイル（約80km）走行しました。ニゴンボ・ロータリークラブ（RC）は、世界ポリオデー（10月24日）に86台の車列を作り、この疾病に対する警戒を呼びかけました。同RCの前会長、アジス・ウエラシンハ氏は、「『ポリオのない世界』を掲げた車の街頭行動は、道中でパムヌガマRC、ワッタラRC、ジャエラカンダーナRCのロータリアンの歓迎を受け、この行列をエスコートするオートバイのチームを含む運転手たちには道路脇から声援が送られた」と語っています。

東南アジアでいち早くポリオ撲滅を成功させたスリランカで、最後の症例が報告されたのは1993年でした。



アメリカ

芝居好きのオハイオ州ハミルトン・ロータリークラブは、過去60年にわたり注目のイベントとして演劇を催してきました。3月に行った喜劇「シュレック」は、4回の公演で1,922人の観客を動員し、大学の奨学金や地域の非営利団体を支援する資金として約1万500ドル（約107万円）を集めました。「出演者はロータリアン以外でしたが（会員の娘であるシドニー・ヒギンズさんがヒロイン役を演じました）、大道具、チケットの販売、広告営業などの実務は、ロータリアンが担当しました。会員のうち56人がこの活動に参加しました」と前会長のデビッド・マンキューソ氏は話しています。

サイパンの戦いで亡くなった日本人は
2万2,000人にのぼり、その多くが自
ら命を断ったと言われています。



コロンビア

ボゴタセンテナリオ・ロータリークラブ（RC）は、ますます拡大するマイクロクレジット（小口融資）プロジェクトを通じて起業家が貧困から抜け出すための支援をしています。2007年に始まったこの取り組みでは、新進の実業家75人に150ドル（約1万5,000円）より少ない額から最も多い人でも300ドル（約3万円）、合計9,700ドル（約99万円）の融資を行い、借り手の98%が返済に至りました。プログラムの第2段階では145人に融資を行い、その結果すべてが返済されました。第3段階の現在は、北カリフォルニアとコロンビアのロータリークラブからの寄付金と、ロータリー財団からの補助金6万7,000ドル（約683万円）により融資を行っています。ボゴタセンテナリオRCの会員であるアンパロ・ベンディア氏は、「クラブ会員が会計、計画、目標設定の指導を起業家に行い、相互の成功につながるよう『一致団結』している」と話しています。同クラブはボゴタチャピネロRCが先導するマイクロクレジットのグローバル補助金プロジェクトにも貢献しています。

公共イメージ大作戦 その結果

ロータリー公共イメージコーディネーター 第2ゾーン 高野孫左門

国内34地区に所在する約2,300のロータリークラブは、それぞれ多岐にわたる分野で「奉仕プロジェクト」を展開しています。その「役に立つ・ためになる」活動を地域社会に知らせるための媒体として、新聞・テレビ・SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が挙げられ、各クラブは、これらの媒体を通じての広報活動を展開しています。

前年度、第1、2、3ゾーンのロータリー公共イメー

ジコーディネーター（R P I C）は、国内各地区から、地区内のクラブが実施した奉仕プロジェクトが紹介された記事を集め、その内容をご覧いただける仕組み（アイデア交換をする場所）を構築し、広く皆さまから情報の提供をいただきました（『友』2015年10月号横組みP43に関連記事）。

投稿いただいた記事の中から2つの活動を、公共イメージ向上に効果のあった活動として紹介いたします。

金沢香林坊R C 通訳付きタクシー実施実験

金沢香林坊R C 社会奉仕委員会委員長 東 直樹

4月4～8日、外国人観光客に対する「通訳付きタクシー」を、金沢東急ホテルを発着点に、試験的に運行。外国人観光客に対して通訳者を補助的に帯同させ、名所の詳しい説明をして、有意義な時間を過ごしてもらおうという事業で、その需要の有無を調査する目的です。

クラブでは、「金沢に新幹線が開通することによりどんな問題が発生するだろうか」「日本人だけでなく外国人観光客が大勢来ることが予想されるため、どんな問題が発生してくるのか」を考えました。当然、行政も民間宿泊施設業者もインフラ整備は喫緊の問題としてとらえています。外国人観光客に対してのソフトの部分はまだまだ欠如していると思われます。

これに関して、当クラブ会員で大和タクシー（株）の市村祐二社長に外国人対応の現状を調査。その結果、ドライバーはほとんど英語を話すことができず、外国人からも英語が話せるドライバーがほしいなどの要望があることがわかりました。私たちの例会場でもある金沢東急ホテルでは50人ほどの外国人にアンケートに協力してもらい、26%の方から通訳付きタクシーを利用したいとの回答がありました。

これらの結果からニーズはあるととらえ、行政ではできない民間の宿泊施設、移送事業者、NPOを融合した「通訳付きタクシー」を全国に先がけて試験的にやってみようということになりました。

実験は花見のシーズン。ライトアップされた花見コースを案内するというもので、金沢東急ホテルにチェックインした方に申し込みを限定しました。同ホテルの外国人宿泊客は1日に平均10組程度ですが、フロントでのチラシという限定的な案内にもかかわらず、運行日全ての日に予約がありました。

地元紙の「北國新聞」に事業内容を説明に行く

と、記者が興味を示してくれました。全国初の試みということもあり、また、新幹線開業後のさまざまな社会問題について記者の間でもいろいろ議論されていたこともあり、さらに1月29日に観光庁から外国人観光客を呼び込むための地方のモデル都市として、釧路市、金沢市、長崎市の3市が選ばれたという背景もありました。実施前の4月1日に掲載、実施初日にも取材依頼があり、前回同様の大きな枠で取り上げられました。

ほかのメディアでも、地元北陸放送に取材依頼すると同行取材のオファーがあり、4月7日「レオスタ」に取り上げられました。「読売新聞」からも2度の取材を受け、5月19日、今後のタクシーのあり方の特集の中で紹介されました。

利用者からも「素晴らしい」「続けてほしい」という反響があり、このような通訳付き観光には多くのニーズがあると思われました。こうしたサービスが観光地金沢として今後必要か、またどう考えていくべきかなど、ホテル関係者、タクシーなどの移送事業者および行政に対してのメッセージ性のある社会実験的な側面をもった事業であったと考えています。（第2610地区 石川県）



シチメンソウの育成

有明海の東与賀海岸における塩生植物シチメンソウは、11月には干潟海岸を真っ赤に染める紅葉で、今では郷土の秋の風物詩となっています。そのシチメンソウとはアカザ科の高さ20cmほどの1年性塩生植物で、塩水につかる干潟だけに生息する大変貴重な植物です。夏には緑色をしています、11月には干潟海岸を真っ赤に染めるほどに紅葉します。

しかし、昭和50年代には、相次ぐ海岸護岸工事や河川からの漂着物によって、その数を減じ、国際自然保護連合(IUCN)から絶滅危惧種に指定されていました。地元でもその価値が忘れ去られていましたが、植物学に造詣が深くていらした昭和天皇が、東与賀にわずかに残っていたシチメンソウを含む塩生植物のご視察にお見えになってから、地元自治体がようやくその価値に気づき、保護活動を行うこととなりました。

しかし、小さな自治体の活動だけでは、とうてい佐賀県民の認知するところとはならず、一般的には有明海の奥地の珍しい植物程度としか知られておりませんでした。そこで、シチメンソウを保護するためには地域住民を巻き込んでの海岸清掃活動を行いつつ、その認知度を高めようと佐賀南ロータリークラブ(RC)が音頭をとり、地元社会福祉協議会の方々の協力いただいて、平成5(1993)年から、シチメンソウの育成を阻む河川からの漂着物を取り除く活動を、春と秋の年2回続けてきました。結果として、新聞、テレビなど、地元メディアがその活動を積極的に取り上げてくれて、ようやくその地元の自然の価値が、地元佐賀市民や佐賀県民の知ると



ころとなりました。これは毎年11月の第1週に開催されているシチメンソウ祭りへとつながっています。

1995年、佐賀南RCの創立10周年記念行事として、春、夏、秋とその姿を全く変えていくシチメンソウの生態と特徴を専門家の監修のもと約20分間のビデオを作成し、宮内庁、佐賀県、佐賀市、市内の小中学校に寄贈し、同時に東与賀の干潟公園内の休憩所にはビデオ再生装置とともに寄贈しました。

近年は、紅葉する秋ばかりでなく、四季によって変化するシチメンソウを見に訪れる見物客が殊の外増えてきました。さらに全国海づくり大会に来県された天皇陛下、高校総体の時には皇太子さまにも視察を賜り、それらの報道がなされたことによって、さらに全国的に認知度が増しました。

海岸清掃自体は地道な活動ですが、現在に至るまでの23年間、回を重ねるごとに参加者も増え、近年は早朝であるにもかかわらず、毎回200人を下らない一般市民の方の参加をいただきつつ、この活動を通して地元の皆さんに、郷土に素晴らしい自然遺産があることを認知していただけたことが、現在、横幅3km以上に及ぶ大群生を再生することになり、大いに地元おこしに繋がったことと認識しております。

地元の埋もれた貴重な自然、そして文化遺産などの再発見になり、地域おこしになり、ロータリー活動としては地域のお役に立てたので、公共イメージ向上に繋がったと考えております。なお、干潟の環境が良くなったので、植物だけでなく、野鳥の飛来も目立って増え、昨年ラムサール条約国際湿地条約に登録されました。(第2740地区 佐賀県)



応募方法

rpjapan@gmail.com に、件名を「詳細希望」とした空メールを送信してください。PDF記事のアップロード方法、確認手順に関する詳細が自動返信されますので、そこに書かれている手順に沿って操作してください。自動判定を行うため、

件名にはスペースなどを含めず正確に「詳細希望」と入力してください。

ご質問、お問い合わせは、前述のメールアドレスに、「詳細希望」以外の件名でお送りください。

輝け ぼくたち わたしたちの 未来

いわき勿来ロータリークラブの日



熱気球が浮かび上がらない
よう乗る人が優先です

「熱気球はなんで空に浮かぶのかな？」パイロットが小学生の男の子に尋ねました。「うーん」。空に浮かんだ小さなカゴの中、耳元で熱気球を温めるバーナーの大きな音が響きます。「この音、すぐに慣れますよ。温かい空気は、冷たい空気より重いので、こうやってバーナーで気球の中に温めた空気をいっぱい詰めると、空に浮かぶことができるんだよ」「それ、理科で習った」

「良かったね。学校で習ったことが、こうやって実践に役立つことがわかって」。二人のやり取りを聞きながら、そんなことを思いました。私にとっても気球は初めてで、安全を考えて、少し空に上がったただけでしたが、空からの景色はなかなかのものでした。気球の操縦士の

ことを「パイロット」と呼ぶことも初めて知りました。

6月12日のいわき^{なこそ}勿来ロータリークラブ(RC)の日、第1部「なこそロータリー・バルーンフェスタ2016」のひとコマです。いわき市内の鮫川河川敷公園で開催されました。熱気球は、風のおだやかな早朝と夕方しか飛ぶことができないのだそうです。従って、このイベントの開始は午前7時。一人でも多くの子どもたちに熱気球に乗ってもらいたいと、気球を飛ばしてくださったNPO法人・熱気球運営機構の皆さんといわき勿来RCの皆さんは、朝早くから準備に取り掛かかり、6時30分ごろには準備が完了、子どもたちを乗せた熱気球が空に浮かびました。



前夜祭：バーナーの火に照らされて美しく浮かびあがった熱気球を近くの人たちも見学に訪れました



鈴木雅之会長
(当時)



吉村作治氏



福島県立磐城農業高校インターアクトクラブがお手伝い。自分たちで作ったジュースなどの販売もしました



この日は風が早くから吹き始めて、予定の午前 10 時を待たずして熱気球を飛ばすことができなくなっていました。熱気球に乗るためには事前の申し込みが必要でしたが、予定時刻より早い終了に申し込んでいても乗ることができなかった子どもたちもいました。この残念な思い出もまた勉強のうち。クラブではこのほかに写生大会も予定していて、子どもたちはスケッチ用具をもらって、思い思いに熱気球の絵を描いていました。

第 2 部は、いわき市市民会館に場所を移して、「公開例会 & 基調講演」を開催。近隣のクラブや姉妹クラブの会員に加えて、一般の人々にも開放された例会では、ロータリークラブについての紹介もありました。また、

地元いわき市にある東日本国際大学学長で、エジプト研究で知られる考古学者の吉村作治氏が、エジプトでの発掘に関してのエピソードを紹介しました。

準備も含めて、大掛かりなイベントです。ご存じのように、いわき市には福島第一原子力発電所の事故の影響で避難生活を続けている子どもたちもたくさんいます。ここで生まれ育った子どもたち、避難してきた子どもたち、空から 360 度見渡したこの町のことは、思い出として長く残ることと思います。一生懸命世話をしてくれたいわき市 R C のおじちゃんやお婆ちゃんの優しい笑顔とともに。

(第 2530 地区 福島県)

取材『友』編集長 二神 典子

熊本地震に広がる支援の輪 福井西ロータリークラブ

私たち、福井西ロータリークラブ（RC）は熊本西RC（第2720地区 熊本県）と1990年12月に友好クラブを締結し、1999年12月に姉妹クラブになりました。熊本藩主・細川斉護の三女、勇姫が、福井藩主・松平春嶽に輿入れ、また、熊本藩士・横井小楠が春嶽に招かれ藩政改革を指導しました。このような歴史的背景が縁で、福井市と熊本市は姉妹都市提携調印を行いました。そして、ロータリーでも姉妹クラブとなったのです。

今般の被災の報に接し、私たちはすぐに熊本西RCに連絡を入れましたが、事務局に連絡が取れたのは1週間

後でした。会員のご家族がけがをされたり、建物の損壊に見舞われるなど、大変な状況がわかり、私たちクラブでは一刻も早い支援をと思い、募金活動を実施しました。熊本西RCと姉妹クラブとなってから私たちと姉妹クラブの関係にある高雄東南RC（第3510地区 台湾）、伊勢原RC（第2780地区 神奈川県）に連絡を取り、それぞれから支援金をいただきました。

5月21日には、福井県下の現・次期会長幹事会が福井市で開催され、県下19クラブの現・次期会長幹事が出席。募金を呼びかけたところ、皆さま快く賛同いただきました。これらに、私たちのクラブの会員からの寄付とクラブの資金を合わせて、43万6,412円を義援金として熊本西RCへ送金しました。

さらに、当クラブの岡本憲一会員から、これから暑い夏に向かうのと、自社製品の冷却ポリマー1万2,000個、サージカルマスク4万枚を送りたいと申し入れがあり、併せて熊本西RCに送りました。この2品は東日本大震災にも提供され大変好評だったものです。

“手に手つないで”の精神でロータリアンの友情が大きく広がりました。
(第2650地区 福井県)

小規模の避難所で炊き出し 大東RC 中野 隆二

熊本地震が発生した後、大規模の避難所には支援がいき届いていましたが、小規模の避難所にはまだまだという状況でした。そこで、大東ロータリークラブとNPO法人国境なき奉仕団との協同で、支援のいき届いていない避難所に避難されている方々を対象に炊き出しを行おうと、西原村山西小学校に赴きました。

同小学校には約200人が避難されていました。6月11日、昼食の炊き出しとしてステーキとサラダのセットを提供しました。当クラブからは、私を含め4人が現地に赴き、また、当クラブ森脇克弥会員からは、デザートのにゼリー600食分が提供されました。

(第2660地区 大阪府)



さくら Project 東京青山RC 池田 昭宏

震災から5年たった今、われわれには何ができるか？ここから始まったさくら Project。3月下旬、東京都の桜美林高等学校さくら Project の生徒とともに、岩沼ロータリークラブ（RC、第2520地区 宮城県）の会員にご協力いただき、岩沼千年希望が丘記念公園で植樹を行いました。

千年に一度の津波に備えて木を植え、次に津波が来た時には波を少しでも食い止められるように。また、さくらと松が育ち人をつなぐシンボルとなっていくことを願い、慰霊碑の前で献花し祈りをささげました。さくらは寒さに強い山桜を生徒たちが植樹し、松は京都御所ゆか

りの松を東京青山RCの会員が植樹しました。生徒たちの献花、祈りでの規律正しい態度、そして復興支援で、今、自分のできることを模索し実行する取り組みを支援することで、われわれも彼らに学ぶべきものがありました。

最後に生徒たちが「ロータリークラブの方々とボランティアに対する心構えやリーダーシップなどについて、もっとお話がしたかった」と感想を言ってくれました。この生徒たちの「関心」こそが次世代へ活動をつなげていく第一歩ではないでしょうか。そしてそれに応えることが、われわれロータリアンにとっての役目であり責任だと思っております。

（第2750地区 東京都）



宮城の酒米で造った清酒今年も被災地へ送る 神埼RC 陣ノ内久昭

東日本大震災から5年。被災した宮城県の酒米「イセヒカリ」で仕込んだ純米吟醸酒「絆伝心」を、今年も被災地に送りました。私たち第2740地区第2グループの5クラブ（神埼、佐賀西、佐賀北、佐賀南、佐賀空港）が大震災の翌年から続けている活動です。

お送りした清酒は100本。プロジェクトを主宰する「地球市民の会」の西村一守理事を通じて、宮城県の仮設住宅などに届けることができました。ラベルには「復興応援・交流のお酒『絆伝心』」、箱には「もう5年、まだ5年 佐賀から応援します」の文字を入れました。

宮城県仙台市高砂一丁目公園仮設住宅の自治会長・佐藤政信さんから、次のようなお礼状が届きました。

「3月末をもって仮設の活動を終了しました。仮設の生活は大変でしたが、皆さんの心温まる応援を励みに元気で楽しく過ごすことができました。これから新しい地域での復興が始まります。今まで多くの方々に受けたご恩を忘れずに、以前の生活に近づけるよう焦らずゆっくり

り頑張ろうと思っています。佐賀県の皆さんとの交流を続けられればと願っております。ありがとうございました」

今年は私たちの隣の熊本県を中心に大きな地震が起きました。災害は他人事ではないとしみじみ思います。被災した方々の一刻も早い復興を心から願っております。

（第2740地区 佐賀県）



感謝の気持ちをかたちに!! 川俣R C 斎藤 義清

川俣ロータリークラブ(RC)は、健やかな青少年育成のために継続事業として、20年以上続く川俣R C杯中生野球大会を開催しています。

2011年3月11日の震災後、川俣町農村広場で行っていた中生野球大会の会場が原発事故により計画的避難区域に指定された川俣町山木屋地区の避難者の仮設住

宅になり使用ができなくなりました。そんな時に、快く大会会場として使用を許可していただいたのが、福島県立川俣高校の方々でした。

そのおかげで、大会開催を断念することなく震災の年から川俣高校のグラウンドで大会を無事に開催することができました。ロータリアンは元より、中学生や保護者の方々にも大変喜んでいただきました。本当にありがたいことでした。

このようなことがあり、感謝の気持ちを形にするべく、この度、地区復興補助金を活用し、「ありがとう川俣高校グラウンドプロジェクト」とし、5月24日にグラウンドベンチの増築、テント、グラウンド整備用レーキの贈呈を行いました。

今後も感謝の気持ちを忘れず、いろいろな面で協力できればと思います。

(第2530地区 福島県)



やっぱり野球が一番! —被災地の中学生とともに 西宮恵美寿ロータリークラブ

3月25~27日、大船渡西RC(第2520地区 岩手県)の協力のもと、大船渡市立末崎中学校野球部生徒12人と引率教諭1人、計13人を第88回選抜高校野球観戦に招待しました。

1年前、当クラブ主催のインターシティーミーティングに、講師として大船渡西RCの濱守豊秋氏をお呼びした時に、この子たちのことを知りました。震災により練習グラウンドが失われ、野球をすることができなくなっていました。その後、大船渡西RCとフランス・リヨンRC(第1710地区)とのマッチング・グラントで東日本支援球場がつくられ、そこで練習ができるようになり、徐々に実力も上がり県代表に選ばれる子も出てきている、とのこと。困難を乗り越えて野球を頑張っている少年たちに、甲子園球場での高校野球を観戦させてあげたいという思いをうかがいました。当クラブは早速準備を進め、実現の運びとなったものです。

プログラムとしては2度の高校野球観戦、地元兵庫県の野球の強豪校、報徳学園の中学校との親善試合、両中学生を交えての交流会を行いました。高校野球観戦では末崎中学の地元岩手県代表の釜石高校が勝ち上がり、その試合を応援団の一員とし

て観戦できました。親善試合は残念ながら大差がつきましたが、最後まで諦めない素晴らしい試合でした。交流会では生徒たちが自分たちで育てているワカメをお土産に持参したので、皆に食べてもらいました。

生徒たちからスピーチをもらったのですが、末崎中学校の生徒だけでなく、報徳学園の生徒からも貴重な経験だったという声も出ていました。最終日は大阪道頓堀に案内し、大阪のお好み焼きも体験してもらいました。

最初は緊張していた生徒たちも次第にほぐれていき、最後の空港では自分たちのことが載っている新聞記事を見て大騒ぎしながら笑顔で帰って行きました。

当クラブの震災復興事業は東日本大震災直後から5年計画で実施してきて、次が最終となるのですが、少年たちの姿を見ていると、何らかの形で継続していきたいとの思いが湧いてきました。

(第2680地区 兵庫県)



ハートフルプロジェクト 宮城県亘理町の小中学校に図書寄贈

金沢百万石RC 炭谷 亮一



2015年4月に金沢で、私と同期の菅原一博パストガバナー（第2520地区・2011－12年度）の紹介で、仙台ロータリークラブ（RC 第2520地区 宮城県）の大槻昌夫会長エレクト（当時、以下同）と、金沢百万石RCの魏賢任会長エレクト、そして私の4人が約5分程度の立ち話の中で、当方からの「東日本大震災で学校図書が破損した小中学校に協同で図書を寄贈しませんか」との問いかけに、大槻会長エレクトからは「ありがたいお話です。ぜひやりましょう」との返答があり、「ハートフルプロジェクト」が決定しました。

地元、仙台RCの綿密な調査の結果、被災小中学校の中でいまだに援助の手がほとんど届いていない仙南にある、亘理町立の小中学校10校への図書の寄贈が決定しました。

当初はグローバル補助金を利用しようと実行を試みましたが、財団から被実施国として日本は該当しないとの返答があり、急きょ地区補助金を利用することになりました。本プロジェクトの規模の縮小を抑えるため、当クラブの友好クラブである南光州RC（第3600地区 韓国）と高崎RC（第2840地区 群馬県）へ参加の呼びかけをしたところ、快く応じてくださり、4クラブが

本プロジェクトを実施することになりました。

6月24日、亘理町立荒浜小学校で4クラブのロータリアン20人、各学校の代表の児童約40人、教職員約20人が参加して目録（10校にそれぞれ60～70万円相当の図書）の贈呈式が行われました。児童の代表から「新学期から寄贈図書を活用して勉学に励みたい」との力強い言葉を聞き、達成感に浸りました。

最後に友人の清水満会員（富山RC）の多大なるご支援に深甚なる謝意を表します。（第2610地区 石川県）

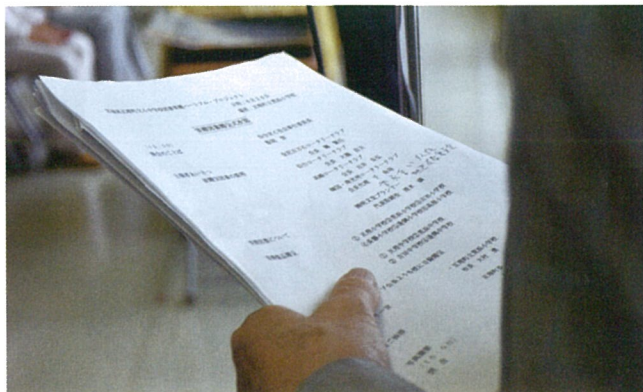
福島の子どもたちのために

松山大学ローターアクトクラブ



2015年から、ドキュメンタリー映画「MARCO H」の制作委員会として協力・協賛しています。この映画は、福島の子どもたちと愛媛の人たちの絆、音楽とスポーツの感動、福島の現状を映し出した映画です。日本全国、世界各地で上映を予定していて、映画の収益はすべて福島の子どもたちへ送られます。

（第2670地区 愛媛県）



よみがえれ高田松原チャリティーコンサート 成田RC 佐瀬 和年

成田ロータリークラブは、創立 55 周年を迎えるにあたり、東日本大震災復興支援として、6 月 5 日、成田国際文化会館にてチャリティーコンサートを開催しました。コンサートは日本大学リズム・ソサエティー・オーケストラによるラテン音楽。選曲は、昭和 30 年代から 40 年代にかけて流行した曲で構成されていますが、バンドメンバーによる巧みなアレンジにより、幅広い年代で楽しめる内容となっており、会場は大いに盛り上がりました。

会場前では地元の成田高等学校インターアクトクラブを中心とした募金活動も行われ、世代を超えたイベントとなりました。

コンサートの最後には全員で「花は咲く」を合唱し、皆さんと一緒にチャリティー

を通じての復興支援に向け、気持ちを一つにすることができました。

当クラブでは、今回のコンサートのテーマを「世代をつなぐ」と定め、収益金の一部を岩手県陸前高田市にある高田松原の復元のために寄付すると同時に、55 年という区切りの中でこのまま終わるのではなく、松の成長とともに未来へも思いを託したいという願いを込めています。

(第 2790 地区 千葉県)



「第 4 回 千年希望の丘植樹祭」に参加して 鹿沼東RC 社会奉仕委員長 山崎 順

5 月 28 日、クラブ社会奉仕活動として、4 年目になる「いのちを守る森の防潮堤」支援のための「千年希望の丘植樹祭」に参加しました。仙台南ロータリークラブ(RC)会員の日置道隆氏が理事長を務める「森の防潮堤協議会」の支援に結びつく植樹ボランティアです。

今回も、樹種の発芽育苗をお手伝いいただいている、栃木県立鹿沼南高校の環境緑地科の生徒を中心に、同校のボランティア部の生徒たち、総勢 95 人が参加。そして、当クラブで奉仕活動をしている、心身障がい者施設の人たち、児童養護施設の子どもたち、地域の町内会長の方たち、総勢 195 人が参加しました。

いつものように割り当てられたエリアに、300 本の広葉樹などを植えました。

その後、第 1 回の「千年希望の丘」植樹地に行き、慰霊の塔の前で高校生の鳴らす鎮魂の鐘で黙とうをささげました。ゆりあげ港復興朝市「メイプル館」で津波襲来の生々しい話と防災について、津波の語り部による話を聞きました。話に身を乗り出し、涙する人もありました。高校生、施設の子どもたちは「去年も一昨年も来た。来るたびに大切なことだと思う。10 年後、20 年後に、必ず自分たちの植えた木を見に来たい。卒業しても、この植樹に関わりたい」と目を輝かせていました。

森の防潮堤造りは 1000 年先を見つめています。これをどのように継承していくのか、大きな課題です。若者に次々とつなげる意義のある心を育てるプロジェクトです。

(第 2550 地区 栃木県)



わが家がイチバン！

新会員の皆さま、クラブの例会が楽しくなってきましたか。「まだ戸惑ってしまう」という人もいらっしゃるかもしれません。ビジターの受付の担当だけ何をお渡ししたらいいのかわからず何度も失敗したという人、ソングリーダーだが曲とタクトがうまく合わないという人など、はじめのうちは失敗談もあるかもしれません。そんな時、優しく見守ってくれたり、教えてくれるのが、クラブの先輩の皆さまだと思います。

自分のクラブの例会の様子が少しわかってきたら、今度は思い切って、ほかのクラブの例会に出席してみてください。

仕事が忙しくて自分のクラブの例会に出席できなかった時、クラブで定められた一定の期間内に、ほかのクラブの例会に出席をしてメイクアップ（出席補填）をすることが奨励されています。しかし、ほかのクラブの例会に出席するのは、単にメイクアップという理由からだけでは、少しもったいない気がします。

十人十色という言葉がありますが、ロータリークラブも同様で、それぞれのクラブが個性を持っています。その個性は、クラブのある地域性、クラブの歴史、そして、そのクラブに所属している一人ひとりの会員によって作り上げられてきたものです。そして、その個性は、例会でも垣間見ることができます。

決められた時間よりずいぶん早くに会員が集まり、例会が始まるまであちらこちらで歓談をしてい

るクラブがあります。反対に、みんなギリギリにしか集まらないのに、例会の後、近くの喫茶店で歓談するのが恒例になっているクラブがあります。

ニコニコボックス（スマイルボックス）のメモを淡々と読み上げる担当者、一つひとつコメントをつけて笑いを取ろうとする担当者など、さまざまです。連絡事項だけしか話さない会長、季節の話や新聞記事についての話をする会長、ロータリーについて説明する会長、会長の話もいろいろです。何かと笑いの起こるクラブ、厳格な雰囲気の中で例会が進むクラブ、その雰囲気もさまざまです。

どのクラブでもビジターは温かく迎えられます。自分のクラブと違った例会の進め方や雰囲気に戸惑うこともあると思いますが、そのうちその違う雰囲気を楽しむことができるようになることと思います。まずは近くのクラブからチャレンジしてみてください。次に、出張や旅行の折に機会を見つけて、例会に出席してみてください。海外のクラブなら、もっと雰囲気が違うと思います。ビックリするような出来事も多いのでは。

いろいろなクラブの例会に出席すると、知り合いや友人が増えていくでしょう。それぞれのクラブの良さがわかっていくことと思います。しかし、自分のクラブの例会に出席した時に、何かホッとした気持ちになるに違いありません。それは、気の置けない仲間たちがいるからでしょう。失敗しても優しく見守り、教えてくれる先輩がいるからでしょう。

そして何より、皆さま自身が、そのクラブの個性の一端を担っているからです。皆さまはクラブの欠けてはいけないピースの一つなのです。クラブライフをお楽しみください。『友』編集長 二神 典子



*決められた期間内に、ほかのクラブの例会に出席する以外にも、インターアクトクラブやローターアクトクラブの例会、地区大会、国際大会など、クラブの規定に定められた会合に出席したり、奉仕活動に参加することでも、例会のメイクアップができます。詳細は、貴クラブの規定を、ご確認ください。



今月はクロスワード。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

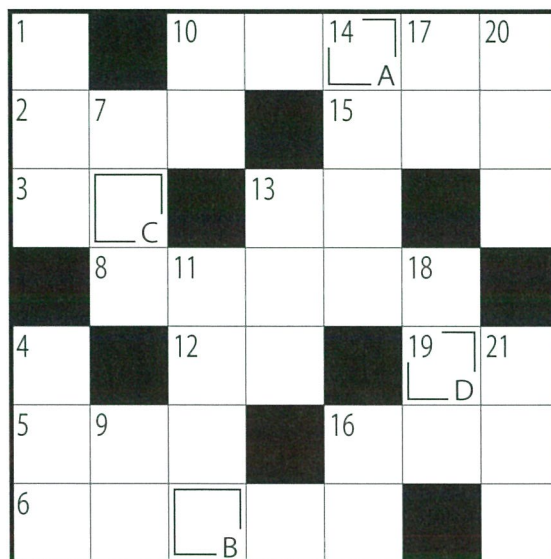
問題 二重枠に入った文字をAからDの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 2 秋に狩りに行く人も多い
- 3 血液にも含まれる金属
- 5 貴人などの邸宅
- 6 東京とパリ、大阪とミラノの関係は
- 8 フックの法則を用いた測定具
- 10 いわゆる「赤とんぼ」の代表格
- 12 ある日森の中で出会うかも
- 13 機会や場合のこと
- 15 40歳の異称
- 16 南アジアの大国
- 19 男性名みみたいな女性の髪型

タテのカギ

- 1 裏の裏の裏の裏です
- 4 木が群がったところ。本数は森の3分の2程度？
- 7 オランダがつけばセロリのこと
- 9 稲刈りにも使われる刃物
- 10 「ぜいご」がある魚
- 11 サラリーマンがよく締めている
- 13 大統領みみたいな市
- 14 南や中央がつく国も



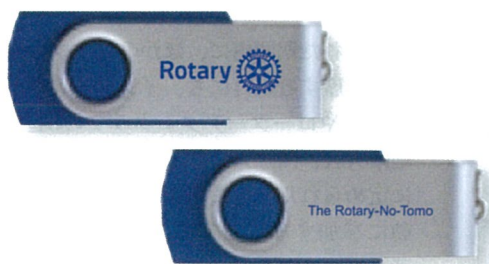
- 16 はさみに勝って紙に負ける
- 17 行き先は海か湖か
- 18 髪やプレゼントにつける装飾品
- 20 不意打ちでかかれないよう注意
- 21 秋の味覚の果物といえば

応募方法

郵便はがきに、①「10月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 (一社) ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2016年11月10日(木) 必着
正解と当選者発表 本誌1月号

毎月10人にロータリーの友名前入り
オリジナルUSB(4GB)をプレゼント



* 7月号の答えと解説を横組みP 42に掲載しています。

来月のパズルは、数独。お楽しみに！



「世界ポリオデー」ツールキットをご利用ください

今年で4年目を迎える「世界ポリオデー」のイベントが10月24日にアメリカ疾病対策センター(CDC)で行われます。イベントの様子は、ポリオ撲滅支援サイト(endpolio.org/ja)でライブ配信されることになっています。

ロータリーでは、世界各地での「世界ポリオデー」イベントの計画と推進に役立つ「世界ポリオデーツールキット」(www.endpolio.org/worldpolioday/#resources)を作成しましたので、ぜひご利用ください。

以下のようにさまざまな方法でご利用

いただけます。

- クラブや地区で世界ポリオデーイベントを計画している場合は、イベント内容をwww.endpolio.org/worldpolioday/#overviewからご登録ください。アトランタからのライブ中継中、またはソーシャルメディアのページで紹介される可能性があります。
- フォロワーの目を引くソーシャルメディアの投稿を作成するため、キットに入っている画像をご利用ください。また、ソーシャルメディア上ではハッシュタグ「#endpolionow」を使って、最新情報をフォローしましょう。
- 地元メディアや地元の議員に書簡を送り、ポリオ撲滅におけるクラブの貢献や、ポリオとの闘いを継続することの重要性を訴えましょう。

国際大会 音楽の融合

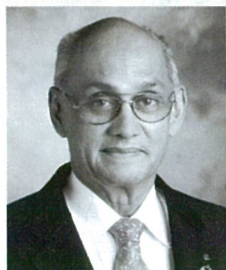


アトランタの音楽シーンについて知りたいなら、とにかくアトランタ発祥の音楽を聴いてみることです。6月10～14日に開催される2017年ロータリー国際大会の会場にほど近いセントニアル・オリンピック公園では、ポップスからジャズ、オールドスクール・ヒップホップまであらゆるジャンルの、夏の屋外音楽をお楽しみいただけます。アトランタの街をはじめとしたいろいろな場所で、多彩なスタイルが

ロータリー財団管理委員長の思い

10月24日世界ポリオデーを記念して

2016-17年度ロータリー財団管理委員長 カルヤン・バネルジー



ポリオ撲滅の取り組みに関して憂慮すべき事態が見受けられます。それは、世界の大部分の人々

が、ポリオはもはや存在しないと思っていることです。私たちの会員でさえ、特にポリオワクチン開発後に生まれた若いロータリアンの中には、自分たちの国ではこの病気に苦しむ人がいないために、何の問題もないと思っている人がいます。

この病気がまだ残っている国があることをすべての人々に認識してもらうため、ロータリーは毎年10月に世界ポリオデーを開催しています。何年にもわたり、私たちはこの日をさまざまな方法で記念してきました。クラブが募金活動をしたり、その国の代表的な建造物に「End

Polio Now」の言葉をライトアップしました。近年では、高名な公衆衛生の専門家やジャーナリストが、私たちのポリオ撲滅大使とともに参加するライブ配信のイベントを開催しています。

今年はアメリカ疾病対策センター(CDC)と協力し、アトランタのCDC本部でライブ配信イベントを開催します(時差を考慮し、イベントはすぐにアーカイブに保存されますので、都合の良い時間にご覧になれます)。CDC所長のトム・フリーデン氏と、『タイム』誌の科学と健康に関する記事を監修するシニアエディター、ジェフリー・クルーガー氏が参加し、ポリオ撲滅の闘いにおける画期的な出来事、期待の持てる新情勢、残された課題について公衆衛生の専門家たちと議論を行います。

アトランタに限らず、世界中のロータリアンにこの特別イベントを実施いただきたいと考えています。実際

に、世界中で1,000以上の世界ポリオデーのイベントが開催されることを願っています。ぜひともライブ配信イベントの観覧会を開催し、募金活動を行ってください。その際、www.endpolio.org/worldpolioday(英語)からのイベント登録をお忘れなく。同サイトには、イベントの成功に役立つ情報もご用意しています。

1988年以降、ポリオの発症数は99.9%以上減少しましたが、世界には、いまだにポリオの残る地域があります。撲滅まであとわずかではありますが、発症数がゼロになるまで、ポリオは私たち皆の脅威であり続けます。世界ポリオデーは、クラブや地域社会で、この重要なメッセージを伝える、大切な機会となるでしょう。



RI 指定記事

織りなす音楽の融合を味わってみませんか。

アンドレ 3000、リュダクリス、リル・ジョン、T.I. など、数々の著名人が住むアトランタは、真のヒップホップの街と言えます。アパッチカフェ、MJQコンコースなどの人気スポットも有名です。インディーズバンドの人氣のあるディアハンターなどのミュージシャンにとっても故郷であるアトランタは、ロックファンの方にもきっとお楽しみいただけるはずです。ジャズ愛好家の方は、アトランタジャズフェスティバルをお見逃しなく。5月に開催されるこのアメリカ最大規模の無料のジャズフェスティバルは、地元のクラブで聴くことができます。

アトランタから車で東へ90分ほど行くと、音楽好きにはたまらないアセンズに到着します。「南のリバプール」と呼ばれることもある魅力的な

の学術都市は、カントリー、ブルグラス、特にオルタナティブミュージックやニューウェーブミュージックに多大な影響を与えてきました。アセンズ出身と言われるアーティストにはB-52's、R.E.M.、オブ・モントリオール、デンジャー・マウス、ドライヴ・バイ・トラッカーズなどがいます。アセンズにお越しの際は、有名な40ワットクラブや歴史あるジョージア・シアターでショーをご覧になってはいかがでしょうか。

—デブリナ・チャクラボルティー

2017年アトランタ国際大会への登録は、www.riconvention.org/ja から。

今後のR I 国際大会

2017年6月10～14日

アメリカ・ジョージア州アトランタ
(以下、予定)

2018年6月24～27日

カナダ・オンタリオ州トロント

2019年6月1～5日

ドイツ・ハンブルグ

統計

全世界ロータリアン総数

1,235,100人

クラブ数 35,247 クラブ

地区数 534 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 216,062 人

クラブ数 9,394 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 465,474 人

クラブ数 20,238 クラブ

国と地域 150 以上

2016年3月31日現在

* 2016年5月27日現在

** 2016 - 17 年度

ロータリーの友



Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

「パズル de ロータリー」(7月号)の答えと解説

7月号の答えは

「49」

当選者(敬称略・順不同)

応募総数 191人 正解者 185人
小曾戸健治(葛生RC)、ド・ティ・フェ・フン(長崎出島RC)、田中順子(大阪天王寺RC)、山之氏秀行(鹿児島西RC)、宇治正光(札幌モーニングRC)、位振暁(福井北RC)、森脇祐之助(江津RC)、藤田亘弘(吉川RC)、勝田純一(京都東RC)、高田洋(多良木RC)

3	2	8	6	7	1	9	5	④
5	7	6	4	3	9	1	2	8
9	4	1	5	2	8	7	3	6
6	3	7	9	5	2	4	8	1
2	9	5	1	8	4	6	7	3
8	1	4	7	6	3	5	9	2
1	5	2	8	9	6	3	4	7
7	6	3	2	4	5	8	1	9
4	8	⑨	3	1	7	2	6	5

ところで「49」って?

ロータリーは、長年、平和を推進していました。1914年、第一次世

界大戦が勃発して間もなく、アメリカ・テキサス州ヒューストンで開催されたロータリー一年次大会では、国際平和会議の招集ならびにロータリアンが国際的な平和運動を推進するという決議が採択されました。第二次世界大戦が激化した時も、ロータリーは平和への取り組みを明確に表明し続けました。

1943～45年、国際連合(国連)を組織するために開かれた一連の会合にロータリアンは積極的に参加。1945年、サンフランシスコで開かれた国連憲章制定会議で、国際ロータリー(RI)はアドバイザーとしての地位を与えられました。ロータリアンの専門的な知識と経験が頼りにされたようです。

この会議には46か国の代表が参加しており、各国からの正式な代表団の一員として、アメリカ代表団のRIコ



1945年6月26日、サンフランシスコにおいて国連憲章が調印されるのを見守るロータリアン

ンサルタントとして、その他いくつかの組織の代表として49人のロータリアンが参加していたといわれています。7月号の答えの49です。

おまけ

『友』7月号
印象に残った記事ベスト3

1位(50人)

地域医療の取り組み

2位(35人)

卓話の泉

3位(17人)

ガバナーの横顔

ROTARY お知らせ

新インターアクトクラブ

鹿児島純心

(2730・鹿児島県・鹿児島サザンウインド)
発会 2016年6月18日 会員数 21人
事務所 〒890-0081 鹿児島市唐湊
4-22-2

鹿児島純心女子中学・高等学校内
会長 脇田 真衣 幹事 岩下由里絵
神戸学院大学附属高等学校
(2680・兵庫県・神戸中)

発会 2016年6月17日 会員数 5人
事務所 〒650-0046 神戸市中央区
港島中町 4-6-3

神戸学院大学附属高等学校内
会長 北野 璃子 幹事 河本 莉衣

◆地区別一覧表の変更について

7月号本欄でもご案内しましたように、4月に開催された規定審議会の結果、例会の頻度、メイクアップの期間などに関して、「標準ロータリークラブ定款」とは異なった「ロータリークラブ細則」をつくることになりました。

今後、クラブ細則の変更をされまると、例会頻度やメイクアップ期間、メイクアップの条件などがクラブによって異なる可能性があります。結果、各クラブの出席率の算出条件が異なることになります。異なる条件下では、地区内の平均出席率を出すことができません。従って、今年度から右の表は「地区別クラブ数・会員数一覧表」とさせていただきます。

会員の皆さまにはご不便をおかけすることと思いますが、事情をご理解いただければ幸いです。

◆ご案内 右記一覧表はゾーン順で、横組みP 44 奥付の日本ロータリー分布図の色分けと対照しご覧ください。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2016年7月末現在)

地区	R C 数	会員数	15 年7 月末 会員数
第 2500 地区	67	2,305	2,273
第 2510 地区	69	2,570	2,569
第 2520 地区	79	2,293	2,291
第 2530 地区	66	2,409	2,371
第 2540 地区	42	1,136	1,106
第 2550 地区	51	1,725	1,739
第 2560 地区	56	2,124	2,111
第 2570 地区	51	1,655	1,657
第 2770 地区	73	2,595	2,584
第 2790 地区	83	2,779	2,755
第 2800 地区	50	1,641	1,639
第 2820 地区	56	1,962	1,972
第 2830 地区	41	1,193	1,145
第 2840 地区	46	2,083	2,056
第 2580 地区	70	3,045	3,022
第 2590 地区	57	2,069	2,142
第 2600 地区	55	1,991	1,987
第 2610 地区	65	2,649	2,618
第 2620 地区	79	3,013	2,967
第 2630 地区	77	3,114	3,108
第 2750 地区	100	4,863	4,795
第 2760 地区	83	4,815	4,811
第 2780 地区	65	2,325	2,362
第 2640 地区	70	1,880	1,357
第 2650 地区	97	4,635	4,638
第 2660 地区	81	3,617	3,598
第 2670 地区	74	2,988	2,974
第 2680 地区	75	2,847	2,858
第 2690 地区	66	3,082	3,103
第 2700 地区	61	3,158	3,154
第 2710 地区	73	3,322	3,316
第 2720 地区	74	2,383	2,373
第 2730 地区	65	2,369	2,353
第 2740 地区	57	2,227	2,232
34 地区合計	2,274	88,862	88,036

日本のロータリー

会員概数 88,572 人
クラブ数 2,265
(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 290 人 (北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ) を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。15 年 7 月末 P B グループ 9 R C 会員数 283 人。

修正 本誌 9 月号横組み P 52 (6 月末) 表中、地区会員数: 2520・2,256 人、2530・2,364 人、2570・1,607 人、2770・2,554 人、2790・2,729 人、2750・4,804 人、2660・3,573 人、2670・2,930 人、2680・2,823 人、34 地区合計会員数 87,615 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 87,326 人。

*『友』ホームページの「ロータリー関連資料」にデータ修正後の表を掲載。

*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

11 月号主要記事予定

横組み 平和に貢献するロータリー財団学友

縦組み オープンマインドを現代に活かす

島根県立大学短期大学部教授 小泉 凡

クラブを訪ねて 米子 R C

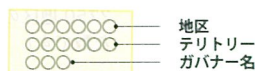
Rotary

ご投稿・お問い合わせは――

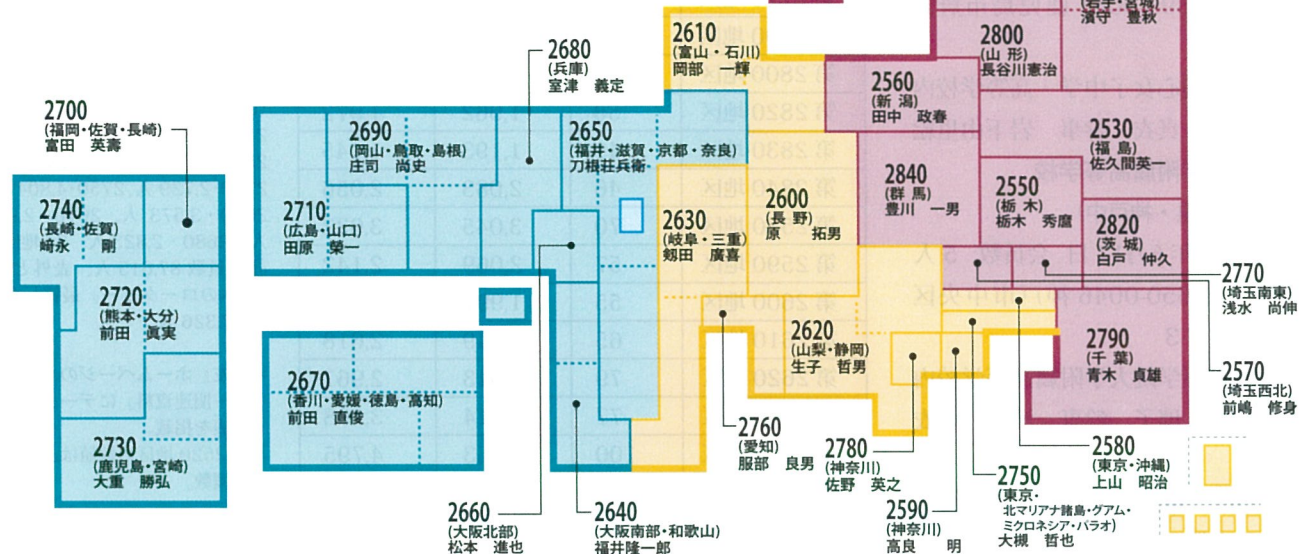
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp ロータリーの友 H P www.rotary-no-tomo.jp



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



ロータリーの友ホームページ www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第64巻 10月号

2016年9月30日印刷 2016年10月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員	斎藤 直美 (豊田)
	石黒 慶一 (鶴岡西)
	上山 昭治 (東京武蔵野中央)
	大槻 哲也 (東京中央)
	佐野 英之 (秦野)
	松本 進也 (大阪北)

■ 理事会

代表理事	清水 良夫 (横浜)
理事	片山 主水 (名古屋東南)
	神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
	上野 孝 (横浜)
	安平 和彦 (姫路)
	片岡 信彦 (土浦南)
	橋本 長平 (京都東)
	井原 貴 (さいたま新都心)
	田中 賢三 (茅ヶ崎)
	東 良輝 (宇部西)
	吉田 雅俊 (東京新都心)
	猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)
	横山 武志 (東京北)
	中里 公造 (川口モーニング)
	堀口 昇治 (東京西)
	野中 茂 (川崎)
	津村 政男 (東京臨海東)
	渡辺 誠二 (東京みなと)
	二神 典子 (東京築地)
監事	船越 豊 (千葉中央)
	小川 湧三 (川崎鷺沼)
相談役	板橋 敏雄 (足利東)
	中村 昌平 (東京北)
	中山 義之 (横浜南)

■ 職員

所長	渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長	二神 典子 (東京築地)
副編集長	野崎 恭子
編集	稲川 やよい
	黒野 穰二
	山名 愛
	飯田 亜由香
経理	富澤 美子
	半田 弥生
	福元 菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

電話 03-3436-6651

FAX 03-3436-5956

ホームページ www.rotary-no-tomo.jp

定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



配布したノートに見入る子どもたち

体のNPO法人AMD A社会開発機構のスタッフと打ち合わせを行った。

一二日から視察先のラッシュ・ショーへ向かい、ここでAMD Aの現地事務所に活動支援金を贈った。一三日は支援対象にしている二か所の地域補助保健センターと小学校二校の四か所を視察。翌一四日は、小学校二校を視察したが、治安の不安定な場所にある地域補助保健センターを視察できなかったことだけが心残りであった。地域補助保健センター三か所には貯水タンクとトイレ、水浴び場をセットにした建屋、小学校四校には貯水タンクとトイレ二個の建屋をセットにして建設し、併せて子どもたちに学用品を贈った。

今回の支援事業では、二〇一五年秋に開催した「第三回ワールドフード+

ふれ愛フェスタ」で集まったお金の一部が資金となっている。

視察にあたり、今回のような地域に行くには政府からの移動許可証を取得しなければならず、参加者全員の取得に大変な時間が必要であった。しかし、AMD Aの今までの実績により、当初の予定よりも早く取得ができ、大変助かった。

ミャンマーも民主化が進んでいるようだが、まだまだ軍部への依存度が高く、本格的な民主化には時間がかかるのではないかと推察する。

(豊田 RC 杉浦敏夫・記)

ロータリーの翼—N仙台

仙台青葉ロータリークラブ

第二五二〇地区・宮城県

当地区による短期ロータリー青少年交換事業「ロータリーの翼」として、第五七五〇地区（アメリカ・オクラホマ州）から九人の高校生が六月二日に来日。九日から四日間、仙台地区で過ごし、青少年奉仕委員会を中心に当クラブでお世話をしました。

期間中、高校生たちはクラーク記念国際高校仙台キャンパスインターアクトクラブの会員と交流し、東日本震災の被災地見学と復興を目指した多目



メイプル館のバナーの数に驚いた高校生たち

的松林の補植作業を実施。伊達政宗公と仙台の歴史を学び、震災の慰霊碑や神社での玉串奉奠と参拝作法を習い、温泉地を浴衣で過ごすなどしました。

昼食はホストファミリーによる食事の「おもてなし」として、日米のハンバーガーの食べ比べや、海のないオクラホマを考慮し、海鮮フライ定食を用意しました。

松林の補植後、砂浜では全員がはだしになり、アメリカまで続く大海原・太平洋の潮風を満喫しました。被災地見学では、仙台空港にあるロータリーの鐘を鳴らしました。カナダのロータリアンから贈られた木材で造られた復興朝市「メイプル館」では、支援してくれたロータリークラブのバナーが天井から吊るされた様子を見て、その多

さに驚いていました。

津波の映像は刺激が強すぎると判断して写真だけにし、ボランティアの説明を受けました。物見遊山にならめよう、交流や日本文化を学べるようにしました。盛りだくさんの行事を乗り切ってくれた若き高校生たち、それを引率した第五七五〇地区バストガバナーのデイビッド・リード団長夫妻に、心から感謝しています。

(鈴木宏・記)

Annotation

意義ある業績賞

(Significant Achievement Award)

重要な問題またはニーズに取り組むクラブの活動を、国際ロータリー(RI) 会長が地区レベルで表彰するもの。この賞の目的は、すべてのクラブに新プロジェクトを奨励し、かつクラブが模範的な活動を行うことへの重要性について理解を深めることにあります。地区からRIへ推薦されるのは一クラブだけです。

ロータリー青少年交換

(Rotary Youth Exchange)

一五〜一九歳の青少年が、最長一年間にわたり母国以外の国を訪問したり留学したりする機会を提供する、RIのプログラムです。関与する国の法令により許され、参加クラブと地区が同意した場合は、二〇歳以上でも参加することができます。

ダバオの盲学校・小学校へ 音楽教材などを寄贈

東京武蔵府中ロータリークラブ

第二七五〇地区・東京都

当クラブでは、二〇一五—一六年度の国際ロータリーテーマ「世界へのプレゼントになろう」に沿った国際奉仕事業として、六月一六—一九日、会員九人がフィリピンを訪れ、ミンダオ島ダバオ市内の小学校や盲学校に音楽教材を寄付した。

音楽教材は府中市教育委員会などの協力を得て、昨年二月に府中市内の小中学校から不要になった鍵盤ハーモニカやリコーダーを募り、会員が各校を訪問して回収したもの。その回収した鍵盤ハーモニカ二〇三個、リコー



ヤギ学園バンカス校で贈呈式に参加

ダー一八六本をはじめ、若干数のバイオリン、クラリネット、アコーディオンを、会員や事務員が消毒し、本年一月にNPO法人日本フィリピンボランティア協会の協力で発送した。

贈呈式は六月一七日午前一〇時からダバオ市のヤギ学園バンカス校で行われ、同市教育長をはじめ、寄贈先であるマウント・アポ小学校、バンカス・ハイツ小学校、ダバオ盲学校からも代表者が出席。子どもたちの踊りや歌が披露され、最後には寄贈した鍵盤ハーモニカを使って日本の歌も披露された。教育長からはダバオ市の教育事情や音楽教育の現状が説明され、今回の事業について「楽器は音楽教育の充実と子どもたちの情操教育に大変役に立つ」と感謝の言葉が伝えられた。

その後、ダバオの山奥に位置し、校舎に電気照明やトイレ設備のないバト小学校を訪問し、ここでは会員が持参したノートやボールペンといった学習教材を贈った。

(濃畑雄四郎・記)

台湾のクラブと協同で 山間部に貯水タンクを設置

郡山アーバンロータリークラブ

第二五三〇地区・福島県

当クラブは今年四月に創立二〇周

年を迎え、記念事業として台湾・第三五〇〇地区の新竹東北區ロータリークラブ(RC)の実施するグローバル補助金プロジェクトに参加しました。台湾・第三四六〇地区の日月潭RCも加わり、三クラブ協同で総額四万六〇〇〇ドルの事業となりました。

台湾南投県仁愛郷中正村は山間部にあり、水道局からの水の供給がなく、村民は山の湧水を貯水タンクまで導いて使ってきました。大雨などで引水パイプが破損することも度々でした。そこで今回、一二丁の貯水タンクを三基設置することで、村民一五〇〇人が五日間分の水を確保できます。このプロジェクトと並行して行われていた公共機関による井戸の掘削と合わせ、きれいな水の安定供給が可能となります。

機材は日常生活で入手できるものを



輝く貯水タンクの前で取材に応じる会員

使っているため、住民は特殊技術がなくとも維持・管理ができます。技術指導や補修品の確保などは現地のロータリアンが自治体や住民とともに積極的に関わっていく計画です。

国際ロータリーの承認を受けた後、工事が進み、六月七日に完成式と贈呈式が挙行されました。当クラブからは小口憲太郎会長(当時)をはじめ会員五人が参加しました。当日は太陽が照り付ける暑い日で、新しく完成した三基の貯水タンクがまぶしく輝いていました。

式典には三クラブの会長をはじめ第三五〇〇地区と第三四六〇地区のガバナーなどが参列していました。村長や地域の代表から感謝の言葉が述べられ、現地の会員と喜びを分かち合いました。

(白岩邦俊・記)

ミャンマーで水資源と 教育支援事業を視察

第二七六〇地区

愛知県

ミャンマーでの水資源および教育支援事業を視察するため、六月一日、筆橋美久地区広報委員長(当時)を団長に、地区国際奉仕委員会のメンバー全員がヤンゴンへ。ここで現地協力団

示するなど、広報に努めました。その効果があつたのか、最終的には七四人の参加希望がありました。

当日、会員はけが人や病人の救護、駐車場整理、会場準備、招待者の接待など、一人ひとりが役割を担い、運営を裏方からサポートしました。参加者からは「次回も参加したい」との声を多くいただきました。ロータリーの活動を、地域の人たちに知っていただくことができたと思っております。

(小林司・記)

二〇回目の シングルスパーティー

雪国魚沼ロータリークラブ

第二五六〇地区・新潟県

最近、ちまたで活発な婚活事業。当クラブでは南魚沼市の人口減少や少子高齢化を懸念して、二〇年前から地域の若者を対象に、「シングルスパーティー」と称して婚活事業に取り組んできました。今年は六月五日に「第二〇回シングルスパーティー」を開き、男性三〇人、女性二九人の参加を得ました。

毎年、募集定員をオーバーし、抽選せざるを得ないほどの申し込みを受けていることから、地域での関心が高いと感じています。一対一のトーク、フ



20 回目を迎えたシングルスパーティー

リータイムトーク、昼食バイキング、カップル投票などを行い、当クラブの会員としては備品や会場の準備、当日の受け付けなどのほか、新たな出会いを望む男女のために、お世話役（ペアレンツ）として、参加者の相談に乗り、話のきっかけを作るために背中を押してあげるといったサポートを行います。

このイベントでは、より品格ある雰囲気を取り組めるよう、男性にはネクタイ着用をお願いしています。そのためか、近年ではかなり真剣に取り組む参加者の姿を多く目にします。

参加者からは「相談役がいてくれて心強かった」「思ったよりも格調の高い会だった」などの声をいただいています。これまでに成婚まで至ったカップルも多数いることから、試行錯誤し

て積み重ねてきた二〇年間で、少しでも地域に貢献できているのではないかと感じています。

今後もしも迫り来る深刻な人口減少問題を抱えた地域と向き合い、事業を継続し、発展させていくようクラブ全体で取り組んでいきます。

蓮田 RC・宮崎南 RC 合同親睦例会 IN 京都

蓮田ロータリークラブ

第二七七〇地区・埼玉県

東日本大震災の教訓を踏まえ、「国内に友好クラブを」との機運が高まり、当クラブは二〇一三年六月二十七日に第二七三〇地区の宮崎南ロータリークラブ（RC）と友好クラブを結ぶことにしました。

きっかけは創立時期、クラブの規模、奉仕活動などを考慮して、宮崎南 RC にアプローチしたことでした。初年度と二年目は青少年奉仕活動として、少年サッカーチームの派遣を中心に交流を深めてきました。

三年目の活動として協同での国際奉仕活動を考えていました。ロータリー財団のグローバル補助金を使った国際奉仕事業の申請を行いました。が、力及ばず承認されませんでした。

しかし、両クラブは、視察に行った

タイ北部の小学校の子どもたちの顔を思い出し、少しでも支援できればと思い、教育支援としてノートパソコン一〇台と文房具などを送りました。

そして、今年六月一八日には京都で合同親睦例会を行いました。例会のメインは奉仕活動で培った実績をもとに、友好クラブから姉妹クラブへの移行です。参加者五四人が見守る中、無事、調印式を終えることができました。これを機に、更なる奉仕活動にまい進していきたいと思っております。

例会後、京舞扇の夕べとして、先斗町の芸妓・舞妓による「鴨川をどり」、宮崎南 RC の千葉百合子会長（当時）によるアコーディオン演奏や歌。懇親会はクラブを超えた和やかな雰囲気、時間を忘れるほどでした。

(波多野勝治・記)



千葉会長（当時）はアコーディオン演奏を披露

最も大切で、①伝えたい目的を明確に、②話し上手になる、③話の材料を持つことを心がける、と力説。そのためには「人・本・自然」との出あいを大切に、会話の材料となるものとして「き・に・し・い・た・け（気候・ニュース・趣味・衣料・食べ物・健康）」などを駆使する必要性を説いた。

その後、生徒が登壇し、発声法や早口言葉の実践を行ったが、笑いを誘いつつも有意義な時間であったように思う。話の組み立て方や声の出し方にも言及し、緊張を解く方法として①ジャンプ法、②グッパ法を紹介し、その巧みな話術もあって、みんな真剣に聴き入っていたようだ。

第二部は（株）ナカニシ管理本部総務部人事課長・世田学氏による模擬面接を行った。壇上で当クラブ会員二人が面接官となり、代表生徒四人との間で、入室から面接、退室までを実践した。非常にわかりやすく、生徒にも好評であったように思う。

その後は質疑応答を挟み、黒田雄一副会長（当時）のあいさつで閉会したが、企業面接の準備として時宜を得た企画であり、今後も継続できればと思う。次代を担う人たちの健全育成の一助になることを願いつつ、今回の報告としたい。

（佐川徹三・記）

救急リレーバトン活動で意義ある業績賞を受賞

妹背牛ロータリークラブ

第二五〇地区・北海道

地域の過疎化、少子高齢化が進行する中、妹背牛ロータリークラブ（RC）は地域に根差した活動をしており、二〇一一年には主に独居高齢者の緊急時、正しい情報を医師や救急隊員、関係者に伝えるための情報を記載した救急情報カード「救急リレーバトン」を作成。自宅の冷蔵庫に保管して活用してもらうもので、妹背牛町に寄贈しました。

住民には大変好評でしたが、作成から四年が経過し数が少なくなったこと、高齢者に限らず不安を感じる一般



高田氏（右）から意義ある業績賞を伝達

住民からの希望も多く、妹背牛町から事業を引き継いだ地元の社会福祉協議会から、クラブに追加作成の要請がありました。そこで救急リレーバトンの大きさや冷蔵庫に貼るシールのデザインなどについて関係者と協議を重ね、例会時間を利用しながら、会員の手作りで五〇〇本を作成して寄贈しました。

この活動は当地区の「意義ある業績賞」を受賞。六月二日に第一グループバナー補佐（当時）である私が妹背牛RCに伝達に赴き、「地区内に七〇クラブあるうち、会員数一人という少人数の妹背牛RCが、地道に地域に密着した奉仕活動を実らせています。今後ともロータリーとして地域の奉仕活動に努められるように」と、激励の言葉を伝えました。

（留萌RC 高田潔・記）

どんなスポーツにも活きる走り方教室を開催

神戸西神戸ロータリークラブ

第二六八〇地区・兵庫県

体を動かす機会が少なくなった地域の子どもたちに、しっかりと体力づくりを行ってもらおうと、五月二日、プロサッカーの岡崎慎司選手が高校時代に活躍した滝川第二中学校・高等学

校のグラウンドで、小学一～二年生を対象にしたスポーツ教室「どんなスポーツにも活きる走り方教室」を、地区補助金を使って開催しました。

参加した児童七〇人は、岡崎選手の本龍勇氏（法政大学教授）から走り方の基本を教えてもらい、熱中症予防のために準備したスポーツドリンクを飲みながら、約二時間にわたり元気に走り回っていました。

この企画の実施にあたっての課題は、募集段階ではまだ幼稚園児だった対象児に、どのようにして周知させるかということ。そのため、中学校区の集まりの場や地域の小学校に積極的に出向き、校長先生などに協力をお願いしました。四月に入ってから各小学校に募集要項を配布し、ポスターを掲



「次回も参加したい」と好評だった走り方教室



海中でサンゴの植え付けを行う参加者

付けプロジェクト」は、今年六月一八～一九日で第六回を迎え、沖縄県ケラマ海域と宜野湾トロピカルビーチにてサンゴの植え付けを行いました。

今回の朗報は、例年のダイビングによる海底での植え付けに加え、二日目にビーチの浅瀬で、ボンベなしのシュノーケリングによる植え付けが実施できたことです。時期にもよりますが、干潮時には腰くらいまでの水深で植え付けられ、安全性が高く、参加年齢枠の拡大につながります。さらに着床率も八～九割と高く、樹木の三倍とも言われるサンゴの光合成が活発になり、地球自然環境に大きく貢献できます。

また、第四回の際に参加した台湾の台北開渡ロータリークラブが会員一五人で再び参加してくれ、日本のロータリアンとの国際的な協同作業を行うと

同時に、フレンドシップを深めることができました。

毎回、地元の琉球大学の学生が参加していることも、ロータリー活動への理解と、社会参加のための有意義な人間交流のスキルアップにつながっており、ロータリアンから受ける影響も大きいと実感しています。観光県・沖縄での環境保全活動は有意義だと思つて始めたＣＰＰですが、国際交流と青少年育成なども併せ持った活動となっています。

九月上旬に第七回ＣＰＰを実施。今後も活動が続けていきたいと考えています。詳細は当クラブのホームページ（左記）をご覧ください。

www.nahwest-rotary.org

霞ヶ浦の再生を願って

玉造ロータリークラブ

第二八二〇地区・茨城県

玉造は霞ヶ浦東岸中央部に位置し、古くから霞ヶ浦と共生してきた地域です。従つて霞ヶ浦の再生は地域の再生そのものです。そのためクラブでは霞ヶ浦の再生を目指す社会奉仕活動を、NPO法人霞ヶ浦アカデミーの専門家の協力を得て、一〇年以上前から継続しています。

霞ヶ浦の「お魚調査」として、毎月



お魚調査で捕まえた魚に興味津々の子どもたち

第三日曜日に定置網にかかった魚を捕り、地元の小中学生らとともに、魚の種類を調べています。お魚調査での結果は、道の駅「たまつくり」情報館内で紹介しています。

また、環境情報の広報として、同情報館内に「霞ヶ浦ミニ水族館」として三つの水槽を設置。お魚調査で捕まえた魚を展示し、霞ヶ浦の現状を紹介しています。会員は例会日である毎週金曜の早朝五時に集まって、ミニ水族館のろ過器と水あかの清掃を行っています。清掃後のモーニングコーヒーは楽しみの一つになっています。

さらに、環境教育講座も開催しています。地域を担う人材育成を目指す活動ですが、毎月のお魚調査の後に実施するもので、専門家と協同で企画しています。主な活動は、湖岸の観察、水

質・アオコ調査、バーベキュー大会での研究発表などです。

（宮本嘉博・記）

高校生のための面接実践講座開催

鹿沼ロータリークラブ

第二五五〇地区・栃木県

クラブでは六月九日、県立鹿沼商工高等学校の体育館で「高校生のための面接実践講座」を開催。三回目となる今回は「3C（チャンス・チャレンジ・チェンジ）で頑張ろう！」と題し、三年生約二〇〇人を対象に行つた。

第一部は前回に続き、元ＣＲＴ栃木放送報道部長・剣持孝信氏の講演「人に伝わる話し方とは」。その中で、人とのコミュニケーションを取ることが



企業の面接を前に、高校生たちにアドバイス

ROTARY 文章編 AT WORK

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

創立三〇周年三〇人の日めくりカレンダー完成

松戸西ロータリークラブ

第二七九〇地区・千葉県

クラブは創立三〇周年を記念し、会員三〇人による日めくりカレンダーを制作、六月七日に完成した。一九八六年に会員三六人で創立され、八八年に会員五一人を記録した後は会員減に悩まされ、二〇一〇年の創立二五周年時には二二人まで減少。二〇人を下回る危機が幾度もあった。

会員の誰が言い出したのか、創立三〇周年時には会員数を三〇人にしよう、合言葉のように唱えていた。そうした中、創立三〇周年を迎え、本当に三〇人を達成することができ、喜びもひとしおであった。

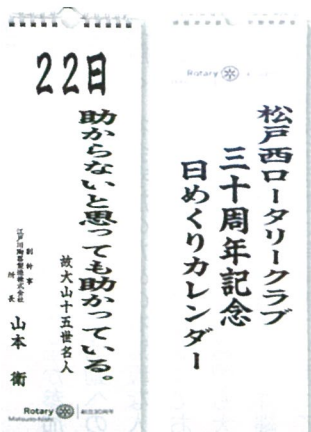
創立三〇周年三〇人会員を記念して、会員一人ひとりが主役で、各会員の顔を思い出せるよう、それぞれの座右の銘を記した日めくりを制作。三〇人では一か月に一日足りず、櫻木英一郎がバナー（当時）から座右の銘をい

ただき、三一日分とした。

クラブ内の親睦はもちろん、クラブ奉仕に通じ、各会員の経営哲学である座右の銘を周囲に伝えることが、社会奉仕、職業奉仕にも通じ、さらには会員増強ツールとしても使用できる。思いついた深い日めくりが出来上がった。

筆者の独り言として……。当初は親睦のために日めくりを作ろうと考えていた。それがクラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、会員増強のツールと発展していくに従って、最初に書いた座右の銘「嫁さん募集中」を書ける雰囲気ではなくなってしまう（涙）。

（山本衛・記）



完成した日めくりと筆者による座右の銘

ハンセン病療養施設で梅吉翁の思いを感じ植樹

青森ロータリークラブ

第二八三〇地区・青森県

六月一日に青森市内にあるハンセン病療養施設である「国立療養所 松丘保養園」で、シダレザクラとハナカイドウの苗計五二本を植樹しました。

二〇一五―一六年度で三回目となったこの活動は、①かつて、日本のロータリーの創始者・米山梅吉翁が同園に多大な支援をした功績を記念する、②長い療養生活を送る方々へのやすらぎを提供する、③地域に開かれた施設へと変化していく一助となる、④やがて保養園がなくなる日に向け多くの緑を残したい、という同園の思いに協力する、目的で行っています。

当日は会員とその家族、米山奨学生、ロータリーアクター、地域住民、保育園児、そして保養園の方々を含め約八〇人で協力・交流しながら植樹。また、二年前に植えたラベンダー畑での雑草取りも行いました。

作業終了後、同園の入園者からハンセン病患者が受けた苦難の歴史について話してもらいました。その中で、かつて園内だけで使われた「園内通貨」



ハンセン病の療養施設内に植樹する会員たち

の話になりました。

これは入園者から強制的に金銭を取り上げ、園内通貨と交換することで、逃走を防ぐ目的があったそうです。実際にこの通貨を見せてもらい手に取ってみました、とてつもなく重いものを感じました。

この活動を続けることで、同園への援助を惜しまなかった梅吉翁の思いに少しでも近づけたら、と思います。

八〇〇株のサンゴ植え付け達成

那覇西ロータリークラブ

第二五八〇地区・沖縄県

二〇一三年に開始した「Coral Planting Project」サンゴ植え

ROTARY AT WORK



おそろいのポロシャツで

〈東京東江戸川RC〉

「第3回小岩阿波おどり」で給水奉仕活動を実施。会員の親睦とロータリーの公共イメージ向上にと、そろいのポロシャツとポロシャツを着用し、ロータリーアクターとともに活動した。会長方針「Rotary Serving Community（地域社会に奉仕するロータリー）」を合言葉に多くの奉仕事業を計画中だが、幸先のよいスタートが切れた。
(7月2日 第2580地区 東京都)

ROTARY AT WORK



区民祭での歯科相談

〈川崎西RC〉

「高津区民祭」の催事とパレードに参加して43回目。催事として、高津区歯科医師会と協同で行う歯科相談は7年目になる。今では定着し、外れなしのガラボン抽選券に引かれてか(？)会場に入りきれないほどの相談者が来場した。ガラボン抽選は長蛇の列となり、抽選者だけでも例年同様、1000人以上となった。
(7月31日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK



名張市クリーン大作戦

〈名張RC〉

奉仕プロジェクト委員会主導で「名張クリーン大作戦」に参加。伊勢志摩サミットを前にしたおもてなしイベントとし、市民、住民団体、企業、行政と合同で名張川の河原を中心に、ごみの回収作業を行った。三重県知事や名張市長も出席し「訪れる人々がきれいな街と思ってくれるように楽しみながら取り組みましょう」と呼びかけた。
(5月15日 第2630地区 三重県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文、字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK

会員の孫がカナダ留学 例会で激励

〈輪島RC〉

東京都在住の孫・大輝君の海外留学の夢をかなえたいという、今年5月に亡くなった新橋康紀会員(在籍40年)の生前の計らいで、輪島RCからの青少年長期交換学生として、大輝君がボルトンRCの受け入れでカナダに留学することになった。大輝君は父の裕一郎氏とともに例会であいさつ、会員の激励を受けた。
(7月26日 第2610地区 石川県)



ROTARY AT WORK



熱中症の予防に

〈館林ミレニアムRC〉

日本一暑いともいわれる館林市だが、夏でも多くのイベントが行われる。クラブは地区補助金を利用し、「館林スポーツ熱中症対策プロジェクト」を実施。体育施設利用者がスポーツを安全に安心して行えるよう、また青少年のスポーツ育成支援を目的に、館林市城沼総合体育館にミスト扇風機4台を寄贈した。
(7月14日 第2840地区 群馬県)

ROTARY AT WORK



奉仕の心 クラブから 市民活動へ

〈有田RC〉

1998年から毎年行われている第19回「有田川クリーン作戦」に参加。有田RCの奉仕活動として始まり、今では有田市民による環境整備運動に広がり、約1000人の地域住民・団体が協力して、川海のごみを拾う壮大な奉仕活動となった。初夏の朝の光の中、参加者の汗が輝く気持ちのよい時間となった。
(7月3日 第2640地区 和歌山県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

米山奨学生、祇園祭で 浴衣に笑顔

〈京都紫竹RC〉

「米山奨学生と祇園祭を楽しむ会」を開催。地区の米山奨学生32人のほか、カウンセラー、会員など総勢90人が参加。会員による着物や祇園祭、茶道の話の後、奨学生は浴衣に着替え写真撮影。山鉦に登り、お茶の体験後は自由行動。女子はかわいく、男子はリリしい浴衣姿はクラブ名のテロップとともに、当日のニュース番組で放映された。
(7月14日 第2650地区 京都府)



ROTARY AT WORK

花時計前で友好クラブ交流

〈長万部RC・東京葛飾中央RC〉

東京葛飾中央RCが、友好クラブを締結した北海道の長万部RCを訪問。両地区のガバナー補佐も交え、長万部RCが2008年の創立40周年記念事業として長万部町に寄贈した花時計を見学し、友好の絆を深めた。
(6月26、27日 第2510地区 北海道/第2580地区 東京都)





ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

進化した 「花いっぱいプロジェクト」

東大阪ロータリークラブ
第2660地区 大阪府

3年間、小中学校などに土と種、苗などの資材を支給し、育成支援を行う「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」は、2005年から大阪府が推進する事業です。子どもが育てた花の苗を通して、人々の結びつきや地域の結束力を固めることで地域力の再生を図るとともに、都市緑化を推進することで、緑豊かな街づくりが始まることを目指しています。

東大阪RCは2008-09年度に職業奉仕委員会の出前授業として、地元企業などの協力を得て、東大阪市立太平寺小学校で花の苗を育て、JR長瀬駅前に植樹したのを手始めに、現在4校で実施。当初は出前授業の一環で始めましたが、地域社会への奉仕と青少年育成に効果的であることから、2年前に社会奉仕委員会へ移管しました。3年ごとに継続事業の見直しを行い、昨年度は2校が見直し時期となりました。学校近隣から当クラブに代わる資材提供者を探したところ、複数の協力者が見つかりました。そこで当クラブは、資材提供の立場からコーディネーター（小学校と支援者をつなぐ役割）となり、新体制で事業を継続できるようになりました。今年度は残り2校が見直し時期となりましたが、1校は新たな資材提供者を見つけ、もう1校は引き続き当クラブが資材提供することになりました。

ロータリーの奉仕活動は全てをクラブだけで実施するのではなく、クラブで実践した奉仕活動を各会員がそれぞれの得意分野で社会に広め、「奉仕の理想」を現実近くに近づけることを目指しています。大阪府への協力から始まった事業でしたが、当クラブが中心となり、進化させることができました。この活動が他の地域へも波及することを願います。

（濱谷和也・記）

ハンカチを忘るなといふ母の声

岐阜西 眞鍋倭文子

卓上に薔薇一輪の奢かな

岐阜・高山西 小森 丈一

麦秋やわが青春はいつも飢餓

富山南 升田 義次

峰雲や黙して数ふ八ッ岳

奈良 寺田 康宏

木下闇抜けて太平洋臨む

和歌山・御坊 丸山 初美

山路きて新樹に染る命かな

和歌山・海南 川上 武

刻々と火星動きぬ花卯木

東大阪東 田中 邦夫

母の忌に近づく茅花流しかな

東大阪東 溝畑 洋子

丸木橋一息つけば滝の音

兵庫・芦屋川 廣瀬ゆきを

聴き入りてかじかの闇となりけり

兵庫・神戸西 村野 利昭

谷間の水音高し梅雨に入る

兵庫・神戸西 山地 宣子

海原へ窓開け放ち夏館

福岡城南 吉武 草徑

長崎は橋多き町夏柳

長崎北 三原 茂

被災地へ祈りのつづく桐の花

埼玉・日高 原田 邦義

梅雨晴間雲の流るる夕べかな

埼玉・日高 犬竹 功子

偶々たまたまに柳河の人に逢ひにけり
「城ヶ島の雨」の大き碑の前

東京ワセタ 福地桂之助

明日からはことし下半期のスタートぞ
ふるいたたせる茅の輪くぐりは

青森・三戸 加藤 定男

水をやる妻に应えて朝顔が
見事咲かせる大輪の花

群馬・渋川 薄井 正幸

外來のタンポポふとぶとと敷に咲く
野に咲く花の根生見たり

神奈川・相模原 佐藤 清一

三姉妹並んで坐りバースデー
リボン解くたび歓声上がる

長崎出島 伊東 浩子

打つ太鼓細き腕のぼち捌く
園児の額に汗の光れり

長野・佐久コスモス 中澤 道保

漆黒の宙を過ぎれる朱の一条
君が遺作のうるし盆かざる

石川・金沢百万石 石丸 恭子

朝露に濡れる長椅子の真下には
藍に輝く朝顔の花

山梨・北杜 山形 博宣

濁流はぶつかりあつて隆起して
逆波立てて橋梁震わす

大分・竹田 高野 將

はかなくも埋めもどされし城堀を
オーブンカーは行くジャズを流しつ

愛知・豊橋 長屋 孝美

湧き上る雲に入りて飛行機は
ベルト着用の合図を鳴らす

千葉・富里 寒郡 政雄

先輩を君と呼びたいときもある

大阪大淀 長谷川眞哲

ビー玉が輝いていた少年期

鳥取・倉吉中央 牧野 芳光

あきらめた眼では本気で怒れない

大阪西 鴨谷瑠美子

新しいことをしたがる古参兵

群馬・伊勢崎 秋山 春海

石ころも踏まれて蹴られ磨かれる

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

行列の最後を指す日曜日

愛知・豊橋 荒島 一実

良い加減母と私に格差あり

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

若者よ 国を守ると言つて欲し

埼玉・入間南 大野 快三

切り札は四番目の矢 神頼み

愛知・新城 鳥居 栄一

年金にアベノミクスが届かない

富山・射水 江守 正

ジム通い健康寿命蓄えに

新潟・吉田 佐藤 良一

ロータリー元氣支える友がいる

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

最年長会長職をやつと終え

千葉・富津中央 千葉 一利

矢木沢がこつちに来てよと雷神に

東京武蔵府中 伊藤 信吾

信号待ち寸暇惜しんでペディキュア

埼玉・所沢西 大原 律子

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



稲畑 汀子 選

天守まで登れぬ妻とラムネ飲む

東京西南 荒居 隆二

日本各地に残っているお城は、大方狭くて急な階段を上がらなければならぬままである。どこのお城かはわからないが、とても妻には無理な急勾配の天守とわかり、作者は外から眺めるだけで心足る思いになって一緒にラムネを飲んだのであろう。優しい夫婦の情が流れた一句としてしみじみと後味のよかった。

かくれんぼう皆向日葵となりにつけり

徳島・阿波池田 山下 玲子

一面向日葵（ひまわり）の咲いている畑であらうか。子どもたちがかくれんぼうに興じている。鬼だけが外に居て、あとは皆が向日葵の間に隠れたのである。高い向日葵だけが残されて、みんなが隠れた場所が見えなくなった。見えているのは向日葵の花ばかりなのであろう。皆向日葵となった、と言い切ったところがみごとである。

新緑や身心ともに癒されし

広島・因島 村上 稔

白南風や間近に見ゆる烏帽子岩

神奈川・茅ヶ崎 中山富貴子

雲の峰真正面に中央道

山梨・甲府西 太田 道夫



佐佐木幸綱 選

トウルツロの町並み描く一団は
日本のシニア、選々ここに

岐阜加納 鵜飼 武彦

世界遺産にもなっているイタリア南部のアルペロベツロの町には、石造りのとんがり屋根の家々が並んでいるところがあります。「トウルツロの町並み」です。

一首のモデルは、日本人のスケッチを趣味とする方たちのツアー旅行でしょうか。作者も参加者の一人だったのでしょうか。下句「……日本のシニア、選々ここに」、が楽しい場面をユーモラスに描き出しています。

この年の蝶は迷ふか崩れはてて
低き土塀にひらり現はれ

熊本水前寺公園 北里美知子

地震のおかげで、今年の熊本の蝶はとまどつていのではないか、というのです。昨年までは高い土塀をゆうゆうと飛んで超えてきたのに、今年は壊れて低い塀しかない。

たぶん蝶だけではないでしょう。鳥たちも異変に気づいているでしょうし、人に飼われている犬や猫も、何か変だな、と気づいていることでしょう。人間以外の生物たちにも視野を広げて、熊本地震の影響をうたっている点が新鮮です。

そら豆を皮ごとパクリ食う夫に
夏は来たれりビールと共に

茨城・古河東 小山 幸子



てじま晩秋 選

出口にて正直すぎる日本人

神奈川・横浜旭 吉原 則光

各種選挙投票日には、いつも怪訝（けげん）に思うことがあります。それは投票終了時刻と同時に、「当選確実」のテロップがテレビ画面に表示されることです。出口調査による事項が「根拠」なのでしたが、不思議です。そんなわけですからこの作品に同感です。

用済みの書類は孫に千切らせる

新潟 小林 悟

父の日に孫のカードを褒めちぎり

奈良 寺田 康宏

川柳結社の主幹や代表者、いわゆる指導者の中には、「孫の句は作るな」と公言される方がいます。「孫は可愛い等の同想句ばかりで面白くもない」がお答え。――俳句は自然を――川柳はヒトつまり人間を詠（よ）むので、私は率直に、孫もモチーフにしてほしいと考えています。

床汚れ妻の言い訳白内障

北海道・斜里 辻 舒宏

奥方が白内障ですか。床も台所の茶碗、お皿もまた窓ガラス、壁などの清掃もお手伝いしましょう。辻さんも私と同様、普段はあまりしていないと思いますが、ぜひお願いします。この句に私自身「はっ」と勉強になりました。

八つ当たりされた子猫が考える

青森・五所川原中央 小野 順蔵

進化する防犯カメラ

(株)YESセントラルオフィス
代表取締役社長 初波 貴大

昨今のさまざまな事件の解決や事案の解明に、防犯カメラは欠かせないツールとなっており、街中を歩けば、そこかしこに防犯カメラが設置されています。一昔前は、不特定多数が映りこむ防犯カメラ設置に対して、プライバシーの侵害という声も大きかったようですが、今では防犯カメラによる事案解決や犯罪抑止力の有用性が認められてきて、設置台数も年々増えています。

防犯カメラにもさまざまな種類があります。一般的な防犯カメラ、闇夜でも映像が確認できる暗視機能が付いたカメラ、そして近年ではテロ防止や犯罪者の特定ができる顔認識システム付きのカメラもあります。実際に二〇〇五年七月七日に起きたロンドン同時爆破事件や二〇一三年四月一日に起きたボストンマラソン爆弾テロ事件で犯人の検挙が迅速に行えたのは、防犯カメラの記録に負うところが大きいと見られています。

日本国内でも空港には顔認識システム付きのカメラが設置されています。二〇一六年二月にJ R東海が新幹線客室内の一部で

防犯カメラ設置を開始しましたが、瞬く間に増設が決定して、ますます防犯カメラの重要性がクローズアップされました。

防犯カメラの普及が日本でも急速に進んだ理由に、三つの要素が考えられます。

第一に、社会や地域の情勢の変化が考えられます。一昔前は水と安全はタダという、今では考えられない古きよき時代でしたが、今では自分の身は自分で守る必要があります。タクシীর車内でも車載カメラの設置は当たり前になりつつあります。

第二に、価格の低下と技術の向上です。数年前ですと一、二台設置するだけで一〇〇万円ぐらいかかっていた防犯カメラが、現在では五分の一ぐらいのコストで設置できるようになりました。また、以前は安いカメラですとせっかく設置しても顔の判別がつかないぐらい画質が悪かったのですが、技術の向上で安価なカメラでも大変鮮明な映像が撮れるようになっています。

最後に、自治意識の向上です。以前は「監視されているようで嫌だ」「プライバシーの侵害」という意見がありました。防犯カメラをもって犯罪を抑止して、有事の際はそれを確認することの重要性、すなわち自治意識の向上が大きいと考えられます。

(第二六〇地区・大阪府・豊中南R Cにて)



歌日記『八十七日』
表紙

を撮りに行ったりしていますが、推測をたくましくすれば、国際ロータリークラブ連合会本部を訪ね、ポール・ハリスに面会したかったのではないかと思います。結果的にはポールには会えず、事務総長チェスリー・ペリーに会い、純金製のバッジを贈られています。またニューヨークのクラブを訪ねています。案内した佐藤喜一郎氏は「クラブは相当立派なものでしたが、出て来たメンバーは葉巻をくわえ腕まくりで玉突場で玉を突いている始末で、日本の様に一流紳士の集まりとは大分違った印象を受けました。日本のガバナーの訪問に対しては、不思議に思われた程田舎くさい対応で、其後米山さんはロータリーには再び行こうとはいわれませんでした」と書いています。

公益財団法人
米山梅吉記念館

[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日
12月28日～1月4日
整理のための休館日
(5月、8月の特定日)

〒411-0941
静岡県駿東郡長泉町土土狩 346-1
TEL 055-986-2946
FAX 055-989-5101
Email yumh@ai.tnc.ne.jp



卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

自転車の魅力

サイクルハウスKEN代表 加藤 健司

ウォーキングが大体時速四キロ^{メートル}に対し、

自転車は、初心者がいわゆるママチャリに乗っても、時速二三〜一五^{キロメートル}のスピードが出ます。距離が伸びるため、今まで歩いては行けなかった所に行けるようになります。車だと通り過ぎてしまう途中の風景を眺めたり、新しい発見をすることができます。

またウォーキングを始めると、大体の方は途中からジョギングに切り替えて、足首、膝、腰を痛めてしまいがちです。一方、自転車は回転運動であるため足首、膝、腰に負担が軽くてすむので、理想的な運動ができます。

サドルの高さは、ペダルにかかとをのせたときに膝が伸びるのがベストです。足の親指の付け根をペダルにのせたときに軽く膝が曲がり、地面に対しかかどが水平より少し上がるため、踏みやすくなります。がむしやりに走ると疲れるだけで脂肪が燃えません。

トレニングでは心拍数を一分で約一二〇以上に持っていくのですが、そうすると筋肉中のグリコーゲンを使うため筋力や心肺能力は強化されますが、脂肪は燃えません。話すと若干息が上がるくらいの一〇秒で一七か一八くらいの心拍数ですと脂肪が燃えやすく、血流がよくなります。屋外で風を切って走ると楽に気持ちよく運動ができます。少し疲れるくらいの速度で二〇分はこいだほうがよいと思います。スポーツサイクルではなく、ママチャリでも大丈夫です。

自転車のもう一つ良い点は、人間の中で一番大きな筋肉である大腿四頭筋^{だいたいしとうしん}が鍛えられること。ここを鍛えることで基礎代謝が上がります。自転車に乗って風景を眺めながら、ちよつとがんばって大腿四頭筋を鍛えてみてください。翌年には三〜四^{キログラム}やせているはずですよ。

(第二九〇地区・千葉東・成田コスモポリタンRCにて)

米山梅吉没後七〇年シリーズ

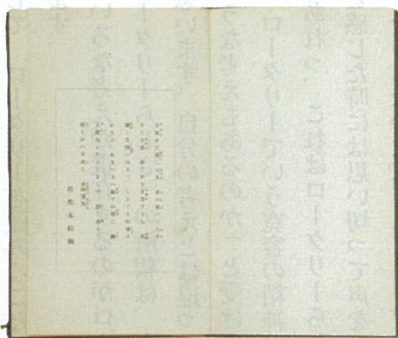
米山梅吉の一冊

歌日記 八十七日

大正一二年二月発行
本文九二ページ、非売品

米山梅吉は一九二一（大正一〇）年一〇月、英米訪問日本実業団の一員として、ホワイトハウスでウォレン・ハーディング大統領と会見し、野口英世をロックフェラー医学研究所に訪ねました。その八七日間の旅行中、日記代わりに歌を残し、歌集として編んだ本です。一二月四日の記述には「シカゴ着、ホテルブラックストーンに入り、未だ椅子に座する^{いま}違^{がくせん}あらざる間に、原首相凶変電報に接する愕然^{がくせん}言うところを知らず」とあります。

その旅行で米山は一行と別れ、一月七日まで三日間、シカゴに滞在しました。その間、気分が優れず安静にしていたり写真



歌日記『八十七日』

ロータリー(RI)でも地区でもなく、一つひとつのクラブです。そのクラブ間の調整機関がRI、地区ですが、近年はRIが主導権を持って各地区、クラブを引っ張っている図式が見られます。これはロータリーが単年度制で、一年任期のガバナーより、RIの役員、スタッフの方がロータリーに精通しているかのごとく錯覚している点があり、ガバナーといえどもRIに対して指導力を発揮しにくい状態にあり、それがロータリーをおかしくしているのではないのでしょうか。

ロータリーの組織の良い点の一つに、全ての情報が会長、幹事に集まるようになっていたことが挙げられますが、それゆえ会長は一年間、ロータリーについて会員の誰よりもよく研究します。RIの方向性で疑問に思うことがあれば、クラブの理事会で検討することが必要ではないでしょうか。RIの考え方をうのみにしてはいけません。

皆さんは、近年のRI、ロータリー財団の投資収益のマイナスをどう感じられているのでしょうか。果たしてロータリーにおける投資行為はふさわしいのでしょうか。資金不足によるものか、誰でも入会させる、あるいはマスコミ受けするような事業を企画して世間の注目を集める、このようなことは、ロータリーの目的ではありません。本当に入会してほしいと思う人は、こんな団体に魅力を感じないでしょう。

今、ロータリーは負のスパイラルに陥っているように感じます。この状態から一刻も早く脱出するため、本来あるべき姿はどうなのか、一会員として賢明なる皆さまのご指導を望んでいます。

ます。

(第二六五〇地区 京都府 機械技術)

「ロータリーらしさ」とは

丸亀 横田 龍男

何事につけ「らしさ」というものがなくなっているように思います。たとえば、子どもがフェンスに登り、ゆずって遊んでいます。フェンスは大きく揺れています。「危ないから下りなさい!」と声をかけると、「なんでダメなの、なんで?」と、問い返す子どもがいます。大人に注意されると素直に「ごめんなさい」と答えていた「子どもらしい」子どもはいつの間にかいなくなってしまう。彼らはどこへ行ったのでしょうか。

あるロータリアンとこのことについて話をしていたところ、それでは「ロータリーにおける『ロータリーらしさ』とは何なのか」という話になりました。ロータリーにもロータリーらしさが必要です。ロータリーが「ロータリーらしく」なるにはロータリーの基本を守ればよいのです。具体的に言いますと、①例会時に規律を保ち、緊張感をもった例会運営をする、②むやみやたらに例会変更はしない、③例会とレクリエーションを混同してはならない、④夜間例会のお酒が入る席でも、品位のある例会運営をする、⑤例会においては、ためになる実のあるプログラムを組む、など。ロータリーにとって「当たり前のこと」ばかりです。

時には初心に帰り、現状を「四つのテスト」

に照らして、ロータリーを顧みることが必要かと思えます。

いろいろな考えが混在するのがロータリーで、「ロータリーらしさ」の解釈は、人により違うと思います。自分の考えとは違っている「そのような考えもあるのか」と受け入れるところに、ロータリーという寛容の精神がありますが、「あれっ、これはロータリーらしくないなあ」と感じた時には思い切って声を上げることです。そうしないと「ロータリーらしくない」行いが常態化し、それが長年続くと正しいことになり、ロータリーが誤解を受けることになります。ロータリーはロータリーらしくあらねばなりません。

(第二六七〇地区 香川県 建築設計)



わがまちの味 南砺 ドジョウのかば焼き

富山県南砺地方では「かば焼き」と言えばウナギではなく、ドジョウが一般的です。濃厚なタレをかけてカリッと焼き上げた夏の風物詩とも言える名物郷土料理。おつまみとしてお酒との相性も抜群です。

川合 声一(富山県・南砺RC)

友好都市提携のきっかけの一つとして、われわれの事業が含まれていると聞くと、ロータリーアンとしてうれしく、誇りに感じます。

(第二二〇地区 山口県 自動車修理)

ユニバーサルデザイン タクシー

川崎中央 関 進

ユニバーサルデザインとは、アメリカ・ノースカロライナ州立大学のロナルド・メイス氏が提唱した概念で、「できるだけ多くの人が利用可能なデザインにすること」が基本コンセプトです。有名なADA法（障がいを持つアメリカ人法・公民権法の一つであり、障がい者も健常者と同じ生活をする権利があり、それができないのは差別であるという法律）に適應した考え方です。

タクシー会社を經營する私は、約二〇年前、日本經濟新聞主催のユニバーサルデザインに関する視察旅行に参加して、ノースカロライナ州立大学を訪問し、視察した内容をタクシーに適應できないかと考え、ユニバーサルデザインタクシー（略称・UDタクシー）を四台導入しました。車の天井が高く、車椅子のまま乗車できるタクシーですが、当時はまだまだ理解されずに失敗しました。

しかし、最近ようやく日本社会の超高齢化対策として、さらに東京オリンピック・パラリンピックの開催決定が追い風となり、UDタクシー導入の機運が高まってきました。

すでにある車椅子対応の車（福祉タクシーなど）の需要は自宅から病院に限定され午前中に集中するため、利用する側は車が足りず、供給する側は一日の稼働で考えたと採算が合わないというミスマッチが生じていました。UDタクシーの導入により、空いている時間帯は流しタクシーとして健常者に利用してもらうことで採算が取れ、解決できるというわけです。

過去に失敗したのは、流しタクシーとして営業しても、健常者に利用してもらえなかったことが大きな理由でした。

そこで三年前に川崎市と業界団体で協定を結び、市内の主要駅にUDタクシー対応乗り場を設置し、UDタクシーを優先して先頭につけるルールをつくり、五年以内に全タクシー車両数の一〇割のUDタクシー導入を決めました。

多くのUDタクシーの登場により、障がい者や高齢者が安心して出かけることができ、老



今後、ますますの利用が見込まれるUDタクシー

後の健康で元氣な生活づくりに大いにプラスになり、究極のベッドツーベッドの、誰にでも優しいタクシーが実現できると確信しています。

さらに昨年一月には、川崎市が今売り出し中の川崎工場夜景ツアーにUDタクシーを使つて障がい者や高齢者三〇組を招待する企画を実施し、大評判となりました。

このような川崎市のUDタクシーの取り組みに対して、国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しました。自動車メーカーもセダン型タクシーからUD型ワゴン車の生産に切り替え、急速に全国へ拡大することが予想されます。その先駆けとして、障がい者や高齢者に優しい街づくりに取り組む、川崎市の素晴らしい対応に拍手を送ります。

(第二五九〇地区 神奈川県 タクシー業)

ロータリーの変化

宇治 内良 益雄

本来、ロータリーは自己の職業に、奉仕の考え方を導入することが基本であり、それでこそ忙しい職務を抱えている人も、社会の第一線で活躍している人も、自分の仕事に支障をきたすことなく、ロータリーの活動ができるのだと思います。ロータリーの事業のために自分の仕事に支障をきたすことはあってはなりません。私たちはいつも職業奉仕について考えることが必要です。

次に、ロータリーの中心となる組織は、国際



中国製オート三輪で資材を運搬。運転しているのが筆者

市民講座などで先生の話を聞いて来たのと。四時間ほどのフライトで北京に着くと、内モンゴル自治区の包頭市まで蒸気機関車にけん引された寝台列車で一五時間かけて行き、駅前の食堂で朝食を食べて一休みした後、四輪駆動車に乗り換え、また五時間、途中からは道がなくなり沙漠の中を車の天井に頭をぶつけながらクブチ沙漠の緑化基地・恩格貝に着きました。実質三日間の作業でしたが、スコップを使って砂地に人の腰が埋まるくらいの深さの穴を掘ってポプラの苗木を植えるのは、当時三〇代の私でも大変でした。今でこそ機材も整って地下水をポンプで汲み上げ、ホースで搬送できるようになり、作業が楽になりましたが、当時は池に雨水をためて、てんびん棒に担いで運んだ水を大事に苗木にかけていました。力仕事で結核汗が出るのですが、沙漠は乾燥していてすぐにサラッと乾きました。

植林が始まって二〇年以上たち、初期の頃に植えた、細く頼りなさそうだった苗木のポプラは、二〇一二年に行った時には見違えるくらいたくましくなり、林から森に成長していて、見ていてうれしくなりました。この植林事業が増々発展することを願っています。

私は中国各地に二〇回ほど行きましたが、最初に行ったこの旅行が一番感慨深く、昨日のことのように思い出されます。

ここ他にも中国各地で幾つかの日本のNGO、NPOが環境対策事業を行っています。どこも昨今の日中関係の冷え込みのためか元気がないようです。中国政府も黄砂やPM2.5などの環境対策にもっと予算を使ってほしいものです。

昨年度、クラブで米山奨学会の担当をしましたが、これからも国際交流に携わっていきたいと思います。

(第二六九〇地区 鳥取県 計量機・測量機販売)

友好都市締結

萩東 小林 正史

今年四月八日、宮城県石巻市と山口県萩市は友好都市提携に関する協定を締結しました。この縁のきつかけの一つは、約四〇〇年前、東北一の大河である北上川の改修を成し遂げ、「石巻の開祖」と言われている川村孫兵衛重吉翁が萩市の出身であったことです。

二〇一一年秋、東日本大震災で大きな打撃を



友好都市提携のきっかけにもなった孫兵衛船

受けた石巻市の状況が、当地区の地区大会で報告され、「石巻の開祖」の出身地である萩のクラブが協力することは当然と、萩ロータリークラブ(RC)、萩東RCで話し合い、孫兵衛船競漕復活プロジェクトの支援に参加しました。この競漕は毎年夏開催の「石巻川開き祭り」で行われている一大行事で、大震災によりレースに使用する船が大きな被害を受け、開催ができずにいました。

そこで私たちは、年末に行われる「萩城下町マラソン」、年明けの「萩・椿まつり」で募金活動、ポスターの掲示、募金箱の設置などを試み、多くの市民、観光客の皆さんの善意を得ることができました。

二〇一三年、新造していた二隻が完成し、競漕はデモンストレーションとして復活。翌年にはさらに新しい船を加え、完全復活することができました。以来、毎年行われています。

何らかの理由でクラブを退会したが、元気で活躍している元会員が、自分の都合のいい時にビクターファイバーを納めて例会に出席することができます。

私の敬愛する会友に井上義雄さんという九三歳になる先輩がいて、温泉やゴルフを毎月一緒に楽しんでいます。今回は、この井上さんの人生訓を紹介するために投稿をしました。私は一九二五生まれの九一歳で、その私にとっても、彼の人生訓は衝撃的です。

「病まず、弱らず、一一五歳、それ以上は心掛け次第」というものです。

別に高齢であることを自慢しているわけではなく、かといつてもつとがんばろうと言っているわけでもなく、ごく自然体であるところが素晴らしいと思います。

(第二七五〇地区 東京都 建築設計)

浦野三男さんと写真展

名古屋北 坂 英臣

写真撮影を趣味とする当クラブ会員の浦野三男さんは、特に富士山撮影にかけては高名で、これまでも卒寿記念として「富士絶景写真展」を開催するなど広く知られています。その浦野さんの鶴の一声で始まった第二七六〇地区フォト俳句展が、五月二一～二八日、名古屋のフォトサロンにて開催されました。

このフォト俳句展、写真だけではなく、写真に俳句を付けて展示したらよいのではないかと



撮影中の浦野さん

いう浦野さんの独創的な発想により、当クラブのカメラ友の会と俳句友の会が協力して実現した。また、当クラブだけではなく地区内のクラブにも声をかけようということになり、地区内全八四クラブから作品を募集しました。

気がつけば、このフォト俳句展も六回目。今回も人物から風景まで躍動的で個性の光った力作が並びました。二七日には当クラブ俳句友の会の講師の先生を招いて講評を行い、作品を鑑賞しながら作者の思いを深く感じることができました。

浦野さんと言えば、今年三月にも「見る・学ぶ・感ずる―日本百名城登城写真展」を名古屋市内のギャラリーにて開催しました。展示作品は浦野さんが昨年一年近くをかけて全国各地の名城に足を運んで写真に収めた一城一作品の計一〇〇点。姫路城や犬山城、松本城、彦根城など、それぞれの城が持つ「構造美」が、優れた

アングルで紹介されたものです。

一級建築士であり、社団法人日本建築家協会、日本建築協会、日本建築学会の会員でもある浦野さんは、全国の城の改築・監修に携わっており、この開催にあたって、「先人が培った伝統的な建築工法の素晴らしさを後世に伝えたい」とその思いを語っていました。

今年で満九四歳になる浦野さんは、まだまだ現役で三脚を背負い、一瞬の風景をそのカメラに収めています。その健脚もさることながら、今後も浦野さんの新たな作品を楽しみにしています。

(第二七六〇地区 愛知県 菓子製造販売)

初めての中国旅行

米子東 楠 明彦

二六年ほど前、私が在籍していた米子青年会議所の例会で、当時八二歳の鳥取大学名誉教授の故・遠山正瑛先生から中国・内モンゴル自治区のクブチ沙漠の緑化の話をお聞きしました。

先生いわく「クブチサバクのスナ」は粒子が細かいので、砂漠ではなく沙漠と書くのが正しいとのこと。この老先生の情熱と強烈な個性に感銘を受け、翌年、内モンゴル自治区の沙漠へ、NPO法人・日本沙漠緑化実践協会主催の植林ボランティアに参加したのが、初めての中国旅行でした。

参加したのは西日本各地からの老若男女一五人ほどで、ほとんどがロータリーの例会や

を治し、宇宙を理解することができるようになりました。しかし、こうした同じ発見を、これまで以上に効率的な殺人マシンに転用することもできます。(中略) 原子の分裂を可能にした科学の革命には、倫理的な革命も必要なのです。(中略) 私自身の国と同様、核を保有する国々は、恐怖の論理から逃れ、核兵器のない世界を追求する勇気を持たなければなりません。(中略) 国家が選択を行うとき、指導者が行う選択がこの分りやすい良識を反映するものであるとき、広島が教訓が生かされることになります」

ぜひ原文をお読みください。言葉は選び抜かれ、人間の本質にまで考察は及び、家族としての人間のつながりに期待して終わっています。世界平和を希求するわれわれロータリアンは、この動きに呼応しなければならぬのではないのでしょうか。

スピーチのあとの瞑目青葡萄 桃潤

(第二二〇地区 大分県 小児歯科医)

卓話がきっかけで ガバナー賞受賞事業へ

館林 新井 進

今から約五〇年前になります。私は都会での生活に終止符を打ち、故郷の館林に戻ってきました。温かく迎えてくれた故郷に、私は少し異変を感じました。感じたままを市の広報誌『広報たてばやし』に『オオムラサキ』との出会い』と題して投稿したことがあります。

内容は、中学二年のころ、友人と市の郊外に

ある里山でチョウの採集を通して自然の素晴らしさを感じ、チョウの持つ神秘さを学んだこと。特に国蝶のオオムラサキと出合った時の感動、そして東京から故郷に戻ってきた時、里山の消滅と国蝶の絶滅に胸の張り裂ける思いがしたと、などを書いたものです。

それから時を経て、六年前、私は例会の卓話で、オオムラサキについて話しました。

「オオムラサキは昭和三二(一九五七)年に国蝶に指定され、黒褐色の地色に中央半分ぐらいに紫色の鮮やかな輝きを持ち、白と黄色の斑紋をちりばめた大型のチョウ。誇らしげな風格はまさにチョウの横綱にふさわしい。ではなぜ激減の一途をたどったのか、オオムラサキは、ニレ科の落葉樹であるエノキの葉に卵を産みつけ、幼虫はその葉を食べて生育し、その落ち葉の下で越冬する。初夏ごろになると羽化して成虫(チョウ)になり、クヌギ、コナラなどの雑木の樹液を食糧とする。いろいろな理由でそ



四中の森に設置したオオムラサキ観察ハウス

の雑木の伐採が進み、里山(雑木林)が消滅したことが、オオムラサキ減少の大きな原因と言われている。このような状態が続くと、館林でも自然のオオムラサキの観察ができなくなる。よってオオムラサキが生息できる環境づくりを、真剣に考えなければならない。公共地の中で、里山のある地域にエノキを植栽し、クヌギ、コナラとともに雑木林を造成することを提案したい。オオムラサキの雄姿を観察できる里山が身近にあれば、どんなに情操教育に役立つことか。そこはオオムラサキをはじめ、数種のチョウ、昆虫の宝庫となるであろう」

この卓話に共感してくれた会員が、地域の住民と協力し、数年がかりで四中の森(館林市立第四中学校敷地内)にオオムラサキ観察ハウスを手作りで設置し、観察用具とともに、市の教育委員会に寄贈しました。

小中学生にオオムラサキの観察を通して自然の大切さ、ありがたさを学んでもらいたいという一念で実施した事業でしたが、ガバナー賞までいただくことになりました。

(第二八四〇地区 群馬県 医薬品配布)

高齢会員の ビヘイビア

東京目黒 増谷 宏

私は恩師の清家清先生(建築家)の勧めで一九八四年にロータリーに入会したので、今年でロータリー歴三二年になります。

わがクラブには「会友」という制度があり、

れ、生徒のレイチェルさんが「一期一会」というテーマでスピーチをしました。「人生に一度しかないチャンスを大切にしましょう」というメッセージに、会場から大きな拍手がありました。彼女のスピーチを聞いて、自分が初めて「一期一会」の意味を知った時のことが思い出されました。

ちょうど米山奨学生だった年の秋、中国から雑誌のインタビュで来日した二人の記者を、京都に案内しました。有名な清水寺を訪問した後、高台寺を訪ねました。高台寺では座禅と茶道を体験しました。お茶会の時、初めて、住職から「一期一会」という言葉を聞きました。住職によれば、「一期一会」は茶道の精神を表し、「一生にただ一度の出会いを大切にしないさい」という意味です。どの茶会でも一生に一度のものなので、亭主と客はお互いの出会いを大切にすべきです。その話を聞いてから、「一期一会」は自分の一番好きな言葉になりました。

カナダで再び「一期一会」の話を聞いて、日本に留学していた六年間のことを懐かしく思い出しました。米山奨学生だったころ、例会やクラブの行事に参加すると、クラブの会員たちはとても親切にしてくれました。奨学期間を終了した後も、いつもクリスマスパーティーに呼んでくれました。今振り返ってみれば、ロータリーアンたちは「一期一会」という精神を具体化しているのではないかと思います。そのおかげで、留学生活の中で、一番忘れられない思い出をつくることができました。こう思うと、世話クラブの皆さんの顔を思い出します。またいつか、尼崎東RCに行って、皆さんの前で感謝の気持ち

ちを伝えたいと思います。

(二〇〇九—一〇年度米山奨学生 世話クラブ 尼崎東RC)

広島でのオバマ大統領の演説とロータリアン

別府北 山本 恒雄

アメリカのバラク・オバマ大統領の演説を聞いて、私の心は震えました。人間、まだ捨てたものではないと。国内外に多くの政治的課題を持つアメリカ大統領が、核兵器廃絶に向けた自らの意思を表明したことは、人類が持つべき希望をしっかりと確認できた点において重要な意味を持ちます。以下、オバマ大統領が広島で行った演説(編集部注・アメリカ大使館による仮翻訳)からの抜粋です。

「文明の歴史は戦争で満たされています。(中略)広島、長崎で残酷な終結を迎えたあの世界大戦は、世界で最も豊かで最も力を持つ国同士の戦いでした。これらの国々の文明により、世界は素晴らしい都市と見事な芸術を得ることができました。これらの国々から生まれた思想家たちは、正義と調和と真実の思想を唱道しました。しかし、この戦争を生んだのは、最も素朴な部族の間で紛争の原因となったものと同じ、支配したいという基本的な本能でした。(中略)空に立ち上るキノコ雲の映像の中に、私たちは、人間が抱える根本的な矛盾を非常にはつきりと思い起こすことができます。すなわち、人間の種として特徴付ける、まさにその火花、つまり

わがまちの味

飯能 四里餅



百年余り前、飯能市の木材を筏に組んで江戸に運ぶ際に、この餅を食べると四里(約16km)の急流を、尻もちをつかず、竿一本で一気にもり切れたという逸話から「四里餅」と呼ばれます。賞味期限は当日中なのでお早めに。

大野 泰規 (埼玉県・飯能RC)

私たちの思想、想像力、言語、道具を作る能力、人間を自然から引き離し、自分の思いどおりに自然を変える能力が、比類ない破壊をもたらす力を私たちに与えたのです。物質的進歩や社会的革新によって、この真実が見えなくなることはどれほどあるでしょうか。より大きな大義の名の下に、暴力を正当化する術を身に付けることは非常に容易です。(中略) 国家というものは、自らを犠牲にして協力し、素晴らしい偉業を成し遂げるために人々を団結させる物語を語って生まれます。しかし、その同じ物語が、自分たちと異なる人々を弾圧し、人間性を奪うために何度も使われてきました。科学によって人間は、海を越えて通信し、雲の上を飛び、病

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

ロータリークラブが 蒔いた一粒の種

根室西 倉又 良春

「ロータリーで奉仕の精神と、職業を通して社会に貢献する心を学びました」。一九年前、日本に留学した経験を持つタチアナ・ビュルコワさん（愛称ターニャ）は、招かれた根室西ロータリークラブ（RC）例会の席上で、思いを込め、こう話してくれた。

一九九七年九月、クラブは日口青少年の交流を図ろうと、サハリン州ユジノサハリンスク教育大学東洋学部四年生のターニャさんを、短期留学生として受け入れた。ターニャさんは日本語のコンテストで優勝したことで選ばれたという。滞在は翌年一月までの約五か月。その間、五人の会員宅にホームステイし、地元の高校に籍を置いて日本史などを学び、職場研修として

会員が経営するスーパーでお客さん相手に商品販売や仕入れなどを体験。また、茶道や着物の着付け、書道、日本舞踊なども習い、日本文化に触れた。さらに根室市内の会社や郵便局などに出向き、ロシア語を教えるなど、休む暇なく日口交流に尽くしていた。

また、月一回は必ず例会に出席し、地区大会にも参加し、ロータリーを通じて社会奉仕、職業奉仕の心、人と人とのつながりの大切さなどを真剣に学んでいた。

大学を卒業し「大好きになった根室で暮らしたい」と再び根室に来了。四年間、市内の時計店で働き、そこで商売の知識を得るため経営のイロハを学んだ。やがて結婚、そして出産し時計店を辞め、二〇〇四年に水産物を扱う貿易会社を設立した。社員は二人と小さな会社だが、経営の傍らロシア語教室も開き、日口交流に尽くしていた。

根室に来て気になっていたのは、世話になっ



起業家として成功し、クラブを再訪したターニャさん

た根室西RCに早くお礼のあいさつに行かなければということ。だがターニャさんは会社を設立したとはいえ、まだまだ修業の身と考え、会社が軌道に乗ってから訪問しようと思いに言い聞かせた。まさに「故郷に錦を飾る」、そんな気持ちだ。その後、会社も徐々に成長し、社員も多くなった。やっと軌道に乗ったターニャさんは、念願がかない、二〇一〇年二月に例会に出席、お礼の卓話をしてくれた。

その後、二〇一三年には社屋を新築し、社員も七人と増えた。日本の機械類の輸出、ウニ類の輸入など会社は大きく成長した。「ずっとサハリンで暮らしていたら、私の人生はどうなっていたかわかりません」。今年の五月、再び招かれた例会で心境を話してくれた。「根室西RCが蒔いた一粒の種が大輪の花を……」と、会員はターニャさんに温かなエールを送っていた。（第二五〇〇地区 北海道 観光事業）

一期一会

米山学友 王 娟

私は二〇〇九年に米山奨学生になり、尼崎東ロータリークラブ（RC）でお世話になりました。特にカウンセラーの中西孝光さんに大変お世話になりました。二〇一三年に神戸大学で博士号を取得し、その後カナダに移住して、今はオタワ日本語学校で日本語を教えています。

今年二月二七日に在カナダ日本大使館において第二七回オタワ地区日本語弁論大会が行わ



小田恵子さん

根岸慶久会長(左)と山本守幹事

佐渡南ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
SADO MINAMI



なかった。

でも、佐渡はほかにも見どころが多い。京都の清水寺を思わせる舞台のある清水寺^{せいすいじ}、一時期、佐渡に流されていた日蓮上人にゆかりの妙宣寺、奈良時代に建てられた国分寺の跡、加茂神社や大膳神社の能舞台……と、中川さんは次々に案内してくれた後、真野湾沿いの国道に出て、越の長浜というところで車を止めた。海岸とは反対側の草が生い茂った土地に「トビシマカンゾウ植栽地」と記された杭が立っている。

中川さんは、ススキ、ヨモギなどに埋もれかけたトビシマカンゾウの花殻をつまみ、「五月末から六月上旬にかけて黄色い花を咲かせます」と言い、「この秋、もう一度は草刈りをしないといけない」と付け加えた。

島の北部の外海府海岸には、トビシマカンゾウが群生する大野亀という景勝地がある。牛の放牧場になつてもいる。牛はトビシマカンゾウを除い

てほかの雑草を食べてくれるので見事なお花畑になるのだという。

一方、長浜の植栽地は、一〇年余り前から佐渡総合高校の先生と生徒たちが育てた苗を、毎年三〇〇〜五〇〇株くらいずつ植えつけて造成しているものだ。牛の代わりに、佐渡南RCの会員三〇人くらいが集まり、年に二〜三回ずつ草刈りをしてるので、ようやくトビシマカンゾウの名所になりつつあるという。

その植栽地の近くの丘の上、見晴らしのよいところに「ふれあい潮津の里」という宿泊施設がある。支配人の志和正美^{しか まさみ}さんも佐渡南RCの会員である。夕刻、見事な落日の前にみんなが集まり、納涼例会が始まった。

いい匂いがする。新穂に住む塗装業の渡辺秀一さんがこの会のために久知川で生け捕りにしてきたアユを志和さんが炭火で焼いているのだった。食いしん坊のこちら、天然のアユと聞いては我慢ができない。数えると二一匹、人数分にも足りないのに、二匹、頂戴してしまった。お許しあれ。その例会でも、九月に開かれる国際トライアスロン大会のために草刈り奉仕の呼びかけがなされていた。佐渡南RCの会員は年に何回くらい草刈り奉仕をするのか。

宴が果て、宿に戻るとき、町はずれの暗いところで車を止めてもらった。空を見上げると、オー、見事な星空、天の川も流れているではないか。うれしくなつて、コンピニに寄り、祝杯用の缶ビールを買ってしまった。

佐渡にはコンピニが合わせて九店あるが、厳冬期、海が荒れてフェリーが三日ほど欠航すると、そのコンピニの棚が空っぽになるという。



でも、その代償として、天の川が見られ、トキが見られる島なのだ。

翌朝、夜明けとともに起きだし、前日、中川さんに連れて行ってもらったあたりをうろついた。トキはすでにねぐらから飛び立ってしまったらしく、なかなかお目にかかれない。だが、執念は実った。朝露の農道をさまよっているとき、田んぼの上空を一羽の大型の鳥が横切つて行った。カメラを構える間もなかった。

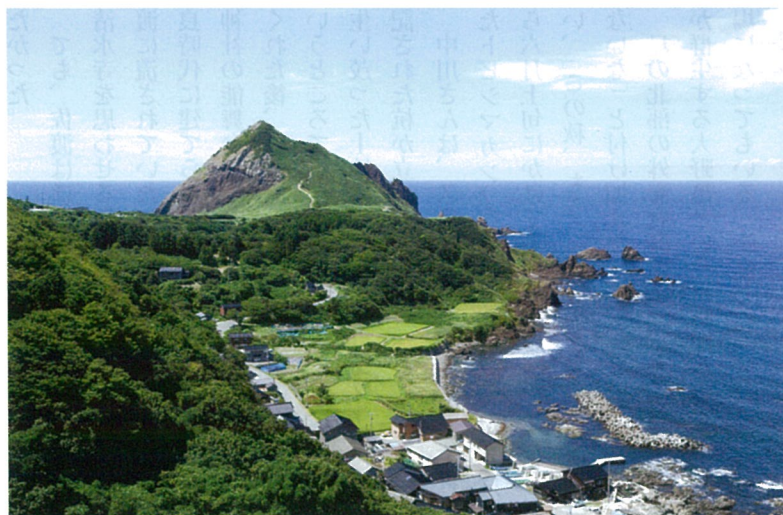
こちら、これに満足して佐渡にサヨナラをしたのであるが、夕刻、島に残った佐藤カメラマンからメールが入った。

「いま、トキ交流会館前。巣に帰ってくる三羽のトキに出合えました」

二分後、
「さらに二羽！ でも、遠すぎて絵にはなりません」

二人ともども、佐渡になびいた旅だった。

池辺史生（いけべ・ふみお）
元週刊朝日記者。現在はフリーランスの記者。
佐藤 敬（さとう・たかし）
写真家。人物の撮影を軸に活動。



大野亀

幹事の山本守さんは税理士。佐渡高校の同級生でゴルフ仲間だった歯科医の渡部尚さんに誘われた。小田恵子さんが会長のとき、幹事として彼女を支え、その三年後に会長を務めた中川進さんは行政書士。この人も、渡部さんに誘われた口である。渡部さんは、一九九一年前に会長をしているとき、率先、会員増強に取り組んだのだ。その渡部さんとは、高橋時代の水泳部の先輩で、当時、会員だった陶芸家に「たまには一杯やろうや」と声をかけられ、飲みや歌えやの席で口説かれた。当の先輩は渡部さんに入れ替わる格好で退会してしまったので、あららと思った



春日崎



夫婦岩

そこで根岸会長たちと落ち合うと、翌日、佐渡の名所旧跡を中川さんに案内してもらおう相談が始まる。と歌われているが、いま、佐渡は意外に近い。東京駅から午前七時発の上越新幹線に乗り、新潟港から佐渡汽船のジェットフォイルに乗り継ぐと、一時間前には両津港に着いてしまう。ここでレンタカーを借り、北に大佐渡、南は小佐渡の山並みを見ながら米どころの国仲平野を一五キロほど走ると、もう両津湾とは反対側の真野湾に出てしまう。

民謡「佐渡おけさ」では、ハアー来いと言ったとて行かりよか佐渡へよと歌われているが、いま、佐渡は意外に近い。東京駅から午前七時発の上越新幹線に乗り、新潟港から佐渡汽船のジェットフォイルに乗り継ぐと、一時間前には両津港に着いてしまう。ここでレンタカーを借り、北に大佐渡、南は小佐渡の山並みを見ながら米どころの国仲平野を一五キロほど走ると、もう両津湾とは反対側の真野湾に出てしまう。

よみがえった
野生のトキ

（一九九一）年の入会以来、一〇〇割の出席率」



大膳神社能舞台

が、いまは誘ってくれたことに感謝している。「異業種の人たちのつきあいが私にとっては大きい。だから、平成三

中川さんによると、農家が減農薬の米づくりをしてきたおかげもあって、いま一五〇羽ほどが自然状態で生息しているのではないという。だから、佐渡南RCの会員にもトキを目撃した人はたくさんいる。それらの情報をもとに、新穂地区の水田地帯を回って、ドジョウ、カエル、昆虫などを捕まえて探してみたら、折しも稲穂が田を覆っている時期だったからトキの姿は見つけが



北前船の大工たちが暮らした宿根木のまち



中川進さん



とまってしまう。旧跡と言え、相川の金山跡、再建された奉行所跡など、訪ねるべきところはたくさんあるが、近年の話題はやはりトキである。最後の「羽キ」が二〇〇三年に死んで日本のトキは絶滅したが、その前から中国のトキを譲り受けたりして行われていた人工繁殖に成功、二〇〇八年からは放鳥が始まり、ことしはその孫世代が野生状態での子育てに成功といったニュースも流れるほどになった。

本は、地方都市であつても夜空が明るすぎるのである。

この夏、司馬遼太郎記念館友の会主催のモンゴルツアーに紛れ込んでゴビ砂漠に行き、ゲルと呼ばれる天幕に三泊した。毎晩、すばらしい星空で、もちろん天の川を堪能した。これに大満足、もう一生見られなくてもいいやと思ったのだが、帰国後、すぐに佐渡を訪ねると、なんと、ここでも天の川を見ることができた。

私的なことを長々と記してしまったが、佐渡南ロータリークラブ（RC）の皆さんは許してください。さるに違いがないという甘えがある。

今回の取材の窓口になってくれた小田恵子さんは、二〇〇二―〇三年度、第二五六〇地区で初めて女性会長になった人として知られるが、この人がめつぽう明るく、そのほかの会員もまことに気さくだったからである。

佐渡南RCは、昭和五〇（一九七五）年に佐渡



佐渡金山の道遊の割戸（露天掘りによって山が断ち割られている）



復元された佐渡奉行所



佐渡金山坑道

RCを親クラブとして誕生した。親クラブの会員が、佐渡の玄関口である旧両津市域に活動基盤のある人々であったのに対し、佐渡南クラブの会員はすべて両津以外の旧九町村地域で活動する人たちだった。

東京二三区の一・五倍ほどの広さがある佐渡の人口は、江戸時代、金山開発が進められたこともあって、一〇万くらいあったようだ。戦後の昭和二五（一九五〇）年には一二万五〇〇〇を超えるまで膨らんでいる。しかし、その後は、毎年一〇〇〇〇人くらいずつ減りつづけて、現在は五万八〇〇〇。六五歳以上の高齢者の比率も上がりつづけて、高齢化率はことし四〇割に達した。

そんな事情もあってか、親クラブの会員はしぶん減ってしまったが、子の佐渡南クラブのほうはすくすく育って、現在、会員は四二人、出席率一〇〇割の人が半数以上もいる。

「楽しいクラブなんですよ、だから、出席率もいいんです。奉仕活動も盛んです。唯一の欠点



清水寺



妙宣寺

は、毎週火曜日の例会の食事がおいしくないことかな」

と、小田さんはあけすけに言って笑う。

小田さんは、美容院の経営者である。入会は二三年前。商工会で知り合った材木屋さんに誘われたとき、「会費が高いんだよ。無理かな」と言われ、反発心を刺激されたらしい。

「いくらですかと尋ねると、年会費が二二万円だという。確かに高いなとは思ったけれど、なにお！ という気にさせられちゃって……」

ほかの会員は、どんなきっかけで入会しているのだろう。

現会長の根岸慶久さんは、建設会社の経営者。一〇年前、三五歳のときに解体業の会員から「納涼会にゲストとして来てみないか」と声をかけられ、のぞいてみると、「近々入会する根岸君です」なんて紹介されてしまったのだという。



佐渡総合高校の生徒とともに
トビシマカンゾウの植栽

写真提供：佐渡南RC



野球大会



台北の原民RCのメンバーが
40周年の祝いに来てくれた

佐渡は居よいか住みよいか トキが飛んでる 天の川も見える

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

出席率がいい、奉仕活動にがんばる
楽しいクラブ

「佐渡」と聞いて思い浮かぶものはいろいろあ
ろうが、私の場合、「天の川」である。

「荒海や佐渡によこたふ天河」

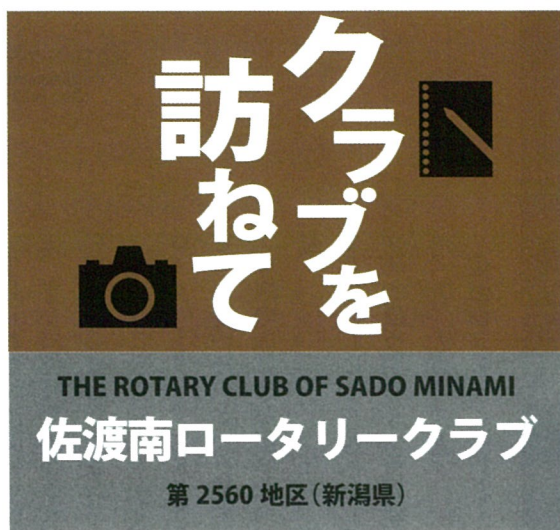


俳人・松尾芭蕉
が『奥のほそ道』
に残した句の印象
が強烈だ。

東京で生まれ
育った身、子ども
のころに天の川
を見た記憶がな
い。初めて目にし
たのは、駆け出し
記者として任地の
九十九里浜（千葉
県）に行ったとき
である。冬の風の

強い目だった。満天の星に驚嘆しつつ、「うつす
らとかかったあの雲がなければもっとよく見える
だろうな」とつぶやき、地元の人に笑われた。「あ
れが天の川だっぺよ」

以来数十年、地方に出張するたび夜空を仰いで
いるが、なかなか見ることができない。現代の日



喜びます。そして「自立」を促していきます。そのあと、お互いに助け合う仕組みの「共助」に進みます。これがとても大事です。

ある時、心臓に疾患のある少女がおり、手術が必要と判断しました。しかし、この手術にはかなりのお金がかかり、彼女の家族にはそのようなお金はありません。とりあえず、われわれがお金を出すことは可能ですが、それでは今後、患者が大勢来た時にはどうするか、という問題が発生します。悩みました。

この時、「ザカート・ファンデーション」(Zakat Foundation of India 喜捨財団)というものがあり、お金を助けてくれました。この少女は手術を受けることができ、助かりました。今後も、このような形を取ることが望ましい、と考えております。

私たちは現在、オフロード型四輪駆動車で約百数十キの範囲で、約三〇の村々を二週間ほどかけて、泊まりがけで巡回診療を行っておりますが、同じところで診療できるのは、月に一回くらいのペースになります。それで、地域の世話役の人に「ヘルス・ボランティア」として医療のお手伝いをしてもらうことを始めました。これも自助の一環となります。

また、連絡体制としてICT (Information and Communication Technology) すなわち「情報通信技術」の活用を考えております。現代の、この携帯電話の普及状況を見ると、通信機能を使った医療が、スーダンでも意外と進められるのではないかと思います。

水の浄化については、大阪の会社で浄化剤を開発して、タンザニアや各地で販売を始めた業者が

あります。安全性の確認ができれば、スーダンでも紹介したいと思い、先日、大阪大学医学部でこの薬を検査してもらうよう、依頼しました。

また、新しい「医」の探求を考えております。「医」は、医者だけが行うものではありません。スーダンにおける地域の世話役の人や、医師以外の人にも「医」に関わってもらうシステムを、逆輸入のかたちと言ったらいでしょうか、日本の離島や過疎の地域にも応用できないか、と考えております。

日本から送られた中古の救急車には、日本の子どもたちのメッセージが書き込まれており、これをそのまま使っております。こんなことも、広報と申しますか、日本の援助を知らせる活動となっております。

日本とスーダンの学生の間で、フェイスブックなどによる対話の場をつくることもお手伝いしています。子どもたちからさまざまなメッセージをもらっておりますが、これらは私にとって活力の原動力になっております。

申し遅れましたが、NPO法人ロシナンテスの名前の由来についてお話しします。小説『ドン・キホーテ』に登場する痩せ馬の名前「ロシナンテ」に、複数形のSを付けたものです。私たち一人ひとりはロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まってロシナンテスになれば、きっと世界を笑顔にできるはず、という思いを込めて、この名前をつけました。

キューバ革命を成功させたチェ・ゲバラ(一九二八―六七)は医者でしたが、革命後、「世界で大変なところはアフリカだ」と語っており、

「もう一度、ロシナンテの背中にまたがりたい」と言っていたそうです。ゲバラも同じ思いを抱いたのかなあ、と思ったりします。

今後の、私たちロシナンテスの課題としては、財政状況が次第に厳しくなってきたことが挙げられます。広報があまりできていないことと、給与面の問題もあり、スタッフの人材の確保ができていないことが課題です。こうした現状は、私たちのような民間の、NPO法人の多くが抱える問題だと思っています。

こうした課題への対策として、新たな試みを始めています。日本企業をスーダンの病院に紹介し、首尾よく契約が成立した時には、その収益の一部を寄付してもらおう、ということですが。

今、私たちは世界のどこにでも「医」を届けるという「新しい医」を追求しております。スーダンの建物はレンガ造りですが、見事に、一つひとつのレンガが積み上がって、建物の構造の基礎をなしております。私たちが行っている活動も一つのレンガですが、それらを積み上げ結果としていけば、素晴らしいものをつくり続けていくことができます。それが、私たちロシナンテスの原点と考えております。

「自分に誇りを持って相手を理解する」、この活動を進めて、とにもかくにも、日本の新しい医療技術を持ち込んで、スーダンの医療の向上を図りたいと考えております。

皆さま方と協力して、アフリカに、スーダンに、素晴らしいものをつくり上げることができれば、と思っております。

(ホスト 大阪うつばRC)

SPEECH

自分に誇りを持って
相手を理解する

アフリカでの経験を 東日本大震災で生かす

東日本大震災は、私がたまたま日本に帰っていた時に発生しました。自分のアフリカでの経験を生かせるのではないかと、思いました。何とかして、被災した現地に行かなくてはならない、と考えました。

救急車を何とか調達し、宮城県仙台市の南方、名取市^{ゆりあげ}関上というところへ行きました。住民七〇〇〇人のうち、約一〇〇〇〇人の方が亡くなられた地です。そして、体の傷だけではなく、大勢の方が心に傷を負っておられました。学校の体育館が避難所になっていました。

アフリカでの地域社会に入っていた時の経験から、まず、医者と患者との信頼関係を築くようにと考え、一人ひとりに声をかけるようにしました。

毎日毎日、顔を合わせているので、次第に声を掛け合うようになっていきました。なにか体を動かそうということで、ラジオ体操を始めました。子どもたちのはしゃぐ声が、避難所を明るくしましたし、ラゲビーをしたりコンサートを開いて、気持ちを盛り上げるようにしました。

また、桜前線の北上とともに、酒を一〇〇本並べて、お花見もしました。人には、季節の感覚も大切なのです。そして子どもたちと桜を植え、「開上桜」と命名しました。

加えて、震災に遭遇した子どもたちを「日常」に戻すことが大切、と考えました。私は寺子屋を始めました。もともと関上で塾を開いていた方に

お願いして、寺子屋形式で行っていただきました。

一方、高齢者の方々は農業のセミプロのような方々が多かったので、みんなで共同農場のようなものをつくろう、ということになりました。これを「健康農業」と名づけました。

参加者の平均年齢は七七歳で、活発に体を動かすことはいいのですが、骨折者も七人、出たりしました。スタッフがお見舞いに行つて「早く治ってください」と言うと、本人は期待されているという気になり、早く戻つて復帰したいと考え、前向きの気持ちになります。そしてけがをした方も全員が「健康農業」に復帰しました。

このような事例は、予防医療の観点からも注目すべきことではないかと思えます。実は、アフリカでも予防医療の考えはとても大切なことなのです。海外でも、国内でも、医師の少ない地域の医療には、この考えは重要です。

ボランティアの人たちが、東北にたくさんいらしていました。ところが、ボランティアのリピーターの中には、心に不安を抱えた若者が結構いたのです。むしろ、被災された高齢者の方と話をし

たり、私たちスタッフの体験話を聞いたりして、彼らが次第に心を開いていく様子も見られました。居心地がいいという感じで、このようなボランティアの若者は、自分が認められたことで居場所ができた、ととらえているようです。

中には、いわゆる「引きこもり」からボランティアを通じて社会復帰を果たし、職を得て、ついに、結婚に至ったというケースもあります。

世界のどこにでも 「医」を届ける

スーダンの話に戻りますが、ある地域で行った「出口戦略」を紹介したいと思います。いつまでも海外からの援助を受ける構造をなくして、自立できる社会を作るため、医療をスーダン人の医師や看護師さんに渡すということです。

看護師さんを養成するにはまだまだ時間がかかるので、お母さんたちに短期間、勉強して手伝わってもらう「村落助産婦」の養成を行っております。彼女たちを表彰すると、お父さんや子どもたちも



■ NPO法人ロシナンテス理事長

川原 尚行

一九六五年 福岡県生まれ。九二年 九州大学医学部卒業。九州大学第二外科（現在の消化器・総合外科）入局。臨床医として経験を積む。九州大学臨床大学院（生化学）修了、医学博士。外務省、在タンザニア日本大使館に医務官兼二等書記官として勤務後、ロンドン大学にて熱帯医学を学び、在スーダン日本大使館に医務官兼一等書記官として勤務（二〇〇五年一月辞職。〇五年四月 スーダンで活動を開始。〇六年 NPO法人ロシナンテス設立、国際NGOロシナンテス・スーダン設立、現在に至る。



医療をスーダンの人たちに渡す 写真：内藤順司

や家の手伝いの担い手であった子どもたちを、学校に行かせるよう頼みに回りました。井戸を掘ることは、単に水の供給問題の解決にはとどまりません。労働力としての子どもたちを、学校に行かせることにもつながるのです。学校には、先生を派遣してもらい、教育をして、将来、医者や看護師が出てきてもらいたいと考えております。

スーダンのようなところでは、私たちは地域住民とともに、生活することも重要です。レンガを積み重ね、みんなで家を建ててくれます。

スーダンの食べ物物は玉ねぎと香料の入ったものでした。これが、何となくおいしく感じるのです。何もないけれど、何かがある。ちょっとしたことで、何かがあることで、ありがたみを感じます。物質的なこと言え、日本では何でもあるのですが、かえって、スーダンでは日本で失われたものを、感じるがあります。

このように診療所ができ、学校が建ち、社会インフラが整っていくことで、その地域が次第に、安定していくのではないかと思います。



大阪うつぼロータリークラブの協力による給水所 写真：内藤順司

ばれ、これまで市場性が乏しいため、製薬会社が薬の開発をしなかったことにより、治療が難しい病気です。しかし最近では、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が、お金を出してくれることになりました。

スーダンの医療には二つの面があります。一つは首都ハルツームにある、イブン・シーナー病院（一九八五年に日本のODAで建設され、岡山大学とJICA／国際協力機構との協力でつくられた病院）のような最先端医療が確立している面。いま一つは、薬も医者も全くない中で、地域医療（無医村）という面です。

全く地域医療が整っていないところで巡回医療をするには、まず、地元で溶け込む必要があると思います、私は部族長のところにあいさつに行きました。おもてなしには「茶色の水」が出されます。これはヤバイ、と思いながらグイと飲んで笑顔で返すと、「のどが潤いているようだ」とさらにもう一杯出しました。こうして、仲間意識を持つてもらい、部族長の信頼を得て、地域で医療を行うことができました。

もう一つ必要なことは、行政と仲良くすることです。現地では、ロバによる救急車を調達したものです。

一方、「そもそもなんで病気になるか」という背景を調べていくと、とりわけ問題なのは、先ほどの「茶色の水」なのです。特に子どもにとっては、重要な問題です。きれいな水を確保するために井戸を掘りました。八〇センチ掘ることになりましたが、これは非常に喜ばれました。

次に、その地域から医療に携わる人を育てることを考えました。そのために学校を建て、水汲み

自分に誇りを持って 相手を理解する

「自分に誇りを持って相手を理解する」、この活動を進めて、とにもかくにも、日本の新しい医療技術を持ち込んで、スーダンの医療の向上を図りたいと考えております。

NPO法人 ロシナンテス理事長 **川原 尚行**
Naoyuki Kawahara

井戸を掘ることは 子どもたちを 学校に行かせること

今日は、今までわれわれがアフリカ・スーダンで進めてきた活動と、東日本大震災後の活動を報告し、これからの海外での国際協力、国内での活動を、どのように進めていけばいいのかを、皆さまとともに考えてみたいと思います。

スーダンは、エジプトの南に位置しております。イギリスが旧宗主国で、一時、エジプトと共同統治の国でした。しかし長年、北と南に分かれて内戦状態にあり、二〇一一年には南北に分裂しました。

スーダンと私の関わりですが、私自身、ずっと海外へ行きたいとの思いがあったことと、九州大学医学部に在籍中、たまたま外務省がアフリカのタンザニアへ行く医療官を募集していたことに応募して、採用されたことに始まります。

そのころの私としては、ただ海外へ行きたいと

いう思いだけで、どこの国でもよかったのです。しかし、外務省の募集に応じた人は、私だけであつたことが、後でわかりました。結果、タンザニアでの三年半後、スーダンに赴任することになりました。

栄養不足でうずくまったままの少女と、それを狙うハゲワシを撮った「ハゲワシと少女」という有名な写真がありますが、これはスーダン南部で撮影されたものです。写真そのものはピューリッツアー賞を獲得しましたが、これを撮った写真家は、なぜ、少女をすぐに助けようとしなかったのかという批判にさらされ後に自殺しました。しかし、この写真はアフリカの窮状を、世界に発信することになりました。

「イスラムはこわい」という印象が強いものです。しかし、スーダンの人々は助け合い、日本人には親しみやすい人たちだと思えます。ここでは現実と報道のギャップを肌で感じます。

スーダンの内戦と混乱の結果、この国は欧米からテロ支援国家とみなされ、国際的には経済制裁を課されております。一九九二年以来、日本も援助を停止した状態にありました。

現地の子どもの栄養状態は、非常に悪い状態のままなのです。「極端におなかの膨れた子の写真」をご覧になられたことがあると思います。このような子は、サンドフライというハエにより媒介される寄生虫に、肝臓と脾臓を侵される「リーシュマニア症」という致死率の高い病気にかかっております。残念ながら、亡くなることがあります。

このような病気は「ネグレクテッド・ディジーズ」(neglected disease 顧みられない病気)と呼

10月は経済と地域社会の発展月間 米山月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

自分に誇りを持って 相手を理解する

■NPO法人ロシナンテス理事長 川原 尚行

4 73

シリーズ クラブを訪ねて

佐渡は居よいか住みよいか トキが飛んでる 天の川も見える

佐渡南RC・第2560地区

文・池辺 史生 写真・佐藤 敬

9 68

友愛の広場

ロータリークラブが蒔いた一粒の種

一期一会

広島でのオバマ大統領の演説とロータリアン

卓話がつきかけでガバナー賞受賞事業へ

高齢会員のビハイビアー

浦野三男さんと写真展

初めての中国旅行

友好都市締結

ユニバーサルデザインタクシー

ロータリーの変化

「ロータリーらしさ」とは

●わがまちの味

根室西 倉又 良春

別府北 山本 恒雄

館林 新井 進

東京目黒 増谷 宏

名古屋北 坂 英臣

米子東 楠 明彦

萩東 小林 正史

川崎中央 関 進

宇治 内良 益雄

丸亀 横田 龍男

13 64

卓話の泉

自転車の魅力

進化する防犯カメラ

加藤 健司

初波 貴大

20 57

米山梅吉の二冊

ロータリー俳壇

ロータリー歌壇

ロータリー柳壇

◆稲畑 汀子 選

◆佐佐木幸綱 選

◆てじま晩秋 選

20 57

ロータリー・アット・ワーク

進化した「花いっぱいプロジェクト」

東大阪ロータリークラブ

〈写真〉有田／館林ミレニアム／京都紫竹／

長万部・東京葛飾中央／川崎西／輪島／

東京東江戸川／名張

24 53



創立三〇周年三〇人の日めぐりカレンダー完成

ハンセン病療養施設で梅吉翁の思いを感じ植樹

八〇〇株のサンゴ植え付け達成

霞ヶ浦の再生を願って

高校生のための面接実践講座開催

救急リレーバトン活動で意義ある業績賞を受賞

どんなスポーツにも活きる走り方教室を開催

二〇回目のシングルズパーティー

蓮田RC・宮崎南RC合同親睦例会―N京都

ダバオの盲学校・小学校へ音楽教材などを寄贈

台湾のクラブと協同で山間部に貯水タンクを設置

ミャンマーで水資源と教育支援事業を視察

ロータリーの翼―N仙台

松戸西

青森

那覇西

玉造

鹿沼

妹背牛

神戸西神

雪国魚沼

蓮田

東京武蔵府中

郡山アーバン

第二七六〇地区

仙台青葉

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4〜5ページにあります。

●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

 一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

 ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



ロータリー ダイナースクラブ
コーポレートカード、
ポリオのない世界をめざして。

ロータリー ダイナースクラブ コーポレートカードの導入メリット

- ダイナースクラブカードでお支払いただくと、ポリオ撲滅に貢献いただけます。
- 1年を通じて奉仕活動にかかる経費処理を各地区やクラブ口座で一元管理していただけます。
- ロータリー ダイナースクラブ コーポレートカードの年会費が無料です。



カードの種類	ご入会対象者
クラブカード	会長／副会長／幹事／会計／理事／会長エレクト／次期副会長／次期幹事／次期会計／次期理事
地区カード	ガバナー／ガバナー補佐／地区代表幹事／ガバナーエレクト／ガバナー／ミニ／直前ガバナー／次期ガバナー補佐／次期地区代表幹事／次期地区会計長
地区委員会カード	地区内の各委員会委員長／地区内の次期各委員会委員長 (現地区財団委員長、次期地区米山委員長、次期地区青少年奉仕委員長など)

お問い合わせはこちら

お電話で **0120-041-962**

受付時間：平日10:00～20:00
土・日・祝10:00～18:00

ウェブサイト www.diners.co.jp/ja/rd/rotary

ダイナースクラブ ロータリー

検索



THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

10

2016
OCTOBER
VOL.64 NO.10



SPEECH

自分に誇りを持って相手を理解する

川原 尚行

クラブを訪ねて 佐渡南ロータリークラブ

Rotary

